



LINEAR PCM RECORDER

LS-P5

リニア PCM レコーダー 取扱説明書

トラブルで困ったときや
最新情報はこちら



準備

1

録音について

2

再生について

3

メニューについて

4

Bluetooth® について

5

パソコンでの活用について

6

資料

7

安全に正しくお使いいただくために

8

- レコーダーのお買い上げ、ありがとうございます。レコーダーを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。
- 「8. 安全に正しくお使いいただくために」は、製品をご使用になる前によくお読みください。またお読みになったあとも、必ず保管してください。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、大切な録音の前には試し録りをしてレコーダーが正常に機能することをお確かめください。
- 取扱説明書で使用している画面やレコーダーのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。
- レコーダーのファームアップにより機能の追加・変更があった場合、記載内容が異なります。最新情報は当社ホームページをご確認ください。

JP

レコーダーを活用しよう！

お買い上げいただきありがとうございます。
レコーダーの活用方法として一例をご紹介します。

状況に応じた録音設定があらかじめ登録されています。簡単な操作で最適な設定に切り替わります。あとは録音をスタートするだけです（※P.57）。

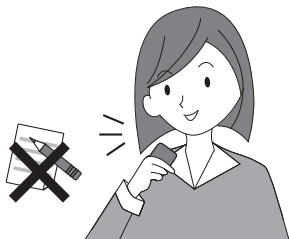
楽器演奏を録音する （録音シーン：[音楽]）

楽器演奏や野外録音など、臨場感を持たせた録音をする場合に適しています。



メモがわりに使う （録音シーン：[口述] [口述（騒音下）]）

伝言やスケジュールの変更などをメモとして録音します。片手ですぐに録音できるので手帳に記入するより簡単です。



会議や講義を録音する （録音シーン：[会議] [講義] [文字起こし]）

大人数が出席する広い部屋での会議や、文字起こしに適した録音設定です。



ミュージック プレーヤー として

パソコンから本機の MUSIC フォルダに FLAC や WAV、MP3 フォーマットの音楽ファイルを転送して再生ができます (※ P.44、P.68)。

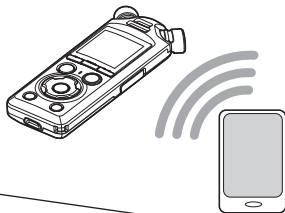


※ イヤホンは付属していません。

- デジタルだからファイルもすぐに見つかる。
▶▶ または ◀◀ ボタンを押すたびに各ファイルの先頭位置へスキップします。
- 重ね録りはしません。
次々と録音しても過去のファイルが上書きされて消えることはありません。

スマートフォンで操作

スマートフォンのアプリを使用して、本機の録音開始や再生、設定などをリモコン操作できます (※ P.190)。



自分のペースで スピード調整

長時間にわたる会議の内容確認には早聞き再生が、速くて聞き取りにくい外国語の発音は遅聞き再生が役立ちます (※ P.76)。

3.5倍速

一定の音程で再生

標準再生

一定の音程で再生

0.5倍速

一定の音程で再生



ご注意

- お買い上げ時の電池は十分に充電されていません。録音の前には必ず充電してください (※ P.28)。

スタートガイド

箱の中身を確認しましょう



本体



単 4 形ニッケル水素充電電池
(BR404) (2 本)



USB 接続ケーブル
(TA-KP29) (1 本)

取扱説明書 (保証書付)

ユーザー登録について

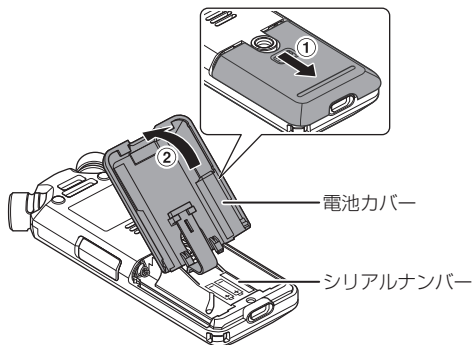
お買い求めいただいた製品のユーザー登録をお願いします。ユーザー登録の方法は、当社ホームページをご確認ください。

準備

1

電池を入れましょう

- 1 電池カバーをスライドして開ける



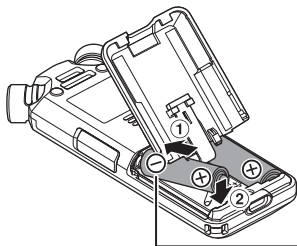
シリアルナンバーについて

シリアルナンバーは本機の電池室内に記載されているほか、[システム情報]からも確認ができます (P.180)。巻末の保証書に書き写してください。

準備

1

- ② 付属の単 4 形電池の ⊕ と ⊖ をそれぞれ正しい向きで入れる

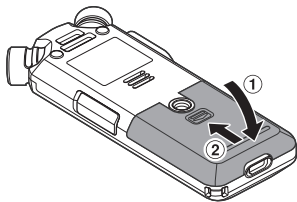


マイナス側を
先に入れます。

ご注意

- アルカリ電池とニッケル水素充電電池は一緒に使用しないでください。

- ③ 電池カバーを完全に閉める



ご注意

- 電池カバーがカチッと音がするまでしっかりと閉めてください。

電池を充電しましょう

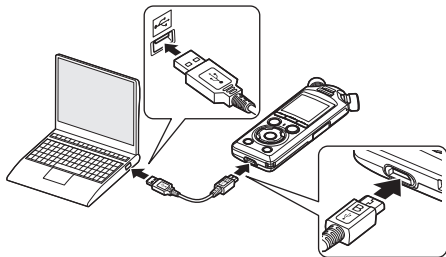
付属の USB 接続ケーブルで本機とパソコンを接続して、付属の充電電池 (P.4) を充電できます。

本機は付属の当社製ニッケル水素充電電池 (BR404) と市販のアルカリ乾電池がご使用になれます。アルカリ乾電池をご使用の場合は、[電池設定] で [アルカリ電池] を選んでください (P.171)。

ご注意

- アルカリ電池やリチウム電池などの一次電池を充電しないでください。液漏れ、発熱など本機の故障の原因となります。

- 1 パソコンを起動する
- 2 付属の USB 接続ケーブルで本機とパソコンを接続する

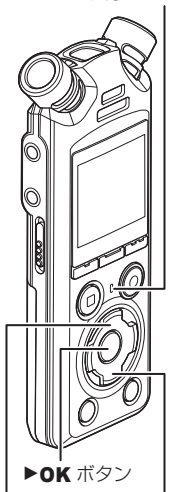


- [電池設定] の画面が表示されます。

準備

2

LED 表示ランプ



▶OK ボタン

+ボタン -ボタン

- 3 +または-ボタンを押して [ニッケル水素電池] を選ぶ



ヒント

- 電池設定は、メニュー操作でも同様に切り替えができます (※ P.171)。

- 4 ▶OK ボタンを押す

- 確認画面が表示されます。

- 5 +または-ボタンを押して [OK] を選ぶ

準備

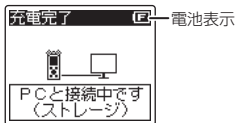
2

6 ▶ **OK** ボタンを押して設定を確定する

- [充電中] の画面が表示されて、充電が開始されます。充電中は LED 表示ランプが点灯します。



- 電池表示が **[F]** になったら充電完了です。



充電時間：約 3 時間*

- * 室温で電池残量がない状態から満充電する場合の目安です。充電時間は電池の残量や充電の状態などにより変化します。

7 本機とパソコンから USB 接続ケーブルを外す

- 日時を設定する画面が表示されます。

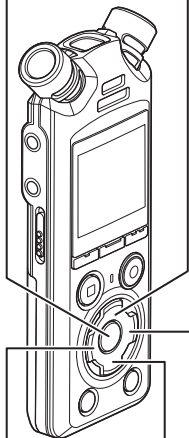
準備

3

日時を合わせましょう

日付と時刻を設定しておく、「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。あらかじめ日付・時刻を合わせてください。

▶OK ボタン +ボタン



◀◀ ボタン

-ボタン

▶▶ ボタン

- 1** +または-ボタンを押して
[時] を選ぶ



この画面が表示されない場合は「日付・時刻を合わせる [時計設定]」をご覧ください (※ P.172)。

- 2** ▶▶ ボタンを押して次へ進む

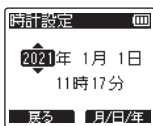


- 3** +または-ボタンを押して
[分] を選ぶ



準備
3

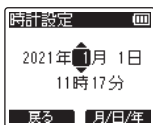
- 4 ▶▶ ボタンを押して次へ進む



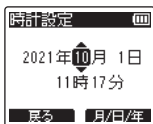
- ◀◀ ボタンを押すと1つ前の項目に戻ります。

- 5 + または - ボタンを押して [年] を選ぶ

- 6 ▶▶ ボタンを押して次へ進む



- 7 + または - ボタンを押して [月] を選ぶ



- 8 ▶▶ ボタンを押して次へ進む



- 9 + または - ボタンを押して [日] を選ぶ



- 10 ▶OK ボタンを押す
- 日時が設定されます。

ヒント

- 設定の途中に ▶OK ボタンを押すと、それまでに確定した項目が設定され時計が動き始めます。
- 本機の時計表記は 24 時間制です。

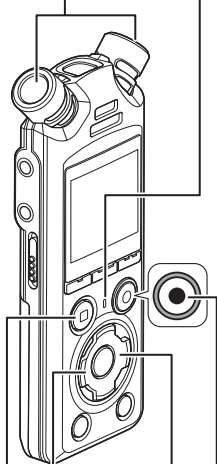
Step

1

録音してみましょう

PEAK 表示ランプ

内蔵ステレオマイク



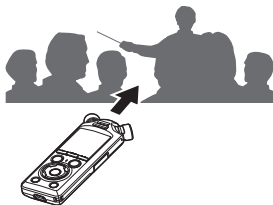
▶▶ ボタン

◀◀ ボタン

REC (●) ボタン/
録音表示ランプ

STOP (■) ボタン

- 1 録音したい方向に内蔵マイクを向ける



- 2 REC (●) ボタンを押して録音を開始する

録音表示
録音経過時間

- 録音表示ランプが点灯し、ディスプレイに【●録音中】が点灯します。
- ▶▶ または ◀◀ ボタンを押すと、録音レベルが調整できます。レベルメーターを確認しながら、メーターが振り切れないように調節してください。

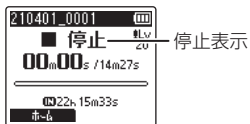
ご注意

- レベルメーターが振り切れると **PEAK** 表示ランプが点灯し、音が歪んだ状態で録音される場合があります。

Step

1

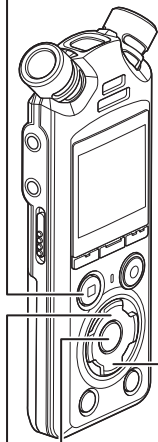
③ STOP (■) ボタンを押して録音を停止する



- 録音したファイルの保存先は、録音する前に指定できます (※ P.46)。初期設定は「フォルダ01」になっています。

Step
2録音したファイルを
聞いてみましょう

STOP (■) ボタン



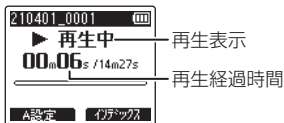
▶OK ボタン

+ボタン -ボタン

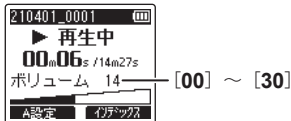
内蔵スピーカ（録音したファイルの再生音が聞こえます）



- 1** ▶OK ボタンを押して再生を開始する



- 2** +または-ボタンを押して聞きやすい音量にする

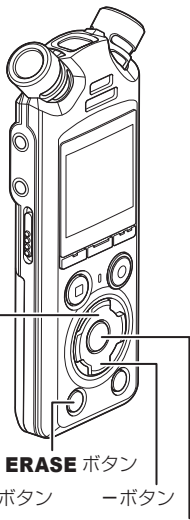


- 3** STOP (■) ボタンを押して録音を停止する

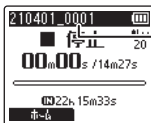
- ファイルの終わりまで再生されると、自動で停止します。

Step
3聞いたファイルを
消してみましょ

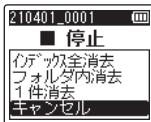
録音および再生を停止してから行ってください。



▶OK ボタン

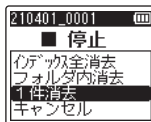
このファイル名の
ファイルが消去され
ます。

1 ERASE ボタンを押す



Step
3

- ② + または - ボタンを押して、[フォルダ内消去] または [1 件消去] を選ぶ



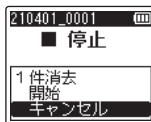
[インデックス全消去] :
インデックスをまとめて消去します
(P.81)。

[フォルダ内消去] :
選択したファイルが保存されている
フォルダ内のファイルをすべて消去
します。

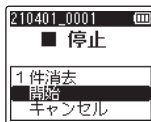
[1 件消去] :
選択したファイルを消去します。

- ◀◀ ボタンを押す、または操作中に 8 秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

- ③ ▶OK ボタンを押す



- ④ + ボタンを押して [開始] を選ぶ



- ⑤ ▶OK ボタンを押す

- ファイルの消去が完了します。

もくじ

スタートガイド

電池を入れましょう	5
電池を充電しましょう	7
日時を合わせましょう	10
録音してみましょ	12
録音したファイル聞いて みましょ	14
聞いたファイルを消してみましょ	15

1 準備

各部の名称	22
レコーダー	22
ディスプレイ	24
充電する	28
パソコンと USB 接続して充電する	28
USB 接続 AC アダプタ (別売 F-5AC) に 接続して充電する	30
電池について	32
microSD カードを入れる / 取り出す	34
microSD カードを入れる	34
microSD カードを取り出す	36
電源を入れる / 切る	38
電源を入れる	38
電源を切る	38
誤操作を防止する	39
ホールドにする	39
ホールドを解除する	39
【ホーム】画面の操作	40
モードを選択する	40

フォルダについて	41
音声録音用フォルダについて	41
音楽再生用フォルダについて	44
フォルダとファイルの選びかた	45

2 録音について

録音する	46
基本的な録音のしかた	46
録音レベルを自動で調整して録音を 開始する (【SMART】モード)	49
録音レベルを手動で調整して録音を 開始する	51
録音を一時停止する / 再開する	53
録音内容をすばやく確認するには	53
録音中の音声を聞く	55
イヤホンジャックにイヤホンを接続して 録音中の音声を聞くには	55
イヤホンを Bluetooth® 接続して録音中の 音声を聞くには	56
おまかせの録音設定を選ぶ 【録音シーン】	57
録音シーンの選びかた	57
変更した録音シーンを登録する	61
外部マイクや他の機器と接続して 本機で録音する【外部入力】	63
外部入力の種類を選ぶ	63
外部マイクなどの機器で録音する	65
ミュージックプレーヤーなどの音楽機器の 音を録音する	66
本機の音声を他の機器で録音する	67

3 再生について

再生する	68
基本的な再生のしかた.....	68
早送りをするには.....	70
早戻しするには.....	70
ファイルの頭出しするには.....	71
イヤホンジャックにイヤホンを接続して再生音を聞くには.....	73
イヤホンを Bluetooth® 接続して再生音を聞くには.....	74
再生速度を変更する	76
ABC リピート再生をする	77
インデックスマーク・テンプマークについて	80
インデックスマーク・テンプマークを付ける.....	80
インデックスマーク・テンプマークを消去する.....	81
カレンダー検索機能を使う	83
録音した日付でファイルを探す.....	83
消去する	84
ファイルを消去する.....	84
フォルダを消去する.....	85

4 メニューについて

メニュー設定のしかた	87
基本的な操作のしかた.....	87
メニューの一覧	89
ファイルメニュー [ファイル設定]	96
ファイルの音声部分を抽出する [声だけ抽出].....	96
ファイルの誤消去を防止する [ファイルロック].....	99

ファイルを並べ替える [並び替え].....	101
ファイルを移動/コピーする [ファイル移動/コピー].....	103
ファイルを分割する [ファイル分割].....	106
ファイルの一部を消去する [部分消去].....	108
ファイルの必要な部分だけを残す [トリミング].....	110
ファイルの音量レベルを全体的に上げる [ノーマライズ].....	112
ファイルの最初と最後をフェードイン・フェードアウトする [フェードイン・アウト].....	114
ファイル名の先頭に文字列を追加する [ファイル名変更].....	115
ファイルやフォルダの情報を見る [プロパティ].....	116
録音メニュー [録音設定]	118
録音感度を選択する [録音レベル].....	118
過大入力時の音割れを抑える [リミッター].....	121
録音モードを設定する [録音モード].....	123
マイクの指向性を選択する [ズームマイク].....	125
ノイズを軽減して録音する [ローカットフィルタ].....	127
クリアな音で録音する [ブライトサウンド].....	128
音声を出力しないで録音する [録音モニター].....	129
設定した時間に録音を開始する [タイマー録音].....	130
録音開始前に録音待機状態にする [録音待機].....	133
いろいろな録音方法で録音する [Fn 録音].....	134
プリレコーディング機能で録音する [プリレコーディング].....	136

音声同期録音機能で録音する [音声同期録音]	138
オーバーダビング機能を使う [オーバーダビング]	140
VCVA 機能で録音する [VCVA]	141
音声同期時間を設定する [音声同期時間]	143
ムービーと同期をとるための基準となる音を 記録する [スレートトーン]	144
カメラに入力される本機の音声レベルを 調整する [テストトーン]	147
再生メニュー [再生設定]	149
非音声部分をスキップして再生する [声だけ再生]	149
ノイズを軽減して再生する [ノイズキャンセル]	151
小さい音を補正して再生する [ボイスバランサー]	152
再生モードを選択する [再生モード]	154
音楽の音質を変える [イコライザー]	157
スキップ間隔を設定する [スキップ間隔]	159
表示/音メニュー [表示/音設定]	161
バックライトを設定する [バックライト]	161
コントラストを調整する [コントラスト]	162
LED 表示を設定する [LED]	163
操作音を設定する [操作音]	164
表示言語を切り替える [言語選択 (Lang)]	165
ファイルの先頭部分を数秒間再生する [イントロ再生]	166
スピーカ出力を選択する [スピーカ出力]	167

本体メニュー [本体設定]	168
Bluetooth® 対応機器を接続する [Bluetooth 設定]	168
記録メディアを選択する [メモリ選択]	168
省電力モードを設定する [スリープ]	170
使用する電池を設定する [電池設定]	171
日付・時刻を合わせる [時計設定]	172
USB 接続を設定する [USB 設定]	174
設定をリセットする [設定リセット]	176
記録メディアを初期化する [初期化]	177
記録メディアの情報を確認する [メモリ情報]	179
本機の情報を確認する [システム情報]	180
認証マークを表示する [認証マーク表示]	181

5 Bluetooth® について

Bluetooth® 機能をご使用になる 前に	182
Bluetooth® 対応のオーディオ機器を 接続する/切断する	184
Bluetooth® 対応のオーディオ機器を 接続する	184
Bluetooth® 対応のオーディオ機器の 接続を切断する	189
スマートフォンと Bluetooth® で 接続する	190
DVR.Remote について	190
Bluetooth® 機能のオン/オフを 切り替える	192
Bluetooth® 機能をオンにしてペアリング 済みの機器と自動接続する	192

6 パソコンでの活用について

パソコンに接続する／取り外す	194
パソコンに接続する	194
パソコンから取り外す	195

7 資料

活用のヒント	196
警告表示一覧	198
故障かな？と思ったら	200
アクセサリー（別売）	204
お手入れ	206
著作権および商標などのご注意	207
主な仕様	210

8 安全に正しくお使いいただくために

索引	222
----------	-----

本書の表記について

ご注意

本機をご使用になる際の注意事項や絶対に避けていただきたい操作などが書かれています。

ご確認

本機を操作するときに確認していただきたいことなどが書かれています。

ヒント

知っておくと便利なことや役立つ情報などが書かれています。



本書での参照先のページを表します。

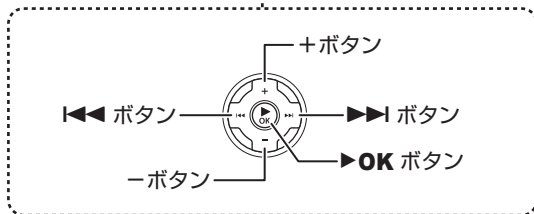
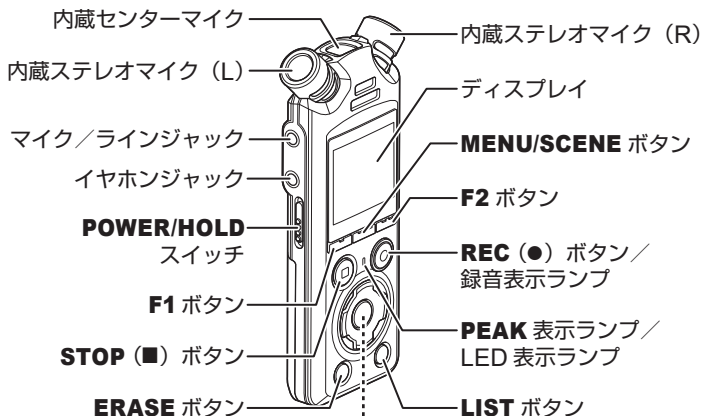
準備

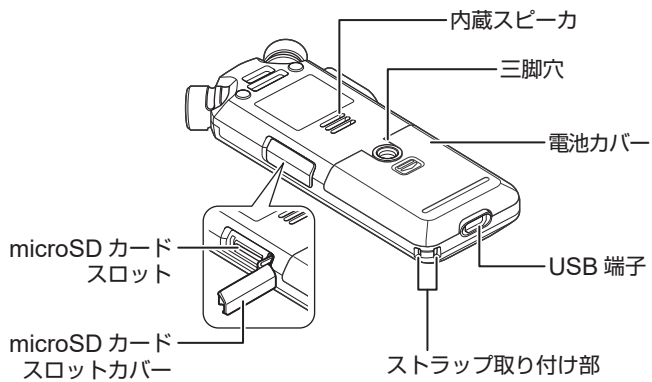
各部の名称

1

準備

レコーダー





ディスプレイ

1

準備

■ [ホーム] 画面



- ① 記録メディア表示
 [IN] : 内蔵メモリ
 [SD] : microSD カード
- ② Bluetooth® 表示
- ③ 電池表示
- ④ [ミュージック] モード
 (P.26)
- ⑤ [レコーダー] モード (P.25)
- ⑥ [カレンダー検索] モード

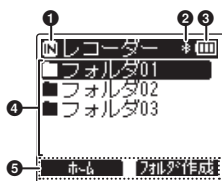
■ [カレンダー検索] 画面



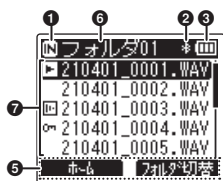
- ① 記録メディア表示
 [IN] : 内蔵メモリ
 [SD] : microSD カード
- ② 選択した日に登録されているファイル数
- ③ Bluetooth® 表示
- ④ 電池表示
- ⑤ 現在の日付
- ⑥ 選択した日付
- ⑦ ファイルを録音した日付

■ [レコーダー] モード：

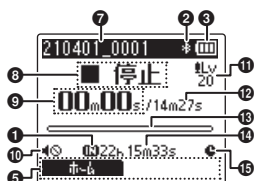
フォルダリスト表示



ファイルリスト表示



ファイル表示



① 記録メディア表示

[IN]：内蔵メモリ

[microSD]：microSD カード

② Bluetooth® 表示

③ 電池表示

④ フォルダ名

⑤ ファンクションボタンガイド表示

⑥ 現在のフォルダ名

⑦ ファイル名

[▶]：再生表示

[🔊]：声だけ抽出

[🔒]：ファイルロック

⑧ 本機の動作状態

[🔴]：録音表示

[🟡]：録音一時停止表示

[■]：停止表示

[▶]：再生表示

[▶]：早聞き再生表示

[▶]：遅聞き再生表示

[▶▶]：早送り表示

[◀◀]：早戻し表示

⑨ 録音経過時間（録音時）、再生経過時間（再生時）

⑩ スピーカ出力停止 (🔊)

⑪ 録音レベル

⑫ ファイルの長さ

⑬ レベルメーター（録音時）、再生位置バー表示（再生時）

⑭ 録音可能な残り時間

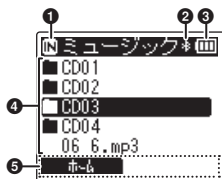
⑮ タイマー録音

■ [ミュージック] モード：

1

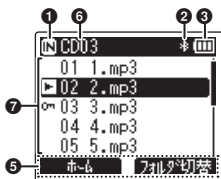
準備

リスト表示 ①



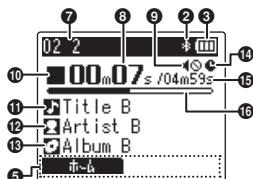
フォルダ内にファイルとフォルダがある場合

リスト表示 ②



フォルダ内にファイルのみがある場合

ファイル表示



① 記録メディア表示

[IN]：内蔵メモリ

[▶]：microSD カード

② Bluetooth® 表示

③ 電池表示

④ フォルダ名、ファイル名

⑤ ファンクションボタンガイド表示

⑥ 現在のフォルダ名

⑦ ファイル名

[▶]：再生表示

[0]：ファイルロック

⑧ 再生経過時間

⑨ スピーカ出力停止 (🔇)

⑩ 本機の動作状態

[■]：停止表示

[▶]：再生表示

[▶]：早聞き再生表示

[▶]：遅聞き再生表示

[▶▶]：早送り表示

[◀◀]：早戻し表示

⑪ タイトル名

⑫ アーティスト名

⑬ アルバム名

⑭ タイマー録音

⑮ ファイルの長さ

⑯ 再生位置バー表示

ヒント

- [ホーム] 画面、リスト表示、録音/再生の停止中に **STOP** (■) ボタンを押すと [現在日時] や [メモリ残量] (録音可能な残り時間) を確認できます。現在日時が合っていない場合、「日付・時刻を合わせる [時計設定]」(P.172) をご覧ください。
- +または-ボタンを押すと、表示を切り替えてその他の情報を確認できます。ボタンを押すごとに画面が切り替わります。



① 現在日時

② 電池表示

[Ni] : ニッケル水素充電電池

[Al] : アルカリ乾電池

③ 記録メディア表示

④ メモリ残量

録音可能な残り時間

使用メディアの残り容量

⑤ 録音フォルダ

⑥ 録音設定

[PCM 44.1] : 録音モード

[Lv] : 録音レベル

[Lv] : ズームマイク

[SCENE] : 録音シーン

[X] : ローカットフィルタ

[LIMIT] : リミッター

[LOUD] : ブライトサウンド

[MON] : 録音モニター

[MIC] : 外部入力

[RECORD] : 録音待機

[VOICE] : 声だけ抽出

⑦ 再生設定

[NC] : ノイズキャンセル

[BAL] : ボイスバランサー

[RND] : ランダム再生

[R] : 再生範囲

[REP] : リピート再生

[USER] : イコライザー

[VOICE] : 声だけ再生

- もう一度 **STOP** (■) ボタンを押すと元の画面に戻ります。

充電する

付属の充電電池を充電するには、付属の **USB 接続ケーブル** で本機とパソコンを接続して充電する方法と **USB 接続 AC アダプタ**（別売）を使って接続する方法があります。

1

パソコンと USB 接続して充電する

準備

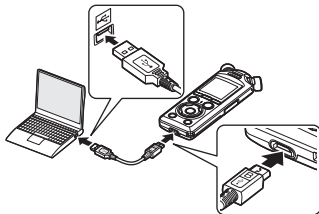
パソコンと USB 接続して充電できます。充電電池（付属）は本体に正しく入れてください（☞ P.5）。

ご確認

- 充電の際は付属の充電電池を入れ **「電池設定」** の設定を **「ニッケル水素電池」** にしてください（☞ P.171）。
- アルカリ電池やリチウム電池などの一次電池を充電しないでください。液漏れ、発熱など本機の故障の原因となります。
- 電池表示（☞ P.32）が **[電池]** に変わったら、電池残量が残りをわすかです。充電するか、新しい電池に交換してください。

1 パソコンを起動する

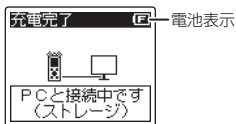
2 本機が停止または電源が切れている状態で、USB 接続ケーブルで本機とパソコンを接続する



- **「充電中」** の画面が表示されて、充電が開始されます。充電中は **LED 表示ランプ** が点灯します。







- 電池表示が **[F]** になったら充電完了です。



充電時間：約 3 時間*

* 室温で電池残量がない状態から満充電する場合の目安です。充電時間は電池の残量や充電の状態などにより変化します。

ご注意

- USB 接続したパソコンの電源が入っているときに充電してください。パソコンの電源が入っていないときやパソコンがスタンバイ、休止、オートパワーオフモードの場合は充電できません。
- パソコンと接続して充電するときは USB ハブを使用しないでください。
-  *1 または  *2 が点滅している場合は充電できません。周囲の温度が 5 ~ 35℃ の環境で充電してください。
*1  : 周囲の温度が低い場合
*2  : 周囲の温度が高い場合
- 電池を満充電しても寿命が著しく短くなってきたときは、新しい電池と交換してください。
- USB 接続ケーブルのコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていないと正常に動作しません。
- 必ず付属の USB 接続ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用になると、故障の原因となりますので、絶対におやめください。また、この USB 接続ケーブルは、他社製品同士の接続に使用しないでください。
- 充電ができない場合は、[USB 設定] メニューの [USB クラス] を [ストレージ] にしてください (P.174)。
- 録音中に電池が切れると、録音内容が記録されません。録音を開始する前に、電池が十分に充電されていることを確認してください (P.32)。

USB 接続 AC アダプタ (別売 F-5AC) に接続して充電する

1

本機と USB 接続 AC アダプタ (別売 F-5AC) を USB 接続ケーブルで接続して充電できます。充電電池 (付属) は本体に正しく入れてください (P.5)。

準備

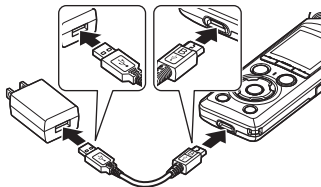
ご確認

- 充電の際は付属の充電電池を入れ [電池設定] の設定を [ニッケル水素電池] にしてください (P.171)。
- 電池表示 (P.32) が [] に変わったら、電池残量が残りがわすかです。充電するか、新しい電池に交換してください。

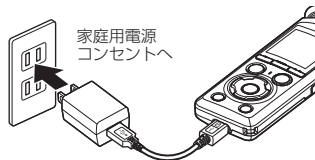
ご注意

- 当社製 USB 接続 AC アダプタ (F-5AC) 以外の AC アダプタを使用しないでください。
- アルカリ電池やリチウム電池などの一次電池を充電しないでください。液漏れ、発熱など本機の故障の原因となります。

- 1 USB 接続設定を [AC アダプタ接続] に切り替える (P.174)
- 2 付属の USB 接続ケーブルで本機と AC アダプタを接続する



- 3 本機が停止または電源が切れている状態で、AC アダプタを家庭用電源コンセントに接続する



- **【充電中】** の画面が表示されて、充電が開始されます。充電中は LED 表示ランプが点灯します。



- **【充電完了】** と表示されたら充電は終了です



ヒント

- **【USB クラス】** を **【コンボジット】** にしている場合は、**【USB 接続】** を **【毎回確認】** にしておくと、接続時に **【AC アダプタ接続】** を選んで充電できるようになります (P.175)。

ご注意

- *1 または *2 が点滅している場合は充電できません。周囲の温度が 5 ~ 35℃ の環境で充電してください。
- *1 : 周囲の温度が低い場合
- *2 : 周囲の温度が高い場合
- 電池を満充電しても寿命が著しく短くなってきたときは、新しい電池と交換してください。
- **USB 接続ケーブル** のコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていないと正常に動作しません。
- 必ず付属の **USB 接続ケーブル** をご使用ください。他社製品をご使用になると、故障の原因となりますので、絶対におやめください。また、この **USB 接続ケーブル** は、他社製品同士の接続に使用しないでください。
- 録音中に電池が切れると、録音内容が記録されません。録音を開始する前に、電池が十分に充電されていることを確認してください (P.32)。

電池について



1

準備

電池表示について

電池の残量に応じてディスプレイの電池表示が次のように変わります。



- [] が表示されたら、電池残量が残りわずかです。充電するか新しい電池に交換してください。電池残量がなくなると、[] と [電池残量がありません] が表示され、動作が停止します。

充電電池について

ニッケル水素充電電池 (BR404) をご使用の際には以下をよくお読みください。

■ 放電：

充電電池は、使用しないと自然に放電します。ご使用前には、必ず充電するようにしてください。

■ 操作温度：

充電電池は化学製品です。推奨温度範囲で使用する場合にも充電電池の性能は変化しますが、故障ではありません。

■ 推奨温度範囲：

本機動作時：0～42℃

充電：5～35℃

長期保管：-20～30℃

上記の温度範囲外での充電電池の使用は、性能・寿命の低下の原因となります。長期間本機をご使用にならない場合は、液漏れ・さびを防ぐために充電電池を取り外して保管してください。

■ 処分について

充電電池は関係する法令に従って処分してください。充電電池を完全に放電しないで処分するときは、ショートしないように電池端子をテープで絶縁するなどの処置をしてください。

ご注意

- ニッケル水素充電電池自体の性質上、新しく購入した電池や長期間（1か月以上）使用していない電池は、充電が完全にされないことがあります。この場合は充放電を2、3回繰り返してください。
- 充電電池をお買い求めの際は、必ずニッケル水素充電電池 **BR404** をお選びください。他社製品をご使用の場合、動作の保証はできません。
- 繰り返し使用したニッケル水素充電電池は劣化により電池持続時間が短くなります (※ P.212)。

電池についてのご注意

- マンガン電池は本機で使用できません。
- 電池を交換する際は、必ず本機の電源を切ってから電池を交換してください。本機が録音、消去などの動作中に電池を抜くと、ファイルが破損する場合があります。
- 本機から電池を抜いた状態が一定時間以上続いたり、短い間隔で電池の出し入れを行うと、電池や日時の設定がリセットされます。電池や日時の設定画面が表示された場合は、「電池を充電しましょう」(P.7)、「日時を合わせましょう」(P.10)をご覧ください。
- 本機を長期間ご使用しない場合は、電池を取り外して保管してください。
- 電池交換の際は、単4形アルカリ乾電池、または当社製ニッケル水素充電池BR404をご使用ください。
- 電池表示が [] であっても内蔵スピーカーで再生すると音量によっては電池の出力電圧が低下し、本機にリセットが発生する場合があります。この場合は、音量を下げてご使用ください。
- microSD カードによっては電池持続時間が短くなることがあります (P.212)。
- ご使用の電池の性能により電池持続時間は変化します (P.212)。
- 電池を交換したときは自動的に「電池設定」画面が表示されます。メニュー操作でも同様に電池の設定ができます (P.171)。

microSD カードを入れる／取り出す

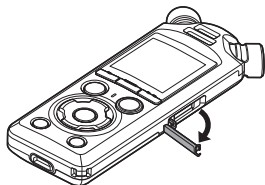
内蔵メモリのほかに市販の microSD カード* (microSD、microSDHC、microSDXC) をご使用になれます。

1

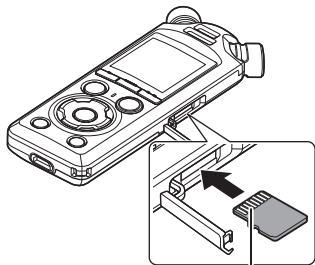
microSD カードを入れる

準備

- 1 停止中に microSD カードスロットカバーを開ける



- 2 図のように microSD カードの向きを正しく合わせて入れる



端子部

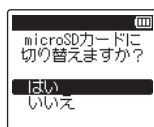
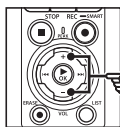
- microSD カードが斜めに入らないようにまっすぐに入れます。

- microSD カードの向きを間違えたり、斜めに入れると接触面が破壊されたり、microSD カードが抜けなくなる場合があります。
- カチッと音がする位置まで microSD カードが挿入されていないと、microSD カードに記録できない場合があります。

- 3 microSD カードスロットカバーを閉じる

- microSD カードを入れると、記録メディアの切り替え画面が表示されます。

- 4 microSD カードに記録する場合、+または-ボタンを押して【はい】を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- [ホーム] 画面 (P.24) が表示されます。

ヒント

- 記録メディアを内蔵メモリに切り替えることもできます (☞ P.168)。

ご注意

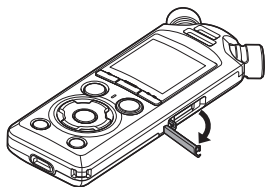
- パソコンなど他の機器でフォーマット(初期化)した microSD カードは、認識できない場合があります。ご使用になる前に、必ず本機で初期化してください (☞ P.177)。

microSD カードを取り出す

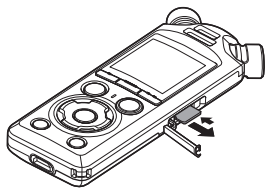
1

準備

- 1 停止中に microSD カードスロットカバーを開ける



- 2 microSD カードを一度奥に向かって押し込んで、そのままゆっくり戻す



- microSD カードが手前に出て止まります。microSD カードをつまんで取り出してください。
- [メモリ選択] の設定を [microSD カード] にしていた場合、[内蔵メモリに切り替えました] と表示されます。

- 3 microSD カードスロットカバーを閉じる

ご注意

- microSD カードを取り出す際に、microSD カードを押した指をすぐに離したり、指ではじくようして押し出すと、microSD カードが勢いよく飛び出すことがあります。
- microSD カード、microSDHC カード、microSDXC カードにおいて、本機との相性により製造メーカーやカードの種類によっては正しく認識しないことがあります。
- 当社基準における動作確認済みの microSD カードについては、当社ホームページのサポートページをご覧ください。

ホームページでは、当社が動作確認を行った microSD カードの製造メーカーとカードの種類を紹介していますが、当社がお客様に対して microSD カードの動作保証をするものではありません。また、各製造メーカーの仕様変更などにより、正しく認識できなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。

- ご利用の際は、microSD カードに付属の取扱説明書を必ずお読みください。

- microSD カードが認識されない場合、microSD カードを取り出してからもう一度入れ直し、本機で認識するか試してください。
- microSD カードの種類によっては処理速度が遅くなる場合があります。また、microSD カードは書き込みや消去を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合、microSD カードを初期化し直してください (P.177)。

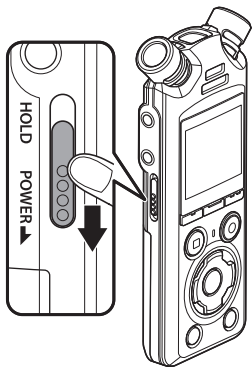
電源を入れる／切る

1

準備

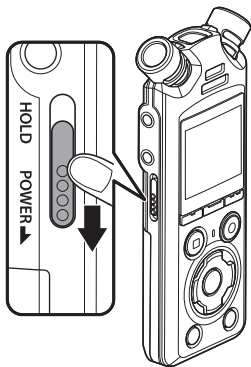
電源を入れる

POWER/HOLD スイッチを矢印の方向へスライドすると電源が入ります。



電源を切る

POWER/HOLD スイッチを矢印の方向へ0.5秒以上スライドすると電源が切れます。



- 電源を切る前の再生停止位置や既存のデータ、各モードの設定、時計設定などは保持されます。

ヒント

- 使用していないときは、電源をこまめに切ると電池の消耗を最小限に抑えられます。

スリープモードについて

電源を入れて 10 分以上（初期設定）停止状態が続くと、ディスプレイ表示が消え、自動的にスリープ（省電力）モードに切り替わります（☞ P.170）。

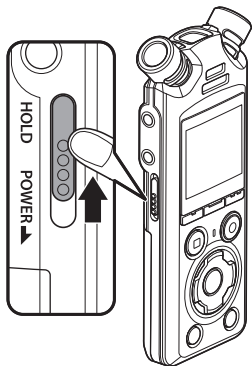
- いずれかのボタンを押すとスリープモードは解除されます。

誤操作を防止する

ホールドにすると動作中の状態を保ち、ボタン操作を受け付けません。かばんやポケットに入れたときに誤ってボタンが押されても動作しないので、持ち運びに便利です。また、録音中に誤って停止してしまうことを防ぎます。

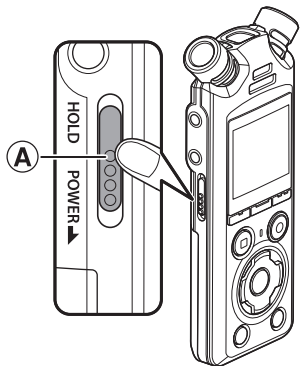
ホールドにする

POWER/HOLD スイッチを **HOLD** の位置にスライドすると、ディスプレイに [ホールド] が表示され、ホールド状態になります。



ホールドを解除する

POWER/HOLD スイッチを **A** の位置にスライドするとホールドが解除されます。



ご注意

- ホールドの状態ですれかのボタンを押すと、[ホールド] 表示が 2 秒間点灯しますが動作しません。
- 再生（または録音）中にホールドにすると、再生（録音）状態のまま操作ができなくなります（再生が終了したり、メモリ残量がなくなるなどで録音が終了すると停止状態になります）。

1

準備

[ホーム] 画面の操作

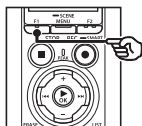
モードを選択する

1

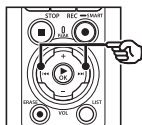
レコーダーとしてお使いいただけるほか、ミュージックプレーヤーとしてもお楽しみいただけます。目的に合わせてモードを選択してください。

準備

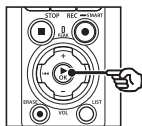
- 1 停止中に **F1** (ホーム) ボタンを押して [ホーム] 画面にする



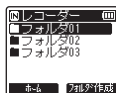
- 2 ▶▶ または ◀◀ ボタンを押してモードを選ぶ



- 3 ▶ OK ボタンを押す



[レコーダー] を選んだ場合：



[レコーダー] モードに切り替わり、内蔵マイクを使って録音できます。

また、マイクから録音したファイルを再生できます (※ P.46、P.68)。

[ミュージック] を選んだ場合：



[ミュージック] モードに切り替わり、本機に転送した音楽ファイルを再生できます (※ P.68)。

[カレンダー検索] を選んだ場合：



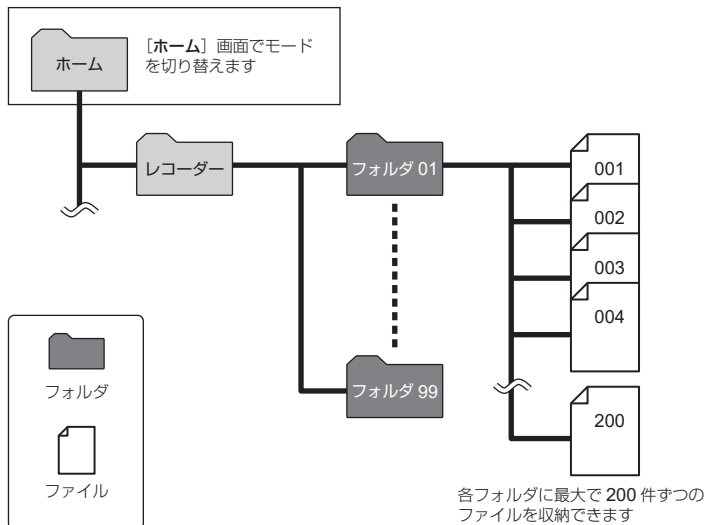
[カレンダー検索] モードに切り替わり、録音した日付でファイルを検索できます (※ P.83)。

フォルダについて

本機で使用する内蔵メモリまたは microSD カード内には、録音した音声を保存するための「レコーダー」フォルダと、パソコンから音楽ファイルを転送する場合に便利な「ミュージック」フォルダがあります。

音声録音用フォルダについて

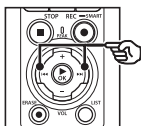
録音した音声ファイルは、「レコーダー」フォルダ直下の音声録音用フォルダに保存されます。音声録音用フォルダは 99 個まで作成できます（※ P.42）。本機で録音を行う場合は、フォルダを選んでから行ってください。



フォルダを作成する

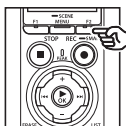
[レコーダー] フォルダ直下にフォルダを作成します。作成したフォルダは、録音シーンに合わせたフォルダ名にできます。

- 1 [ホーム] 画面で ►► または ◀◀ ボタンを押して [レコーダー] を選ぶ (P.40)



- 2 ►OK ボタンを押す

- 3 F2 (フォルダ作成) ボタンを押す

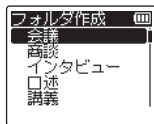
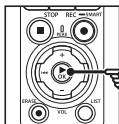


- 4 + または - ボタンを押して作成するフォルダの先頭の文字列を選ぶ

フォルダ名の先頭に使用できる文字列

会議	ポッドキャスト
商談	発表会
インタビュー	コンサート
口述	野外
講義	スケジュール
授業	To Do
語学学習	メモ
音楽	フォルダ
動画	

- 5 ►OK ボタンを押す



- [しばらくお待ちください] が点滅します。[フォルダを作成しました] と表示されたら終了です。
- 選んだ文字列と 2 桁の数字の組み合わせでフォルダ名が作成されます。



ご注意

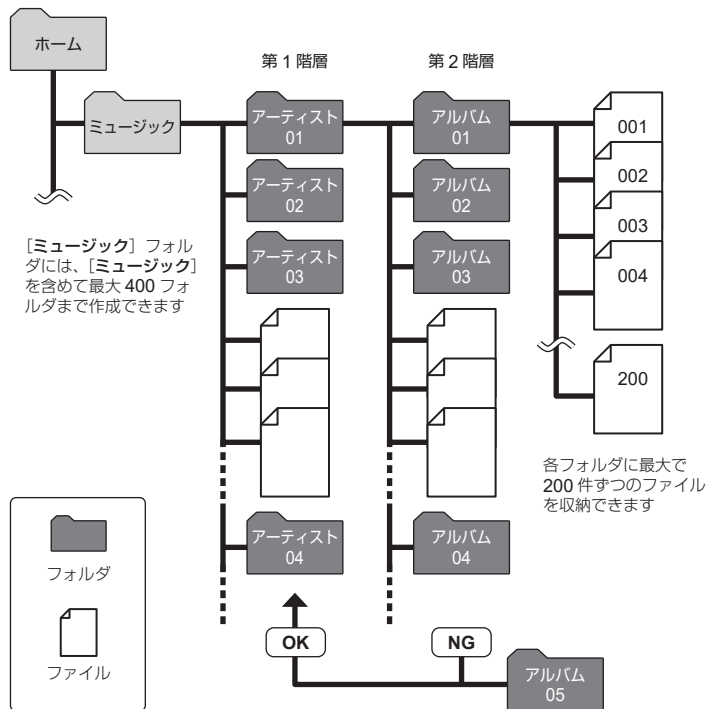
- [フォルダ件数がいっぱいです] と表示された場合は、これ以上フォルダを作成できません。不要なフォルダを削除してください (☞ P.85)。
- [レコーダー] フォルダ直下のフォルダには、ファイルを 200 個まで保存できます。保存されているファイルが 200 個に達した状態で、新たに録音したりファイル分割 (☞ P.106) を行うと、新しいフォルダが自動的に作成されて増えたファイルの保存先になります。

音楽再生用フォルダについて

1

準備

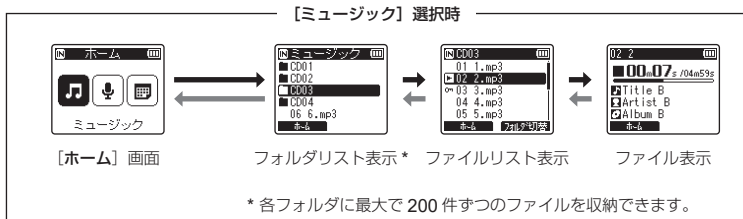
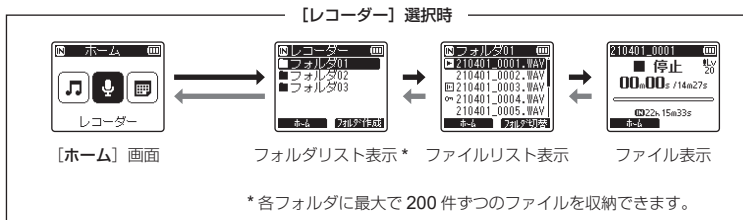
パソコンから音楽ファイルを本機に転送する場合は、[ミュージック] フォルダ内に保存してください。[ミュージック] フォルダは、第2階層までフォルダを作成できます。



第2階層のフォルダにパソコンから音楽ファイルの入ったフォルダを転送してもファイルは認識されません

フォルダとファイルの選びかた

フォルダの切り替えは停止中または再生中に操作してください。フォルダの階層構造については「フォルダについて」をご覧ください (P.41)。



→進む: ▶OK ボタン

押すたびにリスト表示で選んだフォルダまたはファイルを開き 1 つ下の階層に進みます。リスト表示は、▶▶ ボタンでも操作できます。

←戻る: LIST ボタン

押すたびに 1 つ上の階層に戻ります。リスト表示では、◀◀ ボタンでも操作できます。

ヒント

- フォルダの階層を移動しているときに **LIST** ボタンを長押しすると、ファイル表示に戻ります。

+または-ボタン

フォルダやファイルを選びます。

[ホーム] 画面:

本機のモードを切り替えます (P.40)。

リスト表示:

本機に記録されているフォルダとファイルのリストが表示されます。

F2 (フォルダ切替) ボタンを押すと次のフォルダのリスト表示に切り替わります。

ファイル表示:

選んだファイルの情報が表示されます。

録音について

録音する

録音した音声ファイルは、[レコーダー] フォルダ直下の音声録音用フォルダへ保存されます (P.41)。音声録音用フォルダは、99 個まで作成することができます (P.42)。

2

録音について

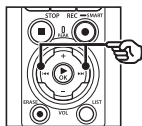
基本的な録音のしかた

録音するフォルダを選び、**REC** (●) ボタンを押すだけで録音を開始します。

ご確認

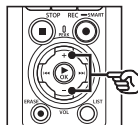
- [録音待機] を [ON] にしている場合は [OFF] に設定してください (P.133)。

- 1 [ホーム] 画面で ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して [レコーダー] を選ぶ (P.40)



- 2 ▶ OK ボタンを押す

- 3 + または - ボタンを押して録音するフォルダを選ぶ

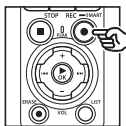


- 録音した音声は、選んだフォルダに保存されます。

- 4 録音したい方向に内蔵マイクを向ける



5 REC (●) ボタンを押して録音を開始する



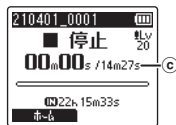
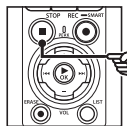
- a 録音経過時間
- b 録音可能な残り時間

- 録音表示ランプが点灯します。
- 冒頭部分に簡単な録音内容を記録しておく、あとで「イントロ再生」機能を使って検索するときに便利です (P.166)。
- ▶▶ または ◀◀ ボタンを押すと、録音レベルが調整できます。

ご注意

- レベルメーターが振り切れると **PEAK** 表示ランプが点灯し、音が歪んだ状態で録音される場合があります。レベルメーターが振り切れないように録音レベルを調節してください。
- 録音レベルを調整するには「録音レベル」を「マニュアル」に設定しておく必要があります (P.118)。

6 STOP (■) ボタンを押して録音を停止する



- c ファイルの長さ

ヒント

- 録音の音質やファイル形式を変更する場合は、停止中に「録音モード」を設定します (P.123)。
- 「レコーダー」以外のモードでも、**REC** (●) ボタンを押すことにより録音を開始して、突然の録音機会に対応できます。その際、録音したファイルは、「レコーダー」フォルダ内の先頭フォルダ (フォルダリスト表示の一番上のフォルダ) に保存されます。

ご注意

- 頭切れを防ぐために、録音表示ランプの点灯やディスプレイのモード表示を確認してから録音を行ってください。
- 録音可能な残り時間が 60 秒になると LED 表示ランプが点滅を開始し、30 秒、10 秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
- [ファイル件数がいっぱいです] と表示された場合、これ以上録音できません。フォルダを変更するか、不要なファイルを消去してから録音をしてください (P.84)。
- [メモリがいっぱいです] と表示された場合、容量がありません。不要なファイルを消去してから録音をしてください (P.84)。
- 本機に microSD カードを入れたときは、使用する記録メディアが [内蔵メモリ] なのか [microSD カード] なのかを間違えないように設定してください (P.168)。
- 記録メディアは書き込みや消去を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合は記録メディアを初期化してください (P.177)。

本機で録音した音声には、自動的に以下のようなファイル名が付けられません。[ファイル設定] メニューの [ファイル名変更] で、ファイル名の先頭に文字列を追加することもできます (P.115)。

210101_0001.MP3

①

②

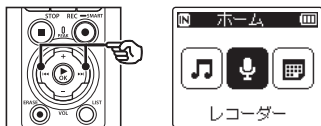
③

- ① 録音した日付：
録音した年月日になります。
- ② ファイル番号：
記録メディアの切り替えにかかわらず、ファイル番号は連続して付けられます。
- ③ 拡張子：
本機で録音した場合の録音形式の拡張子です。
 - リニア PCM 形式：「.WAV」
 - FLAC 形式：「.FLAC」
 - MP3 形式：「.MP3」

録音レベルを自動で調整して録音を開始する ([SMART] モード)

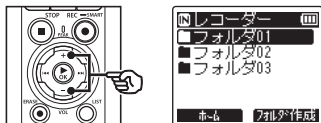
本機に入力された音量に応じて、最適な録音レベルになるように自動調整を行い録音を開始します。

- 1 [ホーム] 画面で ►► または ◀◀ ボタンを押して [レコーダー] を選ぶ (P.40)



- 2 ►OK ボタンを押す

- 3 + または - ボタンを押して録音するフォルダを選ぶ

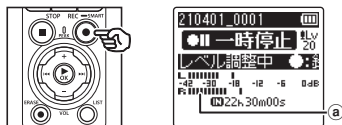


- 録音した音声は、選んだフォルダに保存されます。

ヒント

- [レコーダー] 以外のモードでも、**REC (●)** ボタンを長押しして録音レベルの調整を開始できます。録音したファイルは [レコーダー] フォルダ内の先頭フォルダ (フォルダリスト表示の一番上のフォルダ) に保存されます。

- 4 **REC (●)** ボタンを長押しする



- a レベルメーター (録音音量や録音機能の設定に合わせて変化します)

ご注意

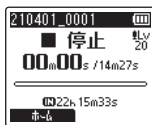
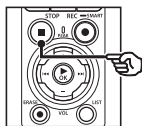
- [録音レベル] の [内蔵マイク] または [外部マイク] は [マニュアル] に設定されます (P.118)。
- [録音シーン] 機能は使用できません (P.57)。
- 録音中にレベルメーターが振り切れると **PEAK** 表示ランプが点灯し、音が歪んだ状態で録音される場合があります。[リミッター] を設定すると、過大入力による音割れを抑制できます (P.121)。

5 録音したい方向に内蔵マイクを向ける



- 最大の音量を基準に録音レベルが調整されます。

6 STOP (■) ボタンを押して録音レベルの自動調整を終了する

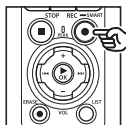


- 録音レベルの自動調整が終了し、ファイル表示画面に移ります。

ヒント

- STOP (■)** ボタンを押さずに **REC (●)** ボタンを押すと、その時点までに自動調整された録音レベルで録音を開始します。
- 本機を操作したときの音が録音レベルに影響しないように、録音レベルの自動調整開始直後と自動調整終了直前の数秒間は録音レベル調整に反映されません。

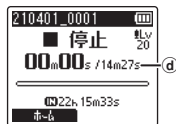
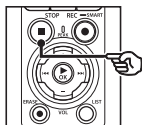
7 REC (●) ボタンを押して録音を開始する



- b 録音経過時間
- c 録音可能な残り時間

- 録音表示ランプが点灯します。
- 冒頭部分に簡単な録音内容を記録しておく、あとで [イントロ再生] 機能を使って検索するとき便利です (※ P.166)。

8 STOP (■) ボタンを押して録音を停止する



- d ファイルの長さ

- 調整された録音レベルは、再調整を行わない限り、次回録音時にも反映されます。

録音レベルを手動で調整して録音を開始する

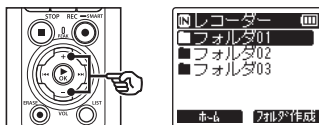
本機に入力された音量に応じて、録音レベルを手動で調整して録音を開始します。

- 1 [録音待機] で [ON] を選ぶ (P.133)

- 2 [ホーム] 画面で ►► または ◀◀ ボタンを押して [レコーダー] を選ぶ (P.40)

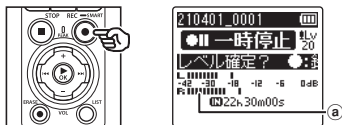
- 3 ►OK ボタンを押す

- 4 + または - ボタンを押して録音するフォルダを選ぶ



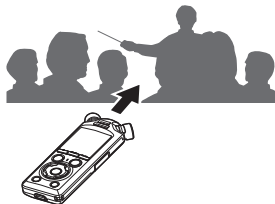
• 新しく録音した音声は、選んだフォルダに保存されます。

- 5 **REC** (●) ボタンを押して録音待機状態にする

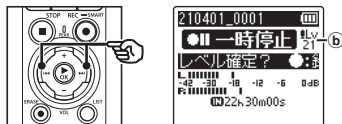


- a) レベルメーター（録音音量や録音機能の設定に合わせて変化します）
• 録音表示ランプが点滅します。

- 6 録音したい方向に内蔵マイクを向ける



- 7 ►► または ◀◀ ボタンを押して録音レベルを調整する

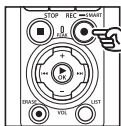


- b) 録音レベル

ご注意

- レベルメーターが振り切れると **PEAK** 表示ランプが点灯し、音が歪んだ状態で録音される場合があります。レベルメーターが振り切れないように録音レベルを調節してください。
- 録音レベルを調整するには [録音レベル] を [マニュアル] に設定しておく必要があります (P.118)。

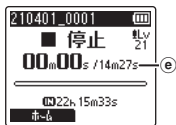
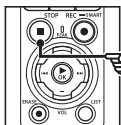
8 REC (●) ボタンを押して録音を開始する



- c 録音経過時間
- d 録音可能な残り時間

- 録音表示ランプが点灯します。
- 冒頭部分に簡単な録音内容を記録しておく、あとで「イントロ再生」機能を使って検索するときに便利です (P.166)

9 STOP (■) ボタンを押して録音を停止する



- e ファイルの長さ

2GB を超えるリニア PCM 形式の録音について

リニア PCM 形式の録音で、1 ファイルの容量が 2GB を超えた場合でも録音を継続します。

- ファイルは 2GB ごとに分割して保存されます。再生時には複数のファイルとして扱われます。
- 200 件目のファイルが 2GB を越えると、新しいフォルダが作成され、そのフォルダ内に分割されたファイルが保存されます。フォルダが 99 個ある場合は、新しいフォルダは作成されず、録音を停止します。

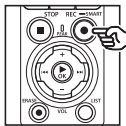
4GB を超える FLAC 形式、MP3 形式の録音について

FLAC 形式、MP3 形式の録音で、1 ファイルの容量がファイルサイズ上限 (約 4GB) に到達した場合は録音を停止します。

FLAC 形式の録音について

FLAC 形式では、可変ビットレート (1 つのファイル内でビットレートを可変させて変換する方式) を採用しているため、録音可能時間表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。残量に余裕がある状態で録音してください。

録音を一時停止する／再開する

1 録音中に **REC (●)** ボタンを押す

- 録音が一時停止し、ディスプレイに【●||一時停止】が点滅します。
- 録音一時停止のまま 60 分以上過ぎると停止状態になります。

2 一時停止中に **REC (●)** ボタンをもう一度押す

- 一時停止したところから録音が再開されます。

録音内容をすばやく確認するには

録音中に ▶OK ボタンを押すことで録音が中断され、すぐにファイルが再生されます。

録音に関する設定

録音状況に合わせてさまざまな設定ができます。

[録音レベル] (P.118)	録音レベルを設定します。
[リミッター] (P.121)	録音時の過大入力による音割れを自動的に抑制するかどうかを設定できます。
[録音モード] (P.123)	録音時の音質を設定できます。
[ズームマイク] (P.125)	内蔵マイクの指向性を設定できます。
[ローカットフィルタ] (P.127)	エアコンの空調音やプロジェクターなどの動作音を低減できます。
[ブライトサウンド] (P.128)	透明感のあるクリアな音で録音できます。
[録音シーン] (P.57)	録音する場面や状況に合わせた録音設定に一括で切り替えます。
[録音モニター] (P.129)	録音モニター音を出力しないように設定できます。
[外部入力] (P.63)	マイク/ラインジャックに接続する端子の種類を設定します。
[タイマー録音] (P.130)	タイマー録音を設定できます。
[録音待機] (P.133)	REC (●) ボタンを押したとき、録音待機状態で録音レベルを調整する設定に変更できます。
[Fn 録音] (P.134)	F2 ボタンにいろいろな録音方法を割り当てることができます。
[音声同期時間] (P.143)	[音声同期録音] (P.138) 機能で録音レベル以下の状態が何秒間続いた場合に録音を停止するかを設定します。
[スレートトーン] (P.144)	スレートトーン (ムービー撮影中の基準となる音) を出力して記録します。
[テストトーン] (P.147)	設定したボリュームでテストトーン (ボリューム調整用の音) を出力します。

録音中の音声を聞く

録音中の音声を聞くには、イヤホンやその他のオーディオ機器を本機のイヤホンジャック (🔌) に接続して聞く方法と、Bluetooth® に対応した機器を本機と Bluetooth® 接続して聞く方法があります。

イヤホンジャックにイヤホンを接続して録音中の音声を聞くには

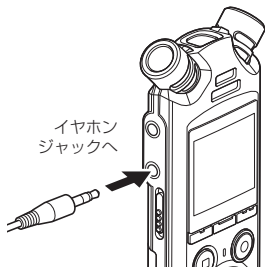
本機のイヤホンジャック (🔌) にイヤホンを差し込むと、録音中の音声を聞くことができます。

- イヤホンは別売です。
- イヤホン以外でも、スピーカなどイヤホンジャックに接続可能なオーディオ機器を使用できます。

ご確認

- [録音モニター] が [ON] になっていることを確認してください (※ P.129)。[OFF] に設定されている場合は、イヤホンに出力されません。

1 本機のイヤホンジャック (🔌) にイヤホンを接続する



2 + または - ボタンを押して音量を調整する

- 録音中の音声を聞きながら、音量を調整できます。
- 音量を変えても録音レベルは変化しません。

ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を [00] にしてからイヤホンを装着してください。
- ハウリングを起こしますので、録音中はイヤホンをマイクに近づけないでください。

イヤホンを Bluetooth® 接続して録音中の音声を聞くには

イヤホンと本機を Bluetooth® 接続して、録音中の音声を聞くことができます。

- イヤホンは別売です。
- イヤホン以外でも、Bluetooth® 対応機器を接続できます。対応しているプロファイルについては、「**Bluetooth® 仕様**」(※ P.210) をご覧ください。

2

録音について

1 本機とイヤホンを Bluetooth® 接続します。



- Bluetooth® 接続の方法については、「**Bluetooth® 対応のオーディオ機器を接続する**」(※ P.184) をご覧ください。
- 音量を変えても録音レベルは変化しません。

2 +または-ボタンを押して音量を調整する

- 録音中の音声を聞きながら、音量を調整できます。

ご注意

- [録音設定] メニューの [録音モード] から [PCM] または [FLAC] を選択したとき、ビット数が 24bit のフォーマットを選ぶと、Bluetooth® 接続されたイヤホンには音声が出力されません。24bit 以外のフォーマットを設定してください (※ P.123)。
- 耳への刺激を避けるため、音量を [00] にしてからイヤホンを装着してください。
- ハウリングを起こしますので、録音中はイヤホンをマイクに近づけないでください。










ヒント

- 本機にスピーカなどの機器を Bluetooth® 接続したとき、録音中の音声を出力しない場合は、[録音モニター] を [OFF] にしてください (※ P.129)。

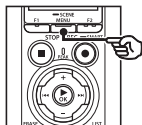
おまかせの録音設定を選ぶ [録音シーン]

録音シーンの選びかた

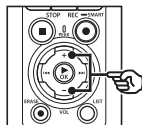
本機には講義や口述など録音するシーンに合わせた最適なテンプレートがあらかじめ登録されています。状況に応じたおすすめの設定に一括で切り替わります。

[講義]		場所が広く話し手が速く離れている場合など、マイクを向けた特定方向への録音に適しています。
[会議]		広いスペースでの会議など、広範囲の音声を録音するときに適しています。
[商談]		小スペースでの打ち合わせなど、やや近い音声を録音するときに適しています。
[口述]		自分の声など、ごく近い音声の録音に適しています。
[口述 (騒音下)]		自分の声など、ごく近い音声の録音に適しています。周囲の雑音が気になるときに、ノイズを抑えて録音します。
[文字起こし]		録音した音声から、音声を文字に変換するソフトウェアを利用して文字起こしを行う場合に適しています。会議など複数の人が発言する場合の録音に適しています。
[音楽]		楽器演奏や野外録音など、臨場感のある録音をしたいときに適しています。
[ユーザー 1]		[録音レベル]、[録音モード]、[ズームマイク]、[ローカットフィルタ]、[外部入力] の録音設定を自由に変更して、[ユーザー 1] または [ユーザー 2] に保存できます。設定の保存方法については、「変更した録音シーンを登録する」(※ P.61) をご覧ください。
[ユーザー 2]		

1 停止中に MENU/SCENE ボタンを長押しする



2 + または - ボタンを押して録音シーンを選ぶ

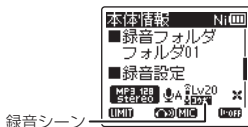


ヒント

- ▶▶▶ ボタンを押すと選択したテンプレートの設定を確認できます。◀◀◀ ボタンを押すと [シーン選択] 画面に戻ります。

3 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 停止中に **STOP** (■) ボタンを押して + または - ボタンで表示を切り替えると、録音シーンのアイコンで設定が確認できます。



ご注意

- 「録音シーン」を設定すると、以下の機能が使用できません。
 - 「録音と同時に抽出」(※ P.96)
 - 「Fn 録音」の「プリレコーディング」(※ P.136)
 - 「Fn 録音」の「オーバーダビング」(※ P.140)

録音シーンに登録されている設定内容

[講義] :

[録音レベル]	[オート]
[録音モード]	[MP3 128kbps]
[ズームマイク]	[20]
[ローカットフィルタ]	[ON]
[外部入力]	[マイク]

[会議] :

[録音レベル]	[オート]
[録音モード]	[MP3 128kbps]
[ズームマイク]	[0]
[ローカットフィルタ]	[ON]
[外部入力]	[マイク]

[商談] :

[録音レベル]	[高]
[録音モード]	[MP3 128kbps]
[ズームマイク]	[0]
[ローカットフィルタ]	[OFF]
[外部入力]	[マイク]

おまかせの録音設定を選ぶ [録音シーン]

[口述] :

[録音レベル]	[中]
[録音モード]	[MP3 128kbps]
[ズームマイク]	[0]
[ローカットフィルタ]	[ON]
[外部入力]	[マイク]

[口述 (騒音下)] :

[録音レベル]	[中]
[録音モード]	[MP3 64kbps mono] (サンプリング 周波数 16kHz)
[ズームマイク]	[0]
[ローカットフィルタ]	[ON]
[外部入力]	[マイク]

[文字起こし] :

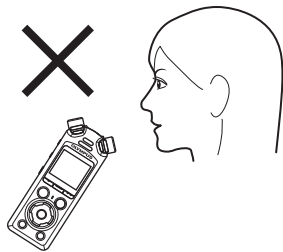
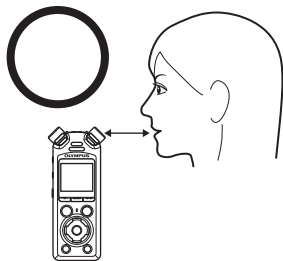
[録音レベル]	[オート]
[録音モード]	[PCM 44.1kHz mono]
[ズームマイク]	[0]
[ローカットフィルタ]	[ON]
[外部入力]	[マイク]

[音楽] :

[録音レベル]	[中]
[録音モード]	[PCM 44.1kHz/16bit]
[ズームマイク]	[0]
[ローカットフィルタ]	[OFF]
[外部入力]	[マイク]

ご注意

- **【口述（騒音下）】**に設定したときは、内蔵ステレオマイクの左右どちらか片方から録音されるよう、顔などを本機の側面 3cm 程度まで近づけ、本機をまっすぐにして録音してください。



- **【文字起こし】**の精度は、録音環境や、音声文字変換ソフトウェア、サービスの性能によります。レコーダーから離れた人の声は、不明瞭になりやすいため音声文字変換の精度が低下します。

ヒント

- **【文字起こし】**の精度を上げるには、以下のような方法があります。
- 振動を軽減するため、レコーダーとテーブルの間にハンカチなどを敷く。
- 試し録りを行い、できるだけ発言者全員の声が明瞭に録音できる位置にレコーダーを置く。
- 複数の人が同時に発言するのを避ける。
- エアコンやプロジェクターなどの近くにレコーダーを置かない。
- 音が反響する場所での録音を避ける。
- 室外のノイズが大きい場合はドアや窓を閉める。

変更した録音シーンを登録する

【録音レベル】(P.118)、【録音モード】(P.123)、【ズームマイク】(P.125)、【ローカットフィルタ】(P.127)、【外部入力】(P.63)に関する設定の組み合わせを登録することができます。

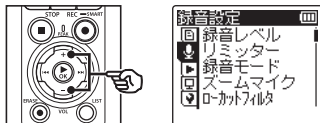
ご確認

- 【録音シーン】が【OFF】以外に設定されているときは、シーンの登録ができません。【録音シーン】を【OFF】に設定してください。

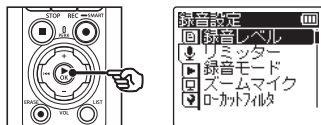
- 1 停止中または録音中に
MENU/SCENE ボタンを押す



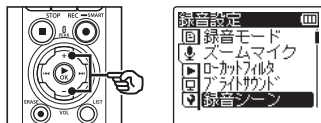
- 2 +または-ボタンを押して
【録音設定】タブを選ぶ



- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

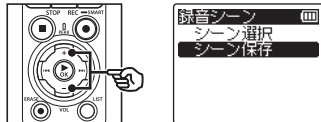


- 4 +または-ボタンを押して
【録音シーン】を選ぶ



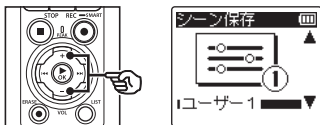
- 5 ▶OK ボタンを押す

- 6 +または-ボタンを押して
【シーン保存】を選ぶ



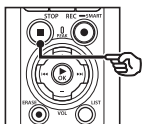
- 7 ▶OK ボタンを押す

- 8 + または - ボタンを押して
[ユーザー 1] または [ユーザー 2]
を選ぶ



- 9 ▶ **OK** ボタンを押して設定を
完了する
- [ユーザー 1] または [ユーザー 2]
に現在の設定が保存されます。

- 10 **STOP** (■) ボタンを押して
メニュー画面を終了する



外部マイクや他の機器と接続して本機で録音する [外部入力]

本機のマイク/ラインジャック (🎧) を使用して、外部マイクやオーディオ機器からの音声を録音できます。

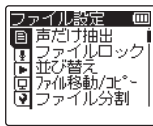
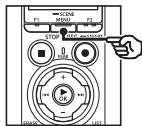
外部入力の種類を選ぶ

入力する機器がマイク端子の機器の場合は [マイク]、オーディオ機器などのライン入力端子の機器の場合は [ライン入力] に設定します。

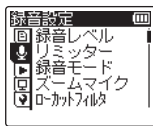
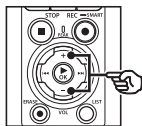
ご注意

- マイク/ライン入力の設定が接続する機器の端子に一致していない場合は、録音する音量が大きすぎたり、小さすぎたりする原因になります。

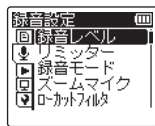
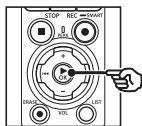
- 1 停止中または録音中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



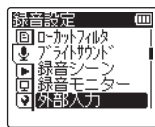
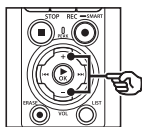
- 2 + または - ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ



- 3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

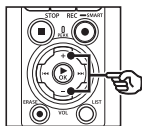


- 4 + または - ボタンを押して [外部入力] を選ぶ



- 5 ▶ **OK** ボタンを押す

- 6 + または - ボタンを押して [マイク] または [ライン入力] を選ぶ



7 ▶ **OK** ボタンを押して設定を完了する

8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 停止中に **STOP** (■) ボタンを押して + または - ボタンで表示を切り替えると、外部入力のアイコンで設定が確認できます。



外部入力

ご確認

- [外部入力] を設定すると、[録音シーン] は [OFF] に設定されます。[録音シーン] が設定されているときは、録音中に [外部入力] を設定できません。

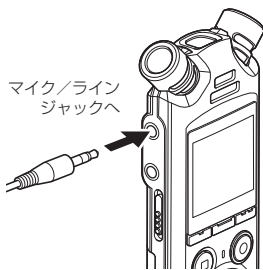
外部マイクなどの機器で録音する

外部マイクなどの機器で収録した音声をマイク入力し、本機で録音することができます。ご使用いただける外部マイクは「アクセサリ（別売）」（P.204）をご覧ください。

ご確認

- 接続する機器の入力端子がマイク端子であることを確認して、[外部入力]を[マイク]に設定します。設定方法は「外部入力の種類を選ぶ」（P.63）をご覧ください。

1 本機のマイク／ラインジャック（）に外部マイクを接続する



2 録音を開始する

- 録音に関する操作は「録音する」（P.46）をご覧ください。

ご注意

- 録音中は本機のジャックに抜き差しをしないでください。
- プラグインパワー対応のマイクがご使用になれます。
- [録音モード] の設定をステレオ形式にした場合、外部モノラルマイクを接続して録音するとLチャンネルのみに音声録音されます（P.123）。
- [録音モード] の設定をモノラル形式にした場合、外部ステレオマイクを接続して録音するとLチャンネルマイクのみ録音となります（P.123）。

ミュージックプレーヤーなどの音楽機器の音を録音する

ミュージックプレーヤーなどのオーディオ機器で再生した音声をライン入力し、本機で録音することができます。

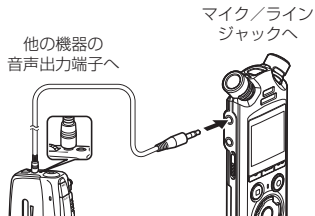
ご確認

- 接続する機器とつながっているコードの入力端子がライン入力端子であることを確認して、[外部入力]を [ライン入力] に設定します。設定方法は「外部入力の種類を選ぶ」(P.63) をご覧ください。

ご注意

- 録音中はコードの抜き差しをしないでください。
- 外部機器を接続する場合、試し録りをして外部機器の出力レベルを調整してください。

1 本機のマイク／ラインジャック (●) にミュージックプレーヤーを接続する



ヒント

- 他の機器の音声出力端子（イヤホンジャック）と本機のマイク／ラインジャック (●) をダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、その音声を録音できます。

2 録音を開始する

- 録音に関する操作は「録音する」(P.46) をご覧ください。

本機の音声を他の機器で録音する

本機のイヤホンジャック (🔊) にミュージックプレーヤーなどのオーディオ機器を接続し、本機の音声を録音できます。

1 本機のイヤホンジャック (🔊) に他の機器を接続する



ヒント

- 他の機器の音声入力端子 (マイクジャック) と本機のイヤホンジャック (🔊) をダビング用コネクティングコード KA333 (別売) でつなぐと、本機の音声を他の機器へ録音できます。

2 録音を開始する

- 録音方法については、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 録音中はコードの抜き差しをしないでください。
- 本機で再生関連の各種音質設定を調整すると、イヤホンジャック (🔊) から出力される音声出力信号も変化しませんが (P.151、P.152、P.157)。

再生について

再生する

本機で録音したファイルのほか、パソコンから転送した WAV、FLAC、MP3 形式のファイルが再生できます。

基本的な再生のしかた

3

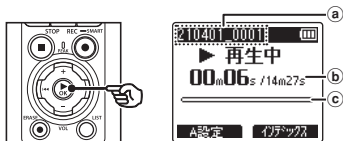
再生について

- 1 再生するファイルが収録されているフォルダからファイルを選ぶ (P.45)

ヒント

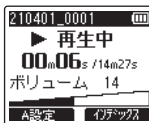
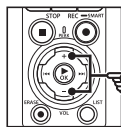
- ファイルは以下の場所に保存されています。
内蔵マイクで録音したファイル：
[レコーダー] フォルダ直下の各フォルダ (P.41)
パソコンから転送された音楽ファイル：
[ミュージック] フォルダ直下の各フォルダ (P.44)

- 2 ▶OK ボタンを押して再生を開始する

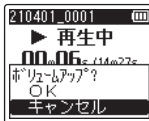


- a ファイル名
- b 再生経過時間、ファイルの長さ
- c 再生位置バー表示

- 再生音は内蔵スピーカから出力されます (P.23)。
- 3 + または - ボタンを押して聞きやすい音量にする



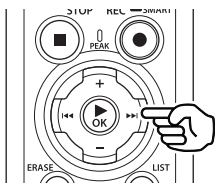
- [00] ~ [30] の範囲で調整できます。数字が大きくなると音量が上がります。
- イヤホン使用中にボリュームを規定以上にすると、警告画面が表示される場合があります。



4 STOP (■) ボタンを押して再生を停止する

- ファイルの終わりまで再生されると、自動で停止します。
- 再生が停止されているときに電源を切ってもレジューム機能が働き、停止位置を記憶します。次に電源を入れたときに記憶した停止位置から再生できます。

早送りをするには



停止中の早送り

停止中に ►►► ボタンを長押しします。

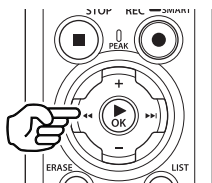
- ►►► ボタンから手を離すと停止します。
- ►OK ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中の早送り

再生中に ►►► ボタンを長押しします。

- ►►► ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークが付いているときは、その位置でいったん停止します (P.80)。
- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ►►► ボタンを長押しすると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。

早戻しをするには



停止中の早戻し

停止中に ◀◀◀ ボタンを長押しします。

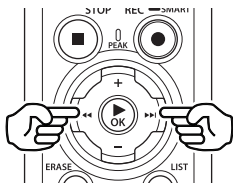
- ◀◀◀ ボタンから手を離すと停止します。
- ►OK ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中の早戻し

再生中に ◀◀◀ ボタンを長押しします。

- ◀◀◀ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークが付いているときは、その位置でいったん停止します (P.80)。
- ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに ◀◀◀ ボタンを長押しすると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。

ファイルの頭出しをするには



次のファイルの頭出し

停止中または再生中に **▶▶** ボタンを押します。

現在のファイルの頭出し

停止中または再生中に **◀◀** ボタンを押します。

1つ前のファイルの頭出し

ファイルの先頭位置で **◀◀** ボタンを押します。

- 再生中に1つ前のファイルにスキップするときは、2回連続して **◀◀** ボタンを押してください。

ご注意

- 再生中のファイルを頭出しする場合、途中にインデックスマークやテンプマークがあると、その位置から再生を開始します。停止中はマークを飛ばして頭出しを行います (※ P.80)。
- [スキップ間隔] が [ファイルスキップ] 以外に設定されている場合、再生中は設定時間分だけスキップまたは逆スキップして再生を開始します。頭出しにはなりません。

再生に関する設定

ファイルの再生方法は、目的やお好みに合わせてお選びください。

[声だけ再生] *1 (<small>☞</small> P.149)	録音した音声ファイルの音声部分だけを再生します。
[ノイズキャンセル] *1 (<small>☞</small> P.151)	プロジェクターなどの動作音により音声聞き取りにくいときに設定してください。
[ボイスバランサー] *1 (<small>☞</small> P.152)	録音した音声ファイルの音量が小さい部分を補正して再生します。
[再生モード] (<small>☞</small> P.154)	再生範囲を設定できます。ミュージックモードではリピート再生やランダム再生も設定できます。
[イコライザー] *2 (<small>☞</small> P.157)	お好みの音質で音楽を楽しめます。
[スキップ間隔] (<small>☞</small> P.159)	再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときに便利です。

*1 [レコーダー] モードのときのみ機能します。

*2 [ミュージック] モードのときのみ機能します。

イヤホンジャックにイヤホンを接続して再生音を聞くには

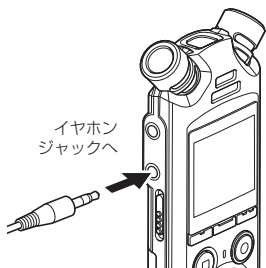
本機のイヤホンジャック (🔊) にイヤホンを接続して再生音を聞くことができます。

- イヤホンは別売です。
- イヤホン以外でも、スピーカなどイヤホンジャックに接続可能なオーディオ機器を使用できます。

ご確認

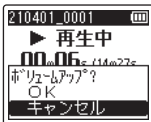
- イヤホンを接続すると、内蔵スピーカから音は出力されません。

1 本機のイヤホンジャック (🔊) にイヤホンを接続する



ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を [00] にしてからイヤホンを装着してください。
- 再生中イヤホンで聞く場合、音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。
- ボリュームを規定以上にすると、警告画面が表示される場合があります。



2 ▶OK ボタンを押して再生を開始する

3 +または-ボタンを押して音量を調整する

- 再生音を聞きながら、音量を調整することができます。

イヤホンを Bluetooth® 接続して再生音を聞くには

イヤホンと本機を Bluetooth® 接続して、再生音を聞くことができます。

- イヤホンは別売です。
- イヤホン以外でも、Bluetooth® 対応機器を接続できます。

3

再生について

1 本機とイヤホンを Bluetooth® 接続します。



- Bluetooth® 接続の方法については、「Bluetooth® 対応のオーディオ機器を接続する」(P.184)をご覧ください。

2 +または-ボタンを押して音量を調整する

ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を [00] にしてからイヤホンを装着してください。
- ハウリングを起こしますので、録音中はイヤホンをマイクに近づけないでください。

音楽ファイルについて

パソコンから転送した音楽ファイルは、[ミュージック] フォルダ内に保存してください。(P.44)。音楽ファイルが再生できないときは、サンプリングレートや、ビット数、ビットレートが再生できる範囲かをご確認ください。本機で再生できる音楽ファイルのサンプリングレートやビット数、ビットレートの組み合わせは以下のとおりです。

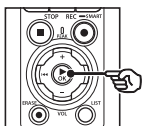
ファイル形式	サンプリングレート	ビット数およびビットレート
WAV 形式 / FLAC 形式	44.1 kHz、48.0 kHz、88.2 kHz、96.0 kHz	16 bit、24 bit
MP3 形式	MPEG1 Layer3 : 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz MPEG2 Layer3 : 16 kHz、22.05 kHz、24 kHz	8 kbps から 320 kbps まで

- 可変ビットレート（1つのファイル内でビットレートを可変させて変換）の MP3 ファイルの再生については、正常に動作しない場合があります。
- WAV ファイルはリニア PCM 形式のみ、本機で再生できます。その他の WAV ファイルは再生できません。
- 本機で再生可能なファイル形式であっても、すべてのエンコーダに対応しているわけではありません。

再生速度を変更する

会議の内容を早聞きしたり、語学学習で聞き取れなかった箇所を遅聞きするときに便利です。

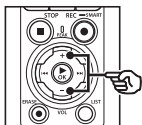
1 再生中に▶OK ボタンを押す



ヒント

- 再生速度を変更しても、通常の再生と同じように、再生の停止、ファイルの頭出し、インデックスマーク・テンプマークの挿入などの操作ができます。

2 +または-ボタンを押して再生速度を変更する



ご注意

- 電源を切っても、変更した再生スピードはそのまま保持されます。
- 再生速度を変更すると電池の消耗が早くなります。

- 0.1倍速刻みで0.5～3.5の範囲で調整できます。
- +ボタンを押すと再生スピードが速くなり、-ボタンを押すと遅くなります。
- 通常の再生スピードに戻すには、**[1.0倍速]**に設定してください。

3 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

再生スピード表示



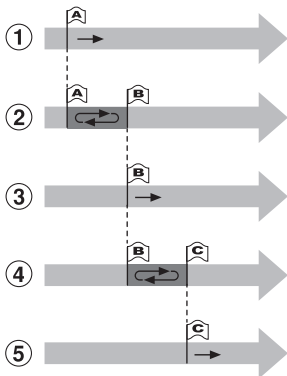
早聞き再生の制限事項について

再生ファイルのサンプリングレートやビットレートによっては、正常に動作しないことがあります。その場合は、再生速度を落ととして再生してください。

ABC リpeat再生をする

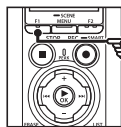
再生中のファイルの一部を繰り返し再生できます。従来のA-Bリピート機能に加えて、リピート再生中に反復区間を変更できます。

ABC リpeat再生について



- ① 再生中にリピート再生したい部分の起点 (A) を決定します。
- ② 終点 (B) を決定するとリピート再生が始まります。
- ③ リピート再生中に起点 (A) を解除すると、終点だった部分 (B) が起点に変わり、再生を続けます。
- ④ 終点 (C) を決定すると再びリピート再生が始まります。
- ⑤ これらの操作を繰り返し、ファイルの終わりまでリピート再生の区間を更新することができます。

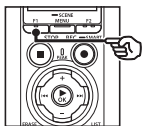
- 1 ABC リpeatしたいファイルを選び、再生を開始する
- 2 ABC リpeat再生の開始位置で、**F1 (A 設定)** ボタンを押す



ヒント

- **[A]** が点滅中も再生スピードの切り替え (P.76) や、早送り・早戻し (P.70) が行えます。
- **[A]** が点滅中にファイルの終わりまで到達すると、そこが終了位置になり、リピート再生を開始します。

- 3** ABC リpeat再生の終了位置で、もう一度 **F1 (B 設定)** ボタンを押す



- A-B 区間が確定し、ABC リpeat再生を開始します。

ABC リpeat再生を停止する場合：

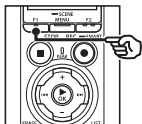
☞ 手順 6 へ

繰り返し位置を更新する場合：

☞ 手順 4 へ

繰り返し位置を更新する

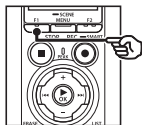
- 4** ABC リpeat再生中に **F1 (A 解除)** ボタンを押す



- A-B 区間が解除されます。[[B]] が開始位置になり再生を続けます。

- 再生スピードの切り替え (☞ P.76) や早送り・早戻し (☞ P.70) が行えます。

- 5** ABC リpeatの終了位置で **F1 (C 設定)** ボタンを押す

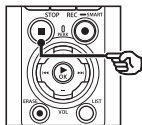


- B-C 区間が確定し、ABC リpeat再生を開始します。

ヒント

- 必要に応じて手順 4 と手順 5 を繰り返して、繰り返し区間を変更できます。

- 6** **STOP (■)** ボタンを押す



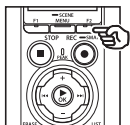
- 再生が停止します。ABC リpeat再生区間は解除されません。

ご注意

- ABC リpeat再生の開始位置よりも前に繰り返し位置を変更することはできません。
- ABC リpeat再生中はインデックスマークやテンプマークの挿入はできません (P.80)。

ABC リpeat再生を解除する

ABC リpeat再生は **F2 (ABC 解除)** ボタンを押して解除できます。



- ABC リpeat再生の停止中に押すと ABC リpeat再生区間を解除します。
- ABC リpeat再生中に押すと、ABC リpeat再生区間を解除し、再生を続けます。

ご注意

- 他のファイルに変更した場合や、ファイル表示画面から他の表示画面に切り替えた場合も ABC リpeat再生区間を解除します。

インデックスマーク・テンプマークについて

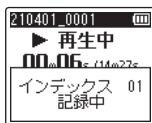
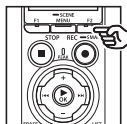
インデックスマークやテンプマークを付けると、早送り・早戻しやファイルの頭出し操作で、聞きたい位置をすばやく探せます。本機で作成したファイルにはインデックスマークが付けられます。インデックスマークが付けられないファイルと、当社製以外の機器で作成されたファイルには、テンプマークが付けられます。再生中のファイルに聞きたい位置の一時記憶ができます。

インデックスマーク・テンプマークを付ける

3

再生について

- 1 インデックスマーク・テンプマークを付けるファイルを選び、再生を開始する
- 2 インデックスマーク・テンプマークを付ける位置で、**F2 (インデックス)** ボタンを押す



ご注意

- テンプマークは一時的なマーキングです。他のファイルへ切り替えたり、ファイルをパソコンに転送したり、パソコンで移動すると自動的に消去されます。
- 本機で作成したファイルをパソコンで操作すると、インデックスマークが付けられなくなることがあります。
- インデックスマーク・テンプマークは1つのファイル内に最大で99件まで付けることができます。99件を超えてインデックスマーク・テンプマークを付けようとすると「これ以上記録できません」と表示されます。
- ファイルロックがかかっているファイルは、インデックスマーク・テンプマークを付けたり消去することができません (P.99)。
- FLAC形式のファイルには、インデックスマークは付けられません。

ヒント

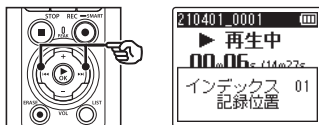
- 録音中もインデックスマークは付けられます。

インデックスマーク・テンプマークを消去する

特定のインデックスマーク・テンプマークを消去する

特定のインデックスマーク・テンプマークを選択して消去します。

- 1 消去したいインデックスマーク・テンプマークのあるファイルを選び、再生を開始する
- 2 **▶▶** または **◀◀** ボタンを押して消去したいインデックスマーク・テンプマークを選ぶ



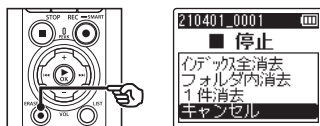
- 3 ディスプレイにインデックス・テンプ番号が表示されている間（約2秒間）に、**ERASE** ボタンを押す

- 消去したインデックスマーク・テンプマーク以降の番号は自動的に繰り上がります。

インデックスマークをまとめて消去する

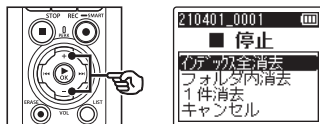
ファイルに設定したインデックスマークをまとめて消去します。

- 1 消去したいインデックスマークのあるファイルを選ぶ (P.45)
- 2 ファイル表示画面で停止中に **ERASE** ボタンを押す

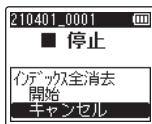
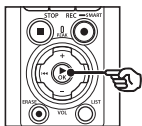


- **◀◀** ボタンを押す、または操作中に8秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

- 3 **+** または **-** ボタンを押して「インデックス全消去」を選ぶ

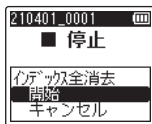
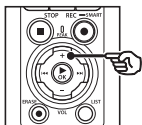


4 ▶OK ボタンを押す

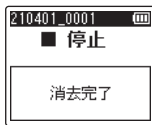
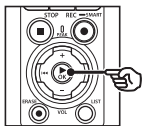


3

5 +ボタンを押して [開始] を選ぶ



6 ▶OK ボタンを押す



- ディスプレイが [消去中!] に変わり、消去を開始します。[消去完了] と表示されたら終了です。

カレンダー検索機能を使う

録音した日付でファイルを探す

録音した日付から音声ファイルを検索できます。どのフォルダに録音したのかを忘れてしまった場合でも、日付が分かればすぐに探し出せます。

- 検索できるファイルは [レコーダー] フォルダ内のファイルのみです。

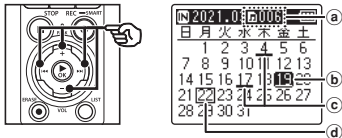
- 1 停止中に **F1** (ホーム) ボタンを押して [ホーム] 画面にする

- 2 **▶▶** または **◀◀** ボタンを押して [カレンダー検索] を選ぶ



- 3 **▶OK** ボタンを押す

- 4 **+**、**-** または **▶▶**、**◀◀** ボタンを押して日付を選ぶ



- a 選択した日に登録されているファイル数
- b 選択した日付
- c ファイルを録音した日付
- d 現在の日付

- ファイルが保存されている日付にはアンダーバーが表示されます。

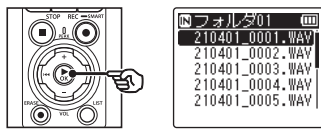
▶▶ / **◀◀** ボタン：
翌日 / 前日へ移動します。長押しすると次の録音ファイルがある日付にスキップします。

+ / - ボタン：
前週 / 翌週へ移動します。

F1 / F2 ボタン：
前月 / 翌月へ切り替わります。

- **STOP** (■) ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[ホーム] 画面に戻ります。

- 5 **▶OK** ボタンを押す



- 6 **+** または **-** ボタンを押してファイルを選ぶ

- 7 **▶OK** ボタンを押して再生を開始する

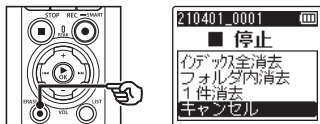
消去する

フォルダ内の消去したいファイルを消去できます。また、選んだフォルダやフォルダ内のファイルすべてを消去できます。

ファイルを消去する

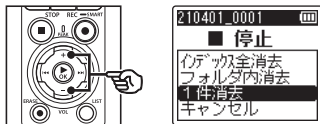
- 1 消去したいファイルを選ぶ
(参照 P.45)

- 2 ファイル表示画面で停止中に
ERASE ボタンを押す



- ◀◀ ボタンを押す、または操作中に8秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

- 3 + または - ボタンを押して
[フォルダ内消去] または
[1件消去] を選ぶ



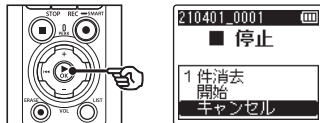
[フォルダ内消去] :

選択したファイルが保存されているフォルダ内のファイルをすべて消去します。

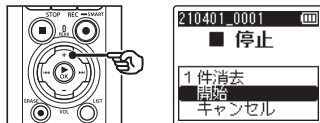
[1件消去] :

選択したファイルを消去します。

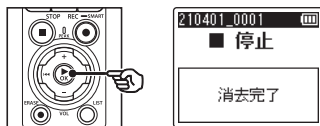
- 4 ▶ **OK** ボタンを押す



- 5 + ボタンを押して [開始] を選ぶ



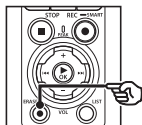
- 6 ▶ **OK** ボタンを押す



- ディスプレイが [消去中!] に変わり、消去を開始します。[消去完了] と表示されたら終了です。

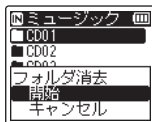
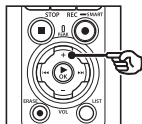
フォルダを消去する

- 1 消去したいフォルダを選ぶ
(P.45)
- 2 フォルダ表示画面で停止中に
ERASE ボタンを押す



- ◀ ボタンを押す、または操作中に 8 秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

- 3 + ボタンを押して [開始] を選ぶ



- 4 ▶ **OK** ボタンを押す
 - ディスプレイが [消去中!] に変わり、消去を開始します。[消去完了] と表示されたら終了です。

ご注意

- 一度消去したファイルは元に戻せません。消去の前に十分確認してください。
- 本機に microSD カードを入れた場合、操作する記録メディアが [内蔵メモリ] または [microSD カード] のどちらなのか間違えないよう必ず確認してください (P.168)。
- ファイルロックがかかっているファイルや読み取り専用で設定されているファイルは消去されません (P.99)。
- 本機のデフォルトフォルダの [レコーダー] および [ミュージック] は消去できません。[レコーダー] フォルダ内のフォルダをすべて消去した場合は、自動的に [フォルダ 01] が作成されます。
- [ミュージック] フォルダでは、[ミュージック] 以外のフォルダを消去できます。
- 本機で認識できないファイルがある場合、そのファイルおよびファイルのあるフォルダは消去されません。パソコンに接続して消去してください。

- 処理中に電池が切れることのないように充電するか、新しい電池に交換してください。また、処理が完了するまで数十秒かかる場合があります。処理中には次のような操作は絶対にしないでください。データが破損するおそれがあります。
- 処理中に **AC** アダプタを取り外す。
- 処理中に電池を取り外す。
- 記録メディアが [**microSD** カード] の場合、処理中にカードを取り外す。

メニューについて

メニュー設定のしかた

基本的な操作のしかた

メニュー内の各項目はタブによって分類されているので、タブを選んで項目を移動すれば、すばやく目的の項目が設定できます。メニューの各項目は次の方法で設定が可能です。

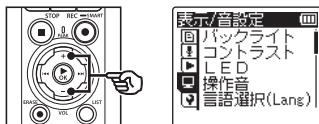
- 1 録音中、再生中または停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



ヒント

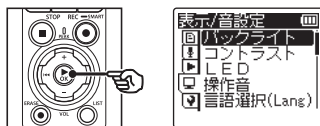
- 録音中または再生中に設定できるメニュー項目については、メニューの一覧をご覧ください (P.95)。

- 2 + または - ボタンを押して設定したい項目のあるタブを選ぶ



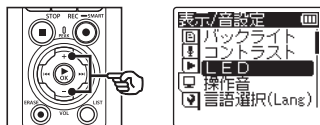
- 設定タブのカーソルを移動するとメニュー画面が切り替わります。

- 3 ▶ OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

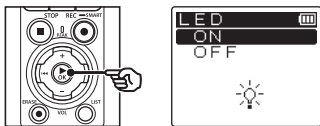


- ▶▶ ボタンを押しても操作できません。

- 4 + または - ボタンを押して設定項目を選ぶ

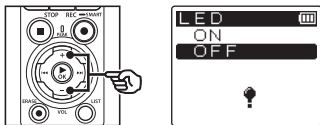


5 ▶OK ボタンを押す

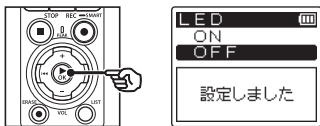


- 選んだ項目の設定に移動します。
- ▶▶ ボタンを押しても操作できません。

6 +または-ボタンを押して設定を変更する

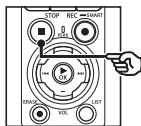


7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する



- 設定が確定されたことを画面でお知らせします。
- ▶OK ボタンを押さずに ◀◀ ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、1つ前の画面に戻ります。

8 STOP (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する




- 録音中または再生中にメニュー画面に入った場合、MENU/SCENE ボタンを押すと、録音または再生を中断することなく元の画面に戻ります。

ご注意

- 停止中からの設定では、3分間何も操作しないと停止状態に戻ります。この場合、設定途中の項目は変更されません。
- 録音または再生途中からの設定では、8秒間何も操作しないとメニュー機能はキャンセルされます。

メニューの一覧

選択肢欄の  表記は初期設定です。

■ ファイルに関するメニュー：

設定タブ	設定項目	選択肢／内容
ファイル設定 [File Menu]	声だけ抽出* [Voice Detect] ☞ P.96	音声ファイルの音声部分のみを抽出できます。
	ファイルロック [File Lock] ☞ P.99	ファイルの誤消去を防ぎます。 [ON] [OFF]
	並び替え [Sort by] ☞ P.101	フォルダ内のファイルを並び替えて再生順序を変更できます。 [名前順] [日付昇順] [日付降順]
	ファイル移動／コピー [Move/Copy] ☞ P.103	メモリ間でファイルのコピーと移動が行えます。
	ファイル分割 [File Divide] ☞ P.106	本機で録音したファイル (PCM、MP3) を分割できます。
	部分消去 [Partial Erase] ☞ P.108	本機で録音したファイル (PCM) の不要な部分を消去できます。
	トリミング [Trimming] ☞ P.110	本機で録音したファイル (PCM) の必要な部分だけを残して、他の部分を削除します。
	ノーマライズ [Normalize] ☞ P.112	本機で録音したファイル (PCM、MP3) の全体的な音量を上げます。
	フェードイン・アウト [Fade in/out] ☞ P.114	本機で録音したファイル (PCM) の最初をフェードイン、最後をフェードアウトします。
	ファイル名変更 [Rename File] ☞ P.115	ファイル名の先頭に文字列を追加できます。
	プロパティ [Property] ☞ P.116	選んだファイルまたはフォルダの情報を確認できます。 ファイルを選んだ場合： 名前／日時／サイズ／ビットレート／アーティスト／アルバムを表示します。 フォルダを選んだ場合： 名前／フォルダ数／ファイル数を表示します。

* [レコーダー] モードのときのみ機能します。

■ 録音に関するメニュー：

設定タブ	設定項目	選択肢／内容
録音設定 [Rec Menu]	録音レベル [Rec Level] ☞ P.118	[内蔵マイク]： [高] [中] [低] [マニュアル] [オート] [外部マイク]： [高] [中] [低] [マニュアル] [オート]
	リミッター [Limiter] ☞ P.121	[音楽] [音声] [OFF]
	録音モード [Rec Mode] ☞ P.123	[PCM]： [PCM 96.0kHz/24bit] [PCM 88.2kHz/24bit] [PCM 48.0kHz/24bit] [PCM 48.0kHz/16bit] [PCM 44.1kHz/24bit] [PCM 44.1kHz/16bit] [PCM 44.1kHz mono] [FLAC]： [FLAC 96.0kHz/24bit] [FLAC 88.2kHz/24bit] [FLAC 48.0kHz/24bit] [FLAC 48.0kHz/16bit] [FLAC 44.1kHz/24bit] [FLAC 44.1kHz/16bit] [FLAC 44.1kHz mono] [MP3]： [MP3 320kbps] [MP3 128kbps] [MP3 64kbps mono]
	ズームマイク [Zoom Mic] ☞ P.125	[00] ~ [20]
	ローカットフィルタ [Low Cut Filter] ☞ P.127	[ON] [OFF]
	ブライトサウンド [Bright Sound] ☞ P.128	[ON] [OFF]
	録音シーン [Rec Scene] ☞ P.57	[シーン選択]： [講義] [会議] [商談] [口述] [口述(騒音下)] [文字起こし] [音楽] [ユーザー 1] [ユーザー 2] [OFF] [シーン保存]： [ユーザー 1] [ユーザー 2]

設定タブ	設定項目	選択肢/内容
録音設定 [Rec Menu]	録音モニター [Rec Monitor] ☞ P.129	[ON] [OFF]
	外部入力 [External Input] ☞ P.63	[マイク] [ライン入力]
	タイマー録音 [Timer Rec] ☞ P.130	[ON/OFF] : [ON] [OFF] [時刻] [開始時刻] [終了時刻]
	録音待機 [Rec Standby] ☞ P.133	[ON] [OFF]
	Fn 録音 [Fn Rec] ☞ P.134	[プリレコーディング] [音声同期録音] [オーバーダビング] [VCVA] [OFF]
	音声同期時間 [V-Sync. Time] ☞ P.143	[1 秒] [2 秒] [3 秒] [5 秒]
	スレートトーン [Slate Tone] ☞ P.144	[ON] [OFF]
	テストトーン [Test Tone] ☞ P.147	[00] ~ [30]

■ 再生に関するメニュー：

設定タブ	設定項目	選択肢／内容
再生設定 [Play Menu]	声だけ再生 *1 [Voice Playback] ⓘ P.149	[ON] [OFF]
	ノイズキャンセル *1 [Noise Cancel] ⓘ P.151	[HIGH] [LOW] [OFF]
	ボイスバランサー *1 [Voice Balancer] ⓘ P.152	[ON] [OFF]
	再生モード [Play Mode] ⓘ P.154	[レコーダー]： [再生範囲] *1： [ファイル] [フォルダ] [ミュージック]： [再生範囲] *2： [ファイル] [フォルダ] [全ファイル] [リピート] *2： [ON] [OFF] [ランダム] *2： [ON] [OFF]
イコライザー *2 [Equalizer] ⓘ P.157	[ROCK] [POP] [JAZZ] [USER] [OFF]	
スキップ間隔 [Skip Space] ⓘ P.159	[スキップ]： [ファイル スキップ] [10 秒 スキップ] [30 秒 スキップ] [1 分 スキップ] [5 分 スキップ] [10 分 スキップ] [逆スキップ]： [ファイル スキップ] [1 秒 スキップ] ～ [3 秒 スキップ] [5 秒 スキップ] [10 秒 スキップ] [30 秒 スキップ] [1 分 スキップ] [5 分 スキップ]	

*1 [レコーダー] モードのときのみ機能します。

*2 [ミュージック] モードのときのみ機能します。

■ ディスプレイや音に関するメニュー：

設定タブ	設定項目	選択肢/内容
表示/音設定 [LCD/Sound Menu]	バックライト [Backlight] ☞ P.161	[5 秒] [10 秒] [30 秒] [1 分] [OFF]
	コントラスト [Contrast] ☞ P.162	[01] ~ [06] ~ [12]
	LED [LED] ☞ P.163	[ON] [OFF]
	操作音 [Beep] ☞ P.164	[ON] [OFF]
	言語選択 (Lang) [Language] ☞ P.165	[日本語] [English]
	イントロ再生 [Intro Play] ☞ P.166	[3 秒] [5 秒] [10 秒] [OFF]
	スピーカ出力 [Speaker] ☞ P.167	[ON] [OFF]

■ 本機に関するメニュー：

設定タブ	設定項目	選択肢／内容
本体設定 [Device Menu]	Bluetooth 設定 [Bluetooth] ☞ P.168、P.184	[ON/OFF]： [ON] [OFF] [オーディオ機器] [スマートフォンアプリ]
	メモリ選択 [Memory Select] ☞ P.168	[内蔵メモリ] [microSD カード]
	スリープ [Power Save] ☞ P.170	[5分] [10分] [30分] [1時間] [OFF]
	電池設定 [Battery] ☞ P.171	[ニッケル水素電池] [アルカリ電池]
	時計設定 [Time & Date] ☞ P.172	[日時]： [時] [分] [年] [月] [日] [日付表示]： [YMD] [MDY] [DMY]
	USB 設定 [USB Settings] ☞ P.174	[USB 接続]： [PC 接続] [AC アダプタ接続] [毎回確認] [USB クラス]： [ストレージ] [コンポジット]
	設定リセット [Reset Settings] ☞ P.176	メニュー設定（時計設定を除く）を初期設定に戻します。
	初期化 [Format] ☞ P.177	使用しているメディアを初期化します。
	メモリ情報 [Memory Info.] ☞ P.179	メモリの残量と容量を表示します。
	システム情報 [System Info.] ☞ P.180	モデル名／ファームウェアのバージョン／ シリアル番号を表示します。
	認証マーク表示 [Certification] ☞ P.181	認証マークを表示します。

■ 録音動作中に設定できる
メニュー項目：

録音レベル
ズームマイク
ローカットフィルタ
ブライツサウンド
録音モニター
外部入力
バックライト
LED

■ 再生動作中に設定できる
メニュー項目：

プロバティ
ノイズキャンセル *1
ボイスバランスー *1
再生モード
イコライザー *2
スキップ間隔
バックライト
LED

*1 [レコーダー] モードのときのみ機能します。

*2 [ミュージック] モードのときのみ機能します。

ファイルメニュー [ファイル設定]

ファイルの音声部分を抽出する [声だけ抽出]

本機で録音した音声ファイルまたは録音中のファイルの音声部分を抽出します。抽出処理されたファイルを再生すると、非音声部分は自動的にスキップされます (P.149)。

- [レコーダー] モードのときのみ機能します。

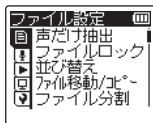
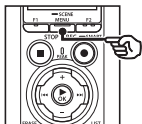
ご確認

- 保存されているファイルから音声抽出する場合は、あらかじめ [レコーダー] フォルダ内にあるいずれかのフォルダを選んでください。

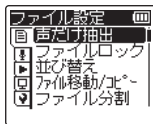
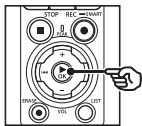
4

メニューのつら

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

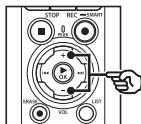


- 2 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する



- 3 ▶ **OK** ボタンを押す

- 4 +または-ボタンを押して [ファイル選択] または [録音と同時に抽出] を選ぶ



[ファイル選択] :

音声部分を抽出するファイルを選びます。

[録音と同時に抽出] :

録音しながら同時に音声部分を抽出します。

- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[ファイル設定] 画面に戻ります。

5 ▶OK ボタンを押してそれぞれの設定に移る

[ファイル選択] を選んだ場合：

- ① +または-ボタンを押して音声を出出したいファイルを選ぶ。



- ② ▶OK ボタンを押す。
- ディスプレイに進行状況をパーセンテージで表示します。
 - [声だけ抽出処理が完了しました] と表示されたら終了です。
- ③ **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する
- 声だけ抽出したファイルは、ファイルリスト表示画面でアイコン表示されます。



ヒント

- 音声部分の抽出が終了すると、[再生設定] メニューにある [声だけ再生] の設定が [ON] に切り替わります。[声だけ再生] を [OFF] にすると、抽出済みファイルでも抽出前の音声を再生します (P.149)。

[録音と同時に抽出] を選んだ場合：

- ① +または-ボタンを押して [ON] を選ぶ。



- [録音と同時に抽出] を [ON] に設定して録音したファイルはすべて、音声部分のみを抽出した状態で保存されます。
- ② ▶OK ボタンを押す。
- [設定しました] と表示されたら終了です。
 - 停止中に **STOP** (■) ボタンを押して+または-ボタンで表示を切り替えると、声だけ抽出のアイコンで設定が確認できます。



ヒント

- 非音声部分を含む通常の録音に戻す場合は、[録音と同時に抽出] を [OFF] にしてください。
- [録音と同時に抽出] を [ON] にして録音した音声を聞くととき、[再生設定] メニューにある [声だけ再生] を [ON] にすると、抽出済みの音声を再生します。[声だけ再生] を [OFF] にすると、非音声部分を含む音声を再生します (P.149)。

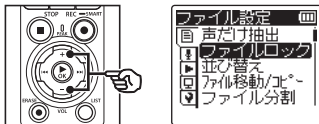
ご注意

- ファイルが保存されていないフォルダを選んである場合、[**ファイルがありません**] と表示されます。ファイルが保存されているフォルダを選んでから操作してください。
- 楽器の演奏などを録音したファイルでは、音声部分を正しく抽出できないことがあります。
- 録音時における音声が小さい場合（レベルメーターが **-12 dB** 以下）や、周囲のノイズによっては、音声部分を正しく抽出できないことがあります。
- 録音した音声ファイルの容量が大きいほど、抽出処理に時間がかかります。処理中に電池が切れることのないように、あらかじめ充電するか、または新しい電池に交換することをおすすめします。
- [録音と同時に抽出] 機能を使用すると電池の消耗が早くなります。
- [録音と同時に抽出] 機能は、[録音モード] の設定が [MP3] のときのみ使用できます (P.123)。
- [録音と同時に抽出] 機能を使うときは以下の機能が使用できません。
 - [録音シーン] (P.57)
 - [Fn 録音] (P.134)

ファイルの誤消去を防止する [ファイルロック]

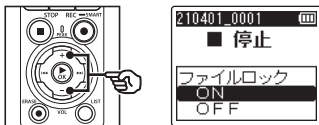
ファイルにファイルロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。フォルダ内のファイル全消去を行っても消去されません (※ P.84)。

- 1 ファイルロックをかけたいファイルを選ぶ (※ P.45)
- 2 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [ファイルロック] を選ぶ



- 5 ▶ **OK** ボタンを押す

- 6 +または-ボタンを押して [ON] または [OFF] を選ぶ

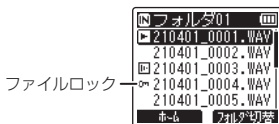


- [ON] :
ファイルロックがかかります。
- [OFF] :
ファイルロックが解除されます。

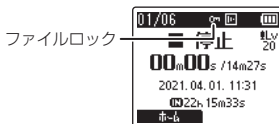
- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[ファイル設定] 画面に戻ります。
- 7 ▶ **OK** ボタンを押して設定を完了する

8 STOP (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

- ファイルロックがかかっているファイルは、ファイルリスト表示画面でアイコン表示されます。



- [レコーダー] モードのファイル表示画面で▶▶または◀◀ボタンを押してファイルを選択するとき、ファイルロックがかかっているファイルは選択されるたびにファイルロックのアイコンが2秒間表示されます。



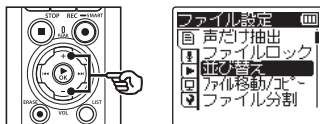
ファイルを並べ替える [並び替え]

フォルダ内にあるファイルの再生順を変更できます。並び替え方法は [名前順]、[日付昇順]、[日付降順] の3通りから選べます。

1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

2 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

3 + または - ボタンを押して [並び替え] を選ぶ



4 ▶ **OK** ボタンを押す

5 + または - ボタンを押して [名前順]、[日付昇順] または [日付降順] を選ぶ



[名前順] :

ファイルを自動的に名前順で並べ替えます。

[日付昇順] :

ファイルを自動的に更新日時 (録音日) の昇順で並べ替えます。

[日付降順] :

ファイルを自動的に更新日時 (録音日) の降順で並べ替えます。

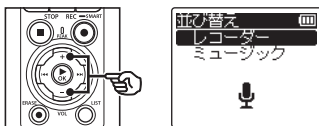
• ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[ファイル設定] 画面に戻ります。

ご注意

- [名前順] を選んだ場合、ファイル名の先頭から 20 文字までの文字コードで比較して順番を決定します。

6 ▶ **OK** ボタンを押す

- 7** +または-ボタンを押して
[レコーダー] または
[ミュージック] を選ぶ



- [レコーダー] :
[レコーダー] フォルダ内の全ファイルを並べ替えます。
- [ミュージック] :
[ミュージック] フォルダ内の全ファイルを並べ替えます。

- 8** ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- ▶OK ボタンを押さずに◀◀ ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、1つ前の画面に戻ります。
- ▶[順番を変更しました] と表示されたら終了です。

- 9** STOP (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ファイルを移動／コピーする [ファイル移動／コピー]

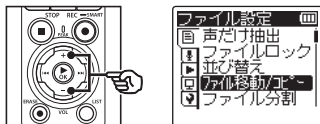
内蔵メモリまたは microSD カードに保存されているファイルを、メモリ内で移動したりコピーすることができます。また、メモリ間のファイル移動やコピーも可能です。

1 あらかじめ移動またはコピーしたいファイルが収録されているフォルダを選ぶ (P.45)

2 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

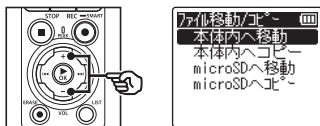
3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

4 + または - ボタンを押して [ファイル移動／コピー] を選ぶ



5 ▶ **OK** ボタンを押す

6 + または - ボタンを押してファイルの移動またはコピー方法を選ぶ



[本体内へ移動] :

内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを内蔵メモリ内の別のフォルダへ移動する。

[本体内へコピー] :

内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを内蔵メモリ内の別のフォルダへコピーする。

[microSD へ移動] :

内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを microSD カード内の別のフォルダへ移動する。

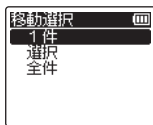
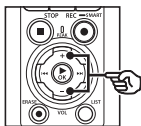
[microSD へコピー] :

内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを microSD カード内の別のフォルダへコピーする。

• ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[ファイル設定] 画面に戻ります。

7 ▶ **OK** ボタンを押す

- 8** +または-ボタンを押して
ファイルの移動または
コピー件数を選ぶ

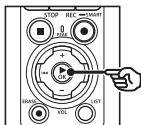


[1件] :
指定した1件を選びます。

[選択] :
複数のファイルを選びます。

[全件] :
フォルダ内のファイルをすべて選び
ます。

- 9** ▶OKボタンを押してそれぞ
れの設定に移る



[1件] を選んだ場合 :

- ① +または-ボタンを押して移動ま
たはコピーしたいファイルを選
び、▶OKボタンを押す。



[選択] を選んだ場合 :

- ① +または-ボタンを押して移動ま
たはコピーしたいファイルを選
び、▶OKボタンを押す。



ヒント

- 選んだファイルを解除する場合
は、解除したいファイルを選ん
でもう一度▶OKボタンを押し
ます。

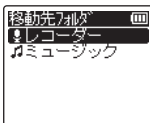
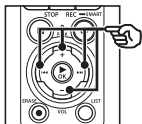
- ② 手順①を繰り返して、移動また
はコピーしたいファイルを選んだ
ら、F2ボタンを押す。



[全件] を選んだ場合 :

自動的に現在のフォルダ内のすべて
のファイルが選択され、[移動先フォル
ダ] 画面に移ります。

- 10** +、-または▶▶、◀◀ ボタンを押してファイルの移動先またはコピー先のフォルダを選ぶ



ヒント

- [レコーダー] の場合、[レコーダー] フォルダ直下にはファイルの移動またはコピーはできません。▶▶または◀◀ ボタンを押して [レコーダー] フォルダ内にあるいずれかのフォルダを選んでください。

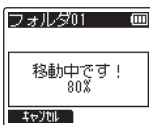
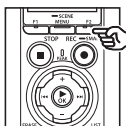
ヒント

- ファイルロック (P.99) がかかっているファイルは、移動またはコピー後もその状態を保ちます。

ご注意

- メモリ残量が足りない場合はコピーできません。
- ファイル件数が 200 件を超える場合は移動またはコピーできません。
- ファイルの移動またはコピー中に電池を抜かないでください。データが破損するおそれがあります。
- 同フォルダ内のファイル移動またはコピーはできません。
- 移動またはコピー中に操作をキャンセルすると、現在移動またはコピーを完了したファイルまでは有効となり、それ以外のファイルはキャンセルされます。

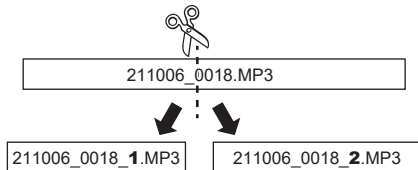
- 11** F2 ボタンを押す



- 進行状況をパーセンテージで表示します。
- [移動しました] または [コピーしました] と表示されたら終了です。

ファイルを分割する [ファイル分割]

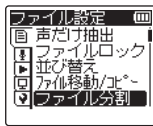
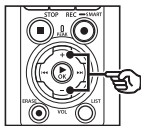
容量の大きなファイルや録音時間の長いファイルを分割して管理・編集しやすくなることができます。



ご確認

- ファイル分割できるファイルは本機で録音した PCM 形式、MP3 形式のみです。

- 1 あらかじめ分割したいファイルを選ぶ (P.45)
- 2 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 + または - ボタンを押して [ファイル分割] を選ぶ



- 5 ▶ **OK** ボタンを押す

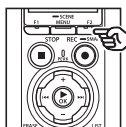
- 6 ▶ **OK** ボタンを押して分割したい位置まで再生する (P.68)

- 再生スピードの切り替え (P.76) や早送り、早戻し (P.70) が行えます。

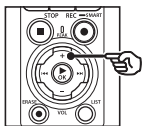
ヒント

- 分割位置はあらかじめインデックスマークなどでマーキングしておくくと便利です (P.80)。

- 7 ファイルを分割したい位置で **F2** ボタンを押す

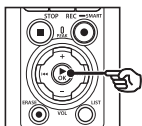


8 + ボタンを押して [開始] を選ぶ



- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、ファイル表示画面に戻ります。

9 ▶ OK ボタンを押す



- ディスプレイが [分割中!] に変わり、ファイル分割を開始します。 [分割しました] と表示されたら終了です。

10 STOP (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ヒント

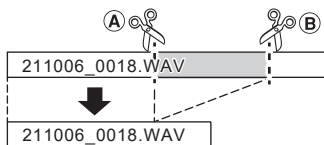
- 分割後のファイル名は、前半部分のファイルが「ファイル名_1」、後半部分のファイルが「ファイル名_2」となります。
- フォルダ内のファイル件数が 200 件の場合、新しいフォルダが自動的に作成されて分割ファイルの保存先になります。

ご注意

- ファイル表示画面以外からは [ファイル分割] はできません。
- ファイルロック (※ P.99) がかかっているファイルは分割できません。
- MP3 や PCM ファイルでも収録時間の極端に短いファイルは分割できない場合があります。
- ファイルの分割中に電池を抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

ファイルの一部を消去する [部分消去]

ファイルの不要な部分を消去できます。



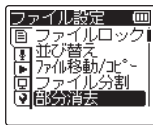
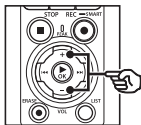
4

メニューについて

ご確認

- 部分消去できるファイルは本機で録音したPCM形式のみです。

- あらかじめ部分消去したいファイルを選ぶ (P.45)
- 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- ▶OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- +または-ボタンを押して [部分消去] を選ぶ

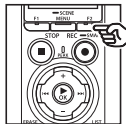


- ▶OK** ボタンを押す

- ▶OK** ボタンを押して部分消去したい位置 (図 A) まで再生する (P.68)

- 再生スピードの切り替え (P.76) や早送り、早戻し (P.70) が行えます。

- 部分消去の開始位置 (図 A) で **F2** ボタンを押す

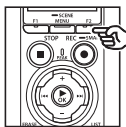


ヒント

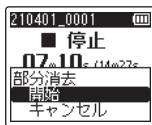
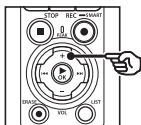
- 開始位置決定後も再生は続き、通常の再生中と同じように再生スピードおよび早送り・早戻しが行えて終了位置まで早く進めることができます。
- 終了位置がファイルの終わりまで到達した場合、自動的にその場所が消去終了位置になります。

- 開始位置および終了位置はあらかじめインデックスマークなどでマーキングしておくとう便利です (P.80)。

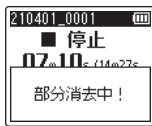
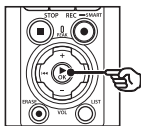
8 部分消去を終了したい位置 (図 B) でもう一度 **F2** ボタンを押す



9 + ボタンを押して [開始] を選ぶ



10 ▶ **OK** ボタンを押す



- ディスプレイが [部分消去中!] に変わり、部分消去を開始します。 [部分消去しました] と表示されたら終了です。

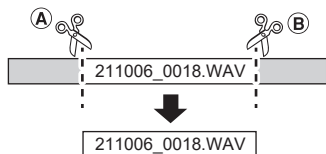
11 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 一度消去したファイルは元に戻せません。消去の前に十分確認してください。
- ファイルロックがかかっているファイルや読み取り専用設定されているファイルは消去されません (P.99)。
- 処理中に電池が切れることのないように充電するか、新しい電池に交換してください。また、処理が完了するまで数十秒かかる場合があります。処理中には次のような操作は絶対にしないでください。データが破損するおそれがあります。
 - 処理中に AC アダプタを取り外す。
 - 処理中に電池を取り外す。
 - 記録メディアが [microSD カード] の場合、処理中にカードを取り外す。

ファイルの必要な部分だけを残す [トリミング]

ファイルの必要な部分だけを切り残して保存し直します。



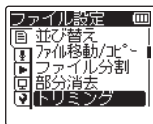
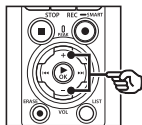
4

メニューについて

ご確認

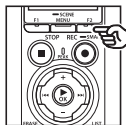
- トリミングできるファイルは本機で録音した PCM 形式のみです。

- 1 あらかじめトリミングしたいファイルを選ぶ (P.45)
- 2 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 + または - ボタンを押して [トリミング] を選ぶ



- 5 ▶ **OK** ボタンを押す

- 6 ▶ **OK** ボタンを押して切り残したい部分の開始位置 (図 A) まで再生する (P.68)
 - 再生スピードの切り替え (P.76) や早送り、早戻し (P.70) が行えます。
- 7 切り残したい部分の開始位置 (図 A) で **F2** ボタンを押す

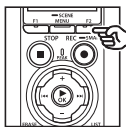


ヒント

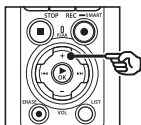
- 開始位置決定後も再生は続き、通常の再生中と同じように再生スピードおよび早送り・早戻しが行えて終了位置まで早く進めることができます。
- 終了位置がファイルの終わりまで到達した場合、自動的にその場所がトリミング終了位置になります。

- 開始位置および終了位置はあらかじめインデックスマークなどでマーキングしておくとう便利です (P.80)。

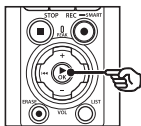
- 8** 切り残したい部分の終了位置 (図 B) でもう一度 **F2** ボタンを押す



- 9** + ボタンを押して [開始] を選ぶ



- 10** ▶ **OK** ボタンを押す



- ディスプレイが [トリミング中!] に変わり、指定した位置より前の部分と指定した位置より後ろの部分を削除します。 [トリミングしました] と表示されたら終了です。

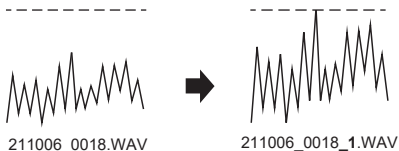
- 11** **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 一度消去したファイルは元に戻せません。消去の前に十分確認してください。
- ファイルロックがかかっているファイルや読み取り専用で設定されているファイルはトリミングできません (P.99)。
- 処理中に電池が切れることのないように充電するか、新しい電池に交換してください。また、処理が完了するまで数十秒かかる場合があります。処理中には次のような操作は絶対にしないでください。データが破損するおそれがあります。
 - 処理中に AC アダプタを取り外す。
 - 処理中に電池を取り外す。
 - 記録メディアが [microSD カード] の場合、処理中にカードを取り外す。

ファイルの音量レベルを全体的に上げる [ノーマライズ]

録音したファイルの一番大きな音量が音割れしない（歪まない）限界値まで全体的に音量を大きくして新しいファイルとして保存します。



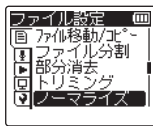
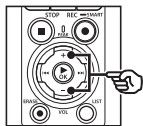
4

メニューのつらじ

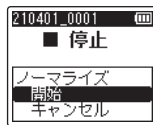
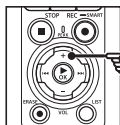
ご確認

- 音量レベルを上げられるファイルは本機で録音した PCM 形式、MP3 形式のみです。

- 1 あらかじめ音量を上げたいファイルを選ぶ (P.45)
- 2 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 + または - ボタンを押して [ノーマライズ] を選ぶ

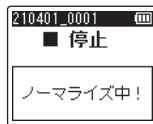
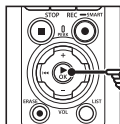


- 6 + ボタンを押して [開始] を選ぶ



- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[ファイル設定] 画面に戻ります。

- 7 ▶ **OK** ボタンを押す



- ディスプレイが [ノーマライズ中!] に変わり、ノーマライズを開始します。[ノーマライズしました] と表示されたら終了です。

- 5 ▶ **OK** ボタンを押す

8 STOP (■) ボタンを押して メニュー画面を終了する

ヒント

- ノーマライズ後のファイル名は、「ファイル名_1」となります。
- フォルダ内のファイル件数が 200 件の場合、新しいフォルダが自動的に作成されて新規ファイルの保存先になります。

ご注意

- 以下のようなファイルでは、ノーマライズの効果が得られない場合があります。
- 元々大きな音量で録音されているファイル。
- 突発的に大きな音が録音されているファイル。
- 音量のばらつきが大きなファイル。

ファイルの最初と最後をフェードイン・フェードアウトする [フェードイン・アウト]

ファイルの最初と最後をそれぞれ 1 秒間、フェードイン・フェードアウトし、新しいファイルとして保存します。

ご確認

- フェードイン・アウトができるファイルは、本機で録音した PCM 形式のみです。

4

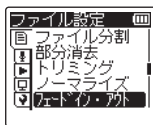
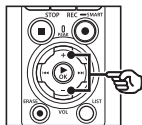
メニューについて

- あらかじめフェードイン・アウトしたいファイルを選ぶ (P.45)

- 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

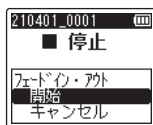
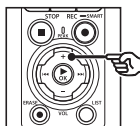
- ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- + または - ボタンを押して [フェードイン・アウト] を選ぶ

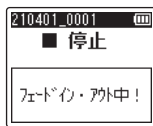
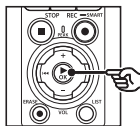


- ▶ **OK** ボタンを押す

- + ボタンを押して [開始] を選ぶ



- ▶ **OK** ボタンを押す



- ディスプレイが [フェードイン・アウト中!] に変わり、フェードイン、フェードアウトが行われます。 [フェードイン・アウトしました] と表示されたら終了です。

- STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ヒント

- フェードイン・アウト後のファイル名は、「ファイル名_1」となります。
- フォルダ内のファイル件数が 200 件の場合、新しいフォルダが自動的に作成されて新規ファイルの保存先になります。

ファイル名の先頭に文字列を追加する [ファイル名変更]

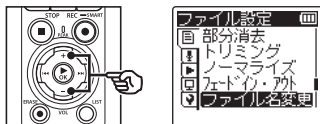
音声ファイルのファイル名の先頭に文字列を追加できます。

- 1** あらかじめファイル名を変更したいファイルを選ぶ
(参照 P.45)

- 2** 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

- 3** ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4** +または-ボタンを押して [ファイル名変更] を選ぶ



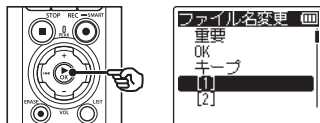
- 5** ▶OK ボタンを押す

- 6** +または-ボタンを押して追加するファイルの先頭の文字列を選ぶ

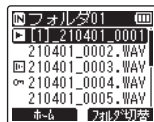
ファイル名の先頭に使用できる文字列

重要	[2]	[A]	[E]
OK	[3]	[B]	
キーブ	[4]	[C]	
[1]	[5]	[D]	

- 7** ▶OK ボタンを押す



- 選んだ文字列がファイル名の先頭に追加されます。



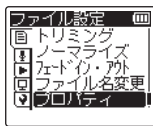
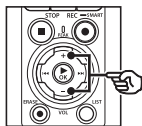
ご注意

- [ファイル名変更] は [レコーダー] モードのときのみ機能します。
- ファイルロック (参照 P.99) がかかっているファイルは、ファイル名を変更できません。

ファイルやフォルダの情報を見る [プロパティ]

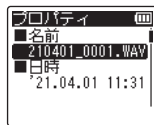
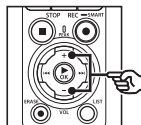
メニュー画面からファイルやフォルダの情報を確認できます。

- 1 情報を表示したいファイルまたはフォルダを選ぶ (P.45)
- 2 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 + または - ボタンを押して [プロパティ] を選ぶ



ファイルの情報

- 6 + または - ボタンを押して画面を切り替える



- 5 ▶ **OK** ボタンを押す
 ファイルを選んだ場合：
 手順 6 へ
 フォルダを選んだ場合：
 手順 8 へ

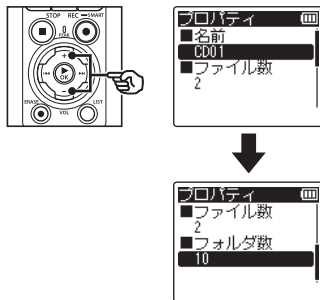
ヒント

- 名前 / 日時 / サイズ / ビットレート *1 / アーティスト *2 / アルバム *2 が表示されます。
 *1 リニア PCM 形式または FLAC 形式のファイルを選んだ場合、[ビットレート] 部にサンプリングレートやビット数が表示されます。
 *2 タグ情報がファイルにない場合、[UNKNOWN_ARTIST]、[UNKNOWN_ALBUM] と表示されます。

- 7 情報を確認したら ▶**OK** ボタンを押して、手順 10 に進む

フォルダの情報

- 8 + または - ボタンを押して画面を切り替える



ヒント

- [名前] [ファイル数] [フォルダ数] が表示されます。
- 本機で認識できない形式のファイルについては、ファイル数に含まれません。

- 9 情報を確認したら ▶**OK** ボタンを押して、手順 10 に進む

- 10 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

録音メニュー [録音設定]

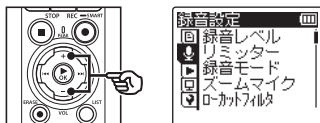
録音感度を選択する [録音レベル]

目的に合わせて録音レベルの感度を切り替えられます。本機の内蔵マイクと外部マイクで別々に録音レベルを設定できます。

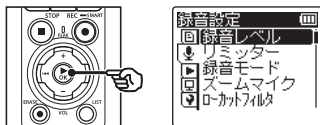
- 1 停止中または録音中に
MENU/SCENE ボタンを
押す



- 2 +または-ボタンを押して
[録音設定] タブを選ぶ

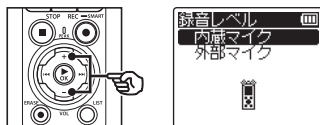


- 3 ▶OK ボタンを押してカーソル
を設定項目へ移動する



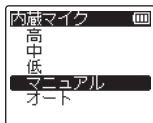
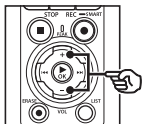
- 4 ▶OK ボタンを押す

- 5 +または-ボタンを押して
[内蔵マイク] または [外部
マイク] を選ぶ



- 6 ▶OK ボタンを押す

- 7 + または - ボタンを押して [高]、[中]、[低]、[マニュアル] または [オート] を選ぶ



[高] :
打ち合わせや少人数の会議などの録音に適しています。

[中] :
演奏や口述の録音に適しています。

[低] :
大音量の演奏を録音するのに適しています。

[マニュアル] :
録音レベルを 40 段階に調整できます。

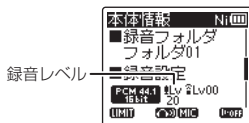
[オート] :
入力された音量に追従して、録音レベルが自動的に変化します。音声全般を録音するときに適しています。

- ◀▶ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[録音設定] 画面に戻ります。

- 8 ▶ **OK** ボタンを押して設定を完了する

- 9 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 停止中に **STOP** (■) ボタンを押して + または - ボタンで表示を切り替えると、録音レベルのアイコンで設定が確認できます。



ヒント

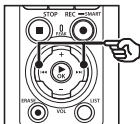
- 話し手の声をはっきりと録音したい場合、[録音レベル] を [中] に設定し、本機の内蔵マイクを話し手の口に近づけて (5~10cm) 録音してください。

ご注意

- [録音レベル] が [マニュアル] 以外に設定されている場合、録音レベルは自動的に調整されますが、あまりにも大きな音を入力すると、ノイズが発生することがあります。
- [録音レベル] を設定すると、[録音シーン] は [OFF] に設定されます。

録音レベルを調整する

録音中または録音一時停止中に **▶▶** または **◀◀** ボタンを押して録音レベルを調整します。



- 数字が大きくなるとレベルが上がり、レベルメーターの指標位置が大きくなります。

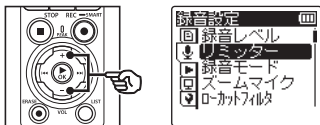
ご注意

- **[OV]** が表示されると音が歪んだ状態で録音されます。**[OV]** が表示されないよう録音レベルを調整してください。
- **[録音シーン]** が設定されているときは、録音中に **[録音レベル]** を設定できません。

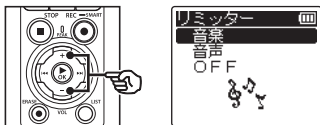
過大入力時の音割れを抑える [リミッター]

録音時の過大入力による音割れを自動的に抑制します。適切な入力レベルを維持しながら録音できます。

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ
- 3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [リミッター] を選ぶ



- 5 ▶ **OK** ボタンを押す
- 6 +または-ボタンを押して [音楽]、[音声] または [OFF] を選ぶ



[音楽] :
音量の大小を明確にします。音楽録音に適した設定です。

[音声] :
音量の大小を平坦にします。一定の音量で統一感のある録音ができます。音声録音に適した設定です。

[OFF] :
補正機能を使わずに、入力レベルを調整する場合に選びます。

• ◀▶ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[録音設定] 画面に戻ります。

- 7 ▶ **OK** ボタンを押して設定を完了する
- 8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

• 停止中に **STOP** (■) ボタンを押して +または-ボタンで表示を切り替えると、リミッターのアイコンで設定が確認できます。



リミッター

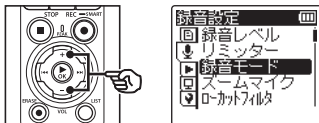
ご注意

- [リミッター] は [録音レベル] の設定が [マニュアル] のときのみ機能します (P.118)。
- [リミッター] の設定を [音楽] または [音声] に設定していても、あまりにも大きな音を入力するとノイズが発生することがあります。また、このときには過入力をお知らせする **PEAK** 表示ランプが点灯しない場合があります。失敗のない録音のために試し録りをしてください。

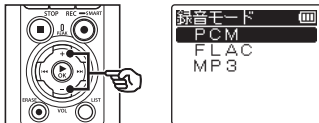
録音モードを設定する [録音モード]

音質や録音時間を重視した録音ができます。目的に合わせて録音モードをお選びください。

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ
- 3 ▶**OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [録音モード] を選ぶ



- 5 ▶**OK** ボタンを押す
- 6 +または-ボタンを押して [PCM]、[FLAC] または [MP3] を選ぶ



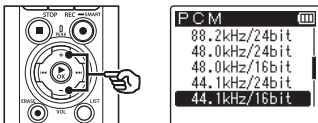
[PCM]
音楽 CD などに採用されている非圧縮音声形式です。

[FLAC]
PCM 形式の音源を可逆圧縮し、PCM 形式よりもファイルサイズを小さくした形式です。

[MP3]
一般的な音声の非可逆圧縮方式です。ファイルサイズは、最も小さくなります。

• ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[録音設定] 画面に戻ります。

- 7 ▶**OK** ボタンを押す
- 8 +または-ボタンを押して録音レートを選ぶ



[96.0kHz/24bit]	[PCM] [FLAC]
[88.2kHz/24bit]	[PCM] [FLAC]
[48.0kHz/24bit]	[PCM] [FLAC]
[48.0kHz/16bit]	[PCM] [FLAC]
[44.1kHz/24bit]	[PCM] [FLAC]
[44.1kHz/16bit]	[PCM] [FLAC]
[44.1kHz mono] *1	[PCM] [FLAC]
[320kbps]	[MP3]
[128kbps]	[MP3]
[64kbps mono] *1	[MP3]

*1 モノラル録音になります。

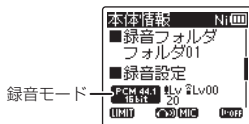
ヒント

- 録音レートは数値が高いほどより高音質な規格になります。
- 高い録音レートに設定した場合、ファイル容量が大きくなります。録音操作の前に、メモリ残量が十分にあるかご確認ください。
- 会議や講演会などをはっきりと録音したい場合、[録音モード]の設定を[mono]以外にして録音することをおすすめします。

- 9** ▶ **OK** ボタンを押して設定を完了する

10 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 停止中に **STOP** (■) ボタンを押して + または - ボタンで表示を切り替えると、録音モードのアイコンで設定が確認できます。



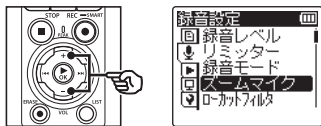
ご注意

- [録音モード] の設定をステレオ方式にしてモノラルマイクを接続した場合、Lチャンネルのみに音声は録音されます。
- [録音モード] を設定すると、[録音シーン] と [Fn 録音] の [オーバーダビング] は [OFF] に設定されます。
- [PCM] または [FLAC] に設定すると、[声だけ抽出] の [録音と同時に抽出] と [Fn 録音] の [プリコーディング] は [OFF] に設定されます。
- [FLAC] に設定した場合、録音可能な残り時間の秒は表示されません。

マイクの指向性を選択する [ズームマイク]

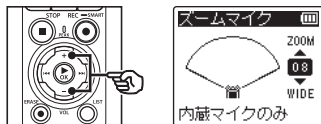
広がりのあるステレオ録音から指向性の高い録音まで、内蔵マイクで調整できます。

- 1 停止中または録音中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 + または - ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ
- 3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 + または - ボタンを押して [ズームマイク] を選ぶ

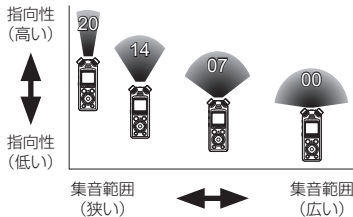


- 5 ▶ **OK** ボタンを押す

- 6 + または - ボタンを押して内蔵ステレオマイクの指向性を調整する



- [00] ~ [20] の範囲で調整できます。
- + 側になると指向性が高まります。
- - 側になると広がりのあるステレオ感で録音できます。
- 指向性を抑え、集音範囲を広げるとステレオ感のある録音ができます。



- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[録音設定] 画面に戻ります。

7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

8 STOP (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 停止中に **STOP** (■) ボタンを押して + または - ボタンで表示を切り替えると、ズームマイクのアイコンで設定が確認できます。



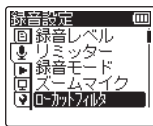
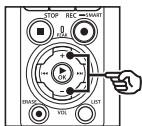
ご注意

- [ズームマイク] を設定すると、[録音シーン] は [OFF] に設定されます。また [録音シーン] が設定されているときは、録音中に [ズームマイク] を設定できません。

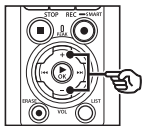
ノイズを軽減して録音する [ローカットフィルタ]

エアコンの空調音やプロジェクターなどの低周波音を軽減して録音できます。

- 1 停止中または録音中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ
- 3 ▶**OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [ローカットフィルタ] を選ぶ



- 5 ▶**OK** ボタンを押す
- 6 +または-ボタンを押して [ON] または [OFF] を選ぶ



[ON] :
ローカットフィルタが機能します。
[OFF] :
機能しません。

- ◀▶ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[録音設定] 画面に戻ります。
- 7 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する
 - 8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する
- 停止中に **STOP** (■) ボタンを押して +または-ボタンで表示を切り替えると、ローカットフィルタのアイコンで設定が確認できます。



ご注意

- [ローカットフィルタ] を設定すると、[録音シーン] は [OFF] に設定されます。[録音シーン] が設定されているときは、録音中に [ローカットフィルタ] を設定できません。

クリアな音で録音する [ブライトサウンド]

透明感のあるクリアな音で録音できます。

ご確認

- [ブライトサウンド] は内蔵マイク使用時のみ機能します。

4

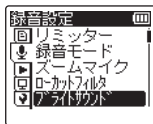
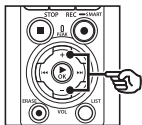
メニューについて

- 1 停止中または録音中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

- 2 +または-ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ

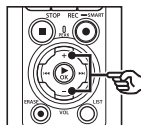
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4 +または-ボタンを押して [ブライトサウンド] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す

- 6 +または-ボタンを押して [ON] または [OFF] を選ぶ



[ON] :
透明感のあるクリアな音で録音します。

[OFF] :
原音に忠実な音で録音します。

- 7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 停止中に **STOP** (■) ボタンを押して +または-ボタンで表示を切り替えると、ブライトサウンドのアイコンで設定が確認できます。

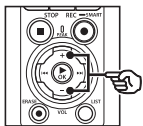


ブライトサウンド

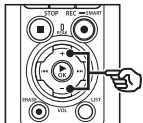
音声を出力しないで録音する [録音モニター]

外部スピーカなど本機に接続されている機器から録音中の音声を出力しない設定に変更できます。

- 1 停止中または録音中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [録音モニター] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す
- 6 +または-ボタンを押して [ON] または [OFF] を選ぶ



[ON] :
接続されている機器から録音中の音声を出力します。

[OFF] :
接続されている機器から録音中の音声を出力しません。

- 7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

• 停止中に **STOP** (■) ボタンを押して +または-ボタンで表示を切り替えると、録音モニターのアイコンで設定が確認できます。



録音モニター

ご注意

- [録音設定] メニューの [録音モード] から [PCM] または [FLAC] を選択したとき、ビット数が 24bit のフォーマットを選べば、Bluetooth® 接続されたイヤホンには音声出力されません。24bit 以外のフォーマットを設定してください (P.123)。

設定した時間に録音を開始する [タイマー録音]

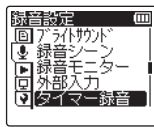
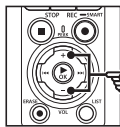
設定した時刻に録音を開始および終了できます。

ご確認

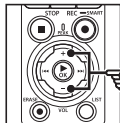
- あらかじめ本機の時計設定が合っているか確認してください。合っていない場合は、[時計設定] で日時を合わせてください (P.10)。
- タイマー録音は、本機に設定されている内容で動作します。録音に必要な設定はあらかじめ済ませておく必要があります。設定内容によって録音可能時間や電池消費量が変わる場合があります (P.118)。
- 電池残量が十分にあるか確認してください。必要に応じて充電するか、新しい電池を入れてください (P.5、P.7、P.32)。
- メモリ残量が十分にあるか確認してください。必要に応じて不要なファイルを消去するか、新しい microSD カードをご使用ください (P.34、P.84)。

録音開始および終了時間を設定する

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [タイマー録音] を選ぶ

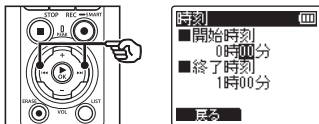


- 5 ▶OK ボタンを押す
- 6 +または-ボタンを押して [時刻] を選ぶ

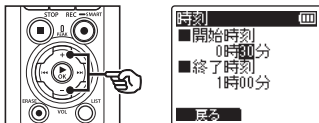


7 ▶ **OK** ボタンを押す

8 ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して設定項目を選ぶ



9 + または - ボタンを押して数字を変更する



- 他の項目を変更する場合は、▶▶ または ◀◀ ボタンでカーソルを移動し、+ または - ボタンで数字を変更します。

ご注意

- 設定した時刻から数秒遅れてタイマー録音が始まる場合があります。

10 ▶ **OK** ボタンを押して録音の開始および終了時間の設定を完了する

11 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

タイマー録音を開始する

1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

2 + または - ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ

3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

4 + または - ボタンを押して [タイマー録音] を選ぶ

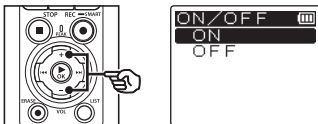
5 ▶ **OK** ボタンを押す

6 + または - ボタンを押して [ON/OFF] を選ぶ



7 ▶ **OK** ボタンを押す

- 8 +または-ボタンを押して
[ON] を選ぶ



- 9 **STOP** (■) ボタンを押して
メニュー画面を終了する

ご注意

- タイマー録音が終了すると、[タイマー録音] の [ON/OFF] 設定は [OFF] になります。
- [タイマー録音] の開始時刻に本機を操作していたり、本機が動作中のときはタイマー録音されません。

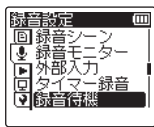
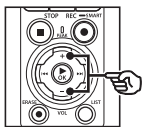
ヒント

- 電源が切れていたり、ホールド状態になっていても、[タイマー録音] の設定時刻になると録音を開始します。

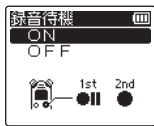
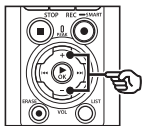
録音開始前に録音待機状態にする [録音待機]

REC (●) ボタンを押したときにすぐ録音を開始せず、いったん待機するよう設定できます。待機中に録音レベルを調整し、もう一度 **REC (●)** ボタンを押すと録音を開始します。

- 1 停止中または録音中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ
- 3 ▶**OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [録音待機] を選ぶ



- 5 ▶**OK** ボタンを押す
- 6 +または-ボタンを押して [ON] または [OFF] を選ぶ



[ON] :

REC (●) ボタンを押すと録音待機状態になり、録音レベルを調整できます。もう一度 **REC (●)** ボタンを押すと録音を開始します。

[OFF] :

REC (●) ボタンを押すとすぐに録音を開始します。待機状態にはなりません。

ヒント

- [録音待機] 機能を使った録音方法については、「録音レベルを手動で調整して録音を開始する」(P.51)をご覧ください。

- 7 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する

- 8 **STOP (■)** ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 停止中に **STOP (■)** ボタンを押して +または-ボタンで表示を切り替えると、録音待機のアイコンで設定が確認できます。



録音待機

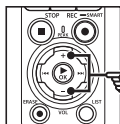
いろいろな録音方法で録音する [Fn 録音]

F2 ボタンにいろいろな録音機能を割り当てて、すばやく呼び出すことができます。

ご確認

- [プリレコーディング] 機能を使うには、[録音モード] をあらかじめ [FLAC] 以外に設定してください (※ P.123)。

6 +または-ボタンを押して割り当てる機能を選ぶ



[プリレコーディング] :

REC (●) ボタンを押す約 2 秒前から録音できます (※ P.136)。

[音声同期録音] :

設定した音声同期レベルよりも大きな音声を感じると自動的に録音を開始し、音声小さくなると自動的に録音を停止します (※ P.138)。

[オーバーダビング] :

ファイルの再生音を聴きながら、重ねて録音ができます (※ P.140)。

[VCVA] :

設定した音声起動レベルよりも大きな音声を感じると自動的に録音を開始し、音声小さくなると自動的に録音を一時停止します (※ P.141)。

[OFF] :

録音機能の割り当てを行いません。

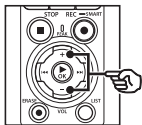
7 ▶OK ボタンを押す

8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する1 停止中または録音中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

2 +または-ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ

3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

4 +または-ボタンを押して [Fn 録音] を選ぶ



5 ▶OK ボタンを押す

ご注意

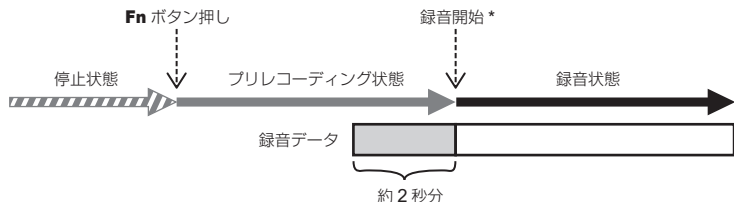
- [Fn 録音] を設定すると、[スレートトーン] は [OFF] に設定されます。
- [Fn 録音] を [プリレコーディング]、[音声同期録音]、または [VCVA] に設定すると、[声だけ抽出] の [録音と同時に抽出] (※ P.96) は [OFF] に設定されます。
- [Fn 録音] を [プリレコーディング] または [オーバーダビング] に設定すると、[録音シーン] (※ P.57) は [OFF] に設定されます。

ヒント

- [オーバーダビング] 機能を使うには、以下の条件が必要です。
- 再生するファイルは、ファイル形式が [PCM 44.1kHz/16bit] または [PCM 44.1kHz mono] (.wav) のファイルを選んでください (※ P.45、P.68)。
- [録音モード] は、あらかじめ [PCM 44.1kHz/16bit] または [PCM 44.1kHz mono] に設定してください (※ P.123)。

プリレコーディング機能で録音する [プリレコーディング]

プリレコーディングは、**REC (●)** ボタンを押す約 2 秒前から録音できる機能です。例えば小鳥の鳴き声を録音する場合、小鳥が鳴いたときに **REC (●)** ボタンを押すと、鳴く約 2 秒前から録音されます。



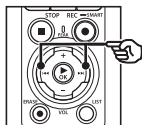
* **REC (●)** ボタンを押して録音を開始すると、ボタンを押すときのクリック音が録音されることがあります。クリック音を録音したくない場合は、スマートフォン用アプリケーション「DVR.Remote」を使ってリモコン操作で録音を開始してください (※ P.190)。

ご確認

- [プリレコーディング] 機能を使うには、[録音モード] をあらかじめ [FLAC] 以外に設定してください (※ P.123)。

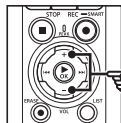
1 [Fn 録音] に [プリレコーディング] を設定する (※ P.134)

2 [ホーム] 画面で ►► または ◀◀ ボタンを押して [レコーダー] を選ぶ (※ P.40)



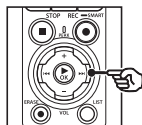
3 ►► OK ボタンを押す

4 + または - ボタンを押して録音するフォルダを選ぶ

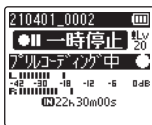
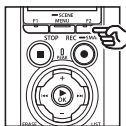


• 新しく録音した音声は、選んだフォルダに保存されます。

5 ►► ボタンを 2 回押してファイル表示画面に移る

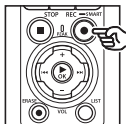


- 6 F2 (PRE REC) ボタンを**
押ししてプリレコーディングを
開始する



- この間、プリレコーディングは継続され、手順 6 で **REC (●)** ボタンが押される瞬間から約 2 秒間さかのぼって録音します。

- 7 REC (●) ボタンを押しして**
録音を開始する



- 8 STOP (■) ボタンを押しして**
録音を停止する

ご注意

- 録音開始後は、プリレコーディング中の録音も録音時間に含まれます。

音声同期録音機能で録音する [音声同期録音]

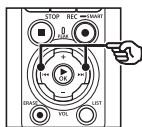
音声同期録音は、設定した音声同期レベル（検出レベル）よりも大きな音声を感知すると自動的に録音を開始し、音声が小さくなると自動的に録音を停止する機能です。他の機器と接続して音楽をダビングするときは、曲間の無音部分を検出して1曲ごとにファイルとして保存されます。

ヒント

- 音声感知による録音開始/一時停止を1ファイル内で行う場合は [VCVA] (P.141) を使用してください。

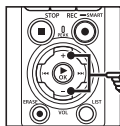
1 [Fn 録音] に [音声同期録音] を設定する (P.134)

2 [ホーム] 画面で ►► または ◀◀ ボタンを押して [レコーダー] を選ぶ (P.40)



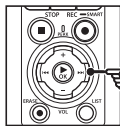
3 ►OK ボタンを押す

4 + または - ボタンを押して録音するフォルダを選ぶ

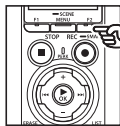


- 新しく録音した音声は、選んだフォルダに保存されます。

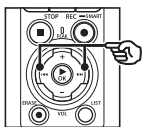
5 ►► ボタンを2回押してファイル表示画面に移る



6 F2 (SYNC) ボタンを押して録音の準備をする



- 7 ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して音声同期レベルを調整する



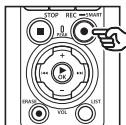
音声同期レベル (設定レベルに応じて左右に動きます)

- 音声同期レベルは [01] ~ [20] まで調整できます。
- 数字が大きくなるほど起動感度は高くなり、小さな音でも録音を開始します。

ヒント

- 音声同期レベル調整中に録音レベル (P.118) を [マニュアル] で設定する場合は、**F1** ボタンを押してください。録音レベルの調整モードに切り替わります。もう一度押すと音声同期レベルの調整モードに戻ります。

- 8 REC (●) ボタンを押す



- ディスプレイに [待機中] が点滅し、録音表示ランプが点滅します。
- 音声同期レベル以上の入力があると、自動的に録音を開始します。

- 9 STOP (■) ボタンを押して録音を停止する

ヒント

- 音声同期レベル以下の音が [音声同期時間] (P.143) で設定した検出時間以上続くと録音が自動的に終了し、録音待機状態に戻ります。待機状態になるたびにファイルは閉じられ、次に音声を感知したときは新しいファイルに録音されます。
- 音声同期録音を途中で止める場合は、**STOP** (■) ボタンを押してください。

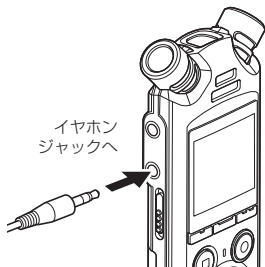
オーバーダビング機能を使う [オーバーダビング]

オーバーダビング機能を使うと、ファイルの再生音を聴きながら重ねて録音ができます。録音したファイルは別の名前前で保存されます。作曲りや楽器練習に便利です。

1 [Fn 録音] に [オーバーダビング] を設定する (P.134)

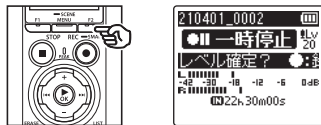
2 本機のイヤホンジャック (H) にイヤホンを接続する

- 再生するファイルの音声は、イヤホンから出力されます。

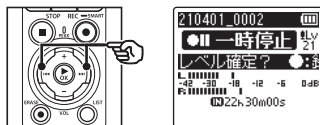


3 オーバーダビングするファイルを選ぶ (P.45)

4 停止中に **F2 (OVER DUB)** ボタンを押す

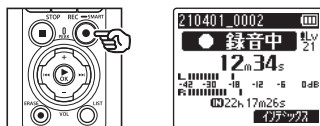


5 **▶▶** または **◀◀** ボタンを押して録音レベルを調整する



6 **REC (●)** ボタンを押す

- ファイルの先頭から再生が開始し、同時にオーバーダビング録音も開始します。

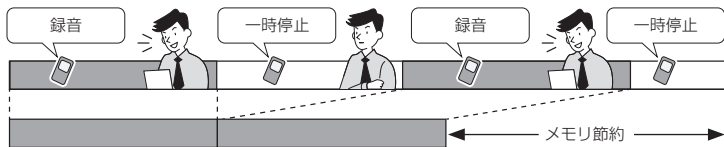


7 **STOP (■)** ボタンを押して録音を停止する

- 再生ファイルの再生が終わると、オーバーダビング録音も終了します。

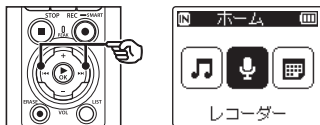
VCVA 機能で録音する [VCVA]

音声起動録音 (VCVA) とは、設定した音声起動レベルよりも大きな音声を感じると自動的に録音が始まり、音声小さくなると自動的に録音を一時停止する機能です。会議中の長い沈黙などを自動的にカットして録音することによりメモリを節約できます。



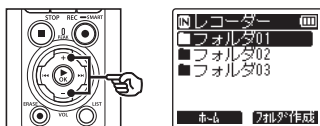
1 [Fn 録音] に [VCVA] を設定する (☞ P.134)

2 [ホーム] 画面で ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して [レコーダー] を選ぶ (☞ P.40)



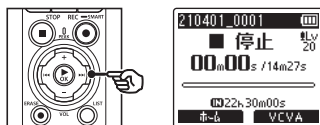
3 ▶OK ボタンを押す

4 + または - ボタンを押して録音するフォルダを選ぶ

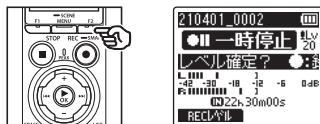


- 新しく録音した音声は、選んだフォルダに保存されます。

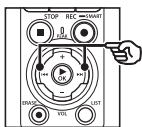
5 ▶▶ ボタンを2回押してファイル表示画面に移る



6 F2 (VCVA) ボタンを押す



7 ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して音声起動レベルを調整する



- a 音声起動レベル（設定レベルに応じて左右に動きます）
 - b レベルメーター（録音音量に合わせて変化します）
- [01]～[20]の範囲で調整できます。

8 REC (●) ボタンを押す

- 設定した起動感度より音が小さくなると約 1 秒後に自動的に録音が一時停止します。
このときディスプレイに [待機中] が点滅します。録音起動中は録音表示ランプが点灯し、一時停止中は点滅します。

9 STOP (■) ボタンを押して録音を停止する

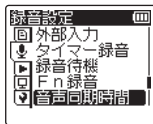
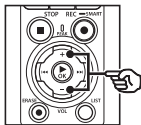
ヒント

- 音声起動レベルが大きくなるほど VCVA の起動感度は高くなり、小さな音でも録音を開始します。
- まわりの雑音が大いなど、録音状況に応じて VCVA の音声起動レベルを調整してください。
- 失敗のない録音を行うために、事前に試し録音で音声起動レベルを調整することをおすすめします。
- VCVA 録音中に録音レベル (P.118) を [マニュアル] で変更する場合は、**F1** ボタンを押してください。録音レベルの調整モードに切り替わります。もう一度押すと音声起動レベルの調整モードに戻ります。

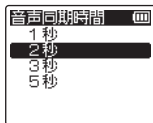
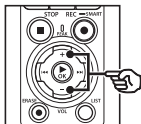
音声同期時間を設定する [音声同期時間]

音声同期時間は、[音声同期録音] (P.138) 機能で録音レベル以下の状態が何秒間続いた場合に録音を停止するかを設定します。

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ
- 3 ▶**OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [音声同期時間] を選ぶ



- 5 ▶**OK** ボタンを押す
- 6 +または-ボタンを押して設定を変更する



[1秒] [2秒] [3秒] [5秒] :

検出時間を設定します。規定レベル以下の入力（録音レベル）が設定した検出時間以上続くと、本機は待機状態になります。

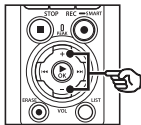
- ◀▶ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[録音設定] 画面に戻ります。
- 7 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する
 - 8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ムービーと同期をとるための基準となる音を記録する [スレートトーン]

基準となる音（スレートトーン）を記録しておくことで、本機で収録した音声とカメラで撮影したムービーの音声を差し替える際に同期をとりやすくなります（※ P.146）。

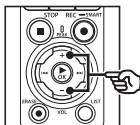
[スレートトーン] を [ON] に
設定する

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ
- 3 ▶**OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [スレートトーン] を選ぶ



- 5 ▶**OK** ボタンを押す

- 6 +または-ボタンを押して [ON] を選ぶ



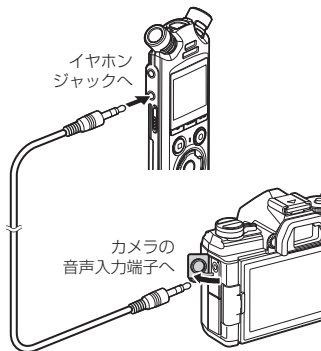
- 7 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する
- 8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- [スレートトーン] 機能を [ON] に設定すると、[Fn 録音] は [OFF] に設定されます。
- [録音設定] メニューの [録音モード] から [PCM] または [FLAC] を選択したとき、ビット数が 24bit のフォーマットを選ぶと、Bluetooth® 接続されたイヤホンには音声出力されません。24bit 以外のフォーマットを設定してください（※ P.123）。

スレートトーンを記録してムービーを撮影する

- 1 カメラの音声入力端子と本機のイヤホンジャックへを接続する (P.73)



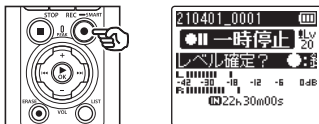
【録音待機】が【ON】の場合：

手順 2 へ

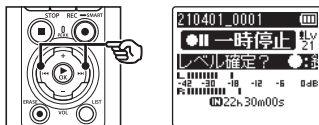
【録音待機】が【OFF】の場合：

手順 4 へ

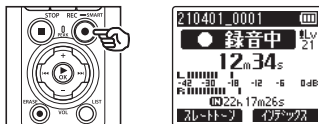
- 2 REC (●) ボタンを押して録音の待機状態にする



- 3 ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して録音レベルを調整する



- 4 REC (●) ボタンを押して録音を開始する



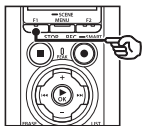
- 録音表示ランプが点灯し、ディスプレイに【●録音中】が点灯します。
- ▶▶ または ◀◀ ボタンを押すと、録音レベルが調整できます。

- 5 カメラのムービー撮影を開始する

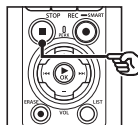
- ムービーの撮影方法については、カメラの取扱説明書をご覧ください。

6 本機の **F1** (スレートトーン) ボタンを押す

- 基準音 (ビーブ音) が録音されます。



8 **STOP** (■) ボタンを押して録音を停止する



4

メニュー

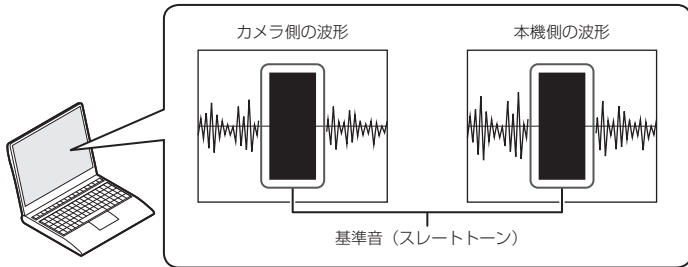
7 カメラのムービー撮影を終了する

ご注意

- スレートトーンは、ムービーファイルと音声ファイルへ記録されます。
- 撮影中にカメラと本機の内蔵スピーカーからは出力されません。

ヒント

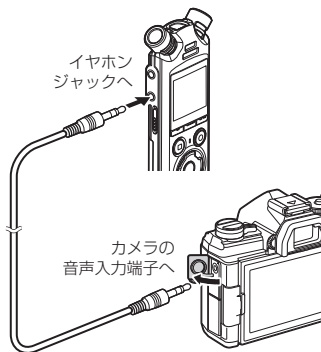
- OM Workspace** を使ってムービーファイルの音声と本機で録音した音声ファイルを差し替えるとき、基準音の波形を目印にするとムービーと音声の同期がとりやすくなります。ソフトウェアのダウンロードについては当社ホームページをご覧ください。
- 市販のソフトウェアを使用することもできます。編集方法については、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。



カメラに入力される本機の音声レベルを調整する [テストトーン]

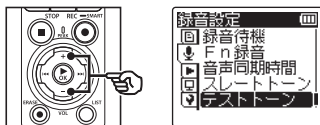
ムービー撮影時のカメラの録音レベルを最適にするため、事前にボリューム調整用の音(テストトーン)で調整することにより音割れなどを避けることができます。

- 1 カメラの音声入力端子と本機のイヤホンジャック (🎧) を接続する (P.73)



- 2 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 3 + または - ボタンを押して [録音設定] タブを選ぶ
- 4 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

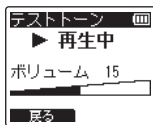
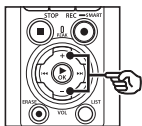
- 5 + または - ボタンを押して [テストトーン] を選ぶ



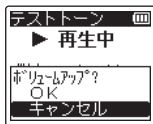
- 6 ▶ **OK** ボタンを押す
- 7 もう一度 ▶ **OK** ボタンを押してテストトーンを出力する



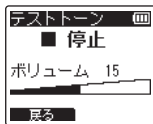
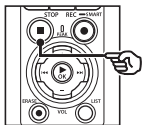
- 8 + または - ボタンを押して
ボリュームを設定する



- [00] ~ [30] の範囲で調整できます。数字が大きくなるとボリュームが上がります。
- ボリュームを規定以上にすると、警告画面が表示される場合があります。



- 9 **STOP** (■) ボタンを押して
テストトーンを停止する



- 10 **F1** (戻る) ボタンを押して
メニュー画面に戻る

- 11 **STOP** (■) ボタンを押して
メニュー画面を終了する

ご注意

- テストトーンのボリュームは再生音量 (※ P.73) に連動します。
- カメラと本機の内蔵スピーカからは出力されません。

ヒント

- 本機のボリュームを最大に設定して、カメラ側の録音レベルを調整することでノイズの少ない録音ができます。
- Bluetooth® に対応したオーディオ機器からもテストトーンを出力できます (※ P.184)。

再生メニュー [再生設定]

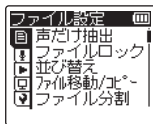
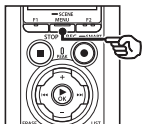
非音声部分をスキップして再生する [声だけ再生]

録音した音声ファイルの音声部分だけを再生できます。

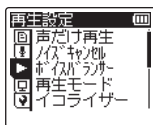
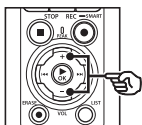
ご確認

- あらかじめファイルの音声部分を抽出してください (P.96)。

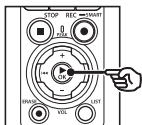
1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



2 + または - ボタンを押して [再生設定] タブを選ぶ

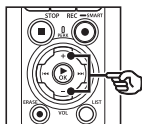


3 ▶ OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する



4 ▶ OK ボタンを押す

5 + または - ボタンを押して [ON] または [OFF] を選ぶ



[ON] :
ファイルの非音声部分を自動的にスキップして音声部分だけを再生します。

[OFF] :
機能しません。

- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[再生設定] 画面に戻ります。

6 ▶ OK ボタンを押して設定を完了する

4

メニューについて

7 STOP (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 停止中に **STOP (■)** ボタンを押して + または - ボタンで表示を切り替えると、声だけ再生のアイコンで設定が確認できます。



4

メニューについて

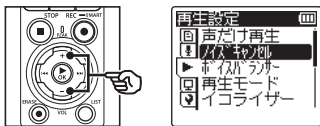
ご注意

- 「声だけ再生」は「レコーダー」モードのときのみ機能します。

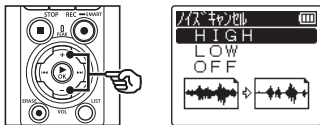
ノイズを軽減して再生する [ノイズキャンセル]

録音した音声聞き取りにくいときはノイズキャンセルを設定してください。

- 1 停止中または再生中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [再生設定] タブを選ぶ
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [ノイズキャンセル] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す
- 6 +または-ボタンを押して [HIGH]、[LOW] または [OFF] を選ぶ



[HIGH] **[LOW]** :
周囲の雑音を低減し、よりクリアな音質で再生します。

[OFF] :
機能しません。

- ◀▶ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[再生設定] 画面に戻ります。
- 7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する
 - 8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

• 停止中に **STOP** (■) ボタンを押して +または-ボタンで表示を切り替えると、ノイズキャンセルのアイコンで設定が確認できます。



ご注意

- [ノイズキャンセル] は [レコーダー] モードのときのみ機能します。
- [ノイズキャンセル] 機能を使用すると電池の消費が早くなります。

小さい音を補正して再生する [ボイスバランサー]

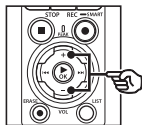
低音域と高音域成分をカットし、音量が小さい部分を大きくなるように補正する機能です。会話などの小さい音を大きく明瞭にします。



4

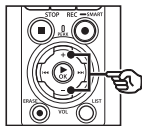
メニューについて

- 1 停止中または再生中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [再生設定] タブを選ぶ
- 3 ▶**OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [ボイスバランサー] を選ぶ



- 5 ▶**OK** ボタンを押す

- 6 +または-ボタンを押して [ON] または [OFF] を選ぶ



[ON] :
音声ファイルの小さい部分を大きく
なるように補正して再生します。

[OFF] :
機能しません。

- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[再生設定] 画面に戻ります。

- 7 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する

8 STOP (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 停止中に **STOP (■)** ボタンを押して + または - ボタンで表示を切り替えると、ボイスバランスのアイコンで設定が確認できます。



ご注意

- [ボイスバランス] は [レコーダー] モードのときのみ機能します。
- [ボイスバランス] 機能を使用すると電池の消耗が早くなります。

再生モードを選択する [再生モード]

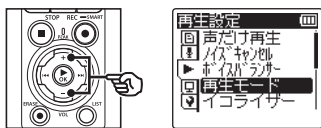
お好みに合わせて再生モードをお選びください。

- 1 停止中または再生中に
MENU/SCENE ボタンを
押す

- 2 +または-ボタンを押して
[再生設定] タブを選ぶ

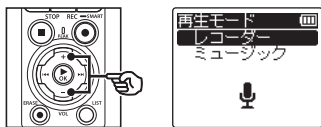
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソル
を設定項目へ移動する

- 4 +または-ボタンを押して
[再生モード] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す

- 6 +または-ボタンを押して
[レコーダー] または
[ミュージック] を選ぶ



- 7 ▶OK ボタンを押す
[レコーダー] を選んだ場合:

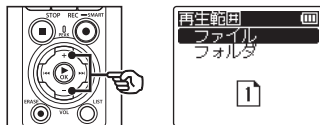
☞ 手順 4 へ

[ミュージック] を選んだ場合:

☞ 手順 10 へ

[レコーダー] を選んだ場合:

- 8 +または-ボタンを押して
[ファイル] または [フォルダ]
を選ぶ



[ファイル]:

現在のファイルを再生後に停止します。

[フォルダ]:

現在のフォルダ内の最終ファイルまで連続再生して停止します。

- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、1つ前の画面に戻ります。

- 9 ▶OK ボタンを押して、手順
14 に進む

[ミュージック] を選んだ場合：

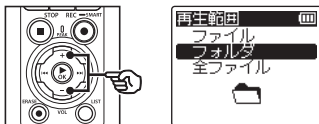
- 10 +または-ボタンを押して
[再生範囲]、[リピート] または [ランダム] を選ぶ



- [再生範囲]：
ファイル再生の範囲を指定します。
- [リピート]：
設定された範囲を繰り返して再生します。
- [ランダム]：
設定された範囲をランダムに再生します。

- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、1つ前の画面に戻ります。

- 11 ▶OK ボタンを押す
- 12 +または-ボタンを押して設定を選ぶ



[再生範囲] を選んだ場合：

[ファイル] [フォルダ] [全ファイル]：
ファイル再生の範囲を指定します。

[リピート] または [ランダム] を選んだ場合：

[ON]：

再生範囲をリピート再生またはランダム再生します。

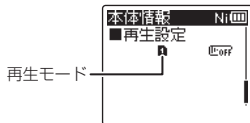
[OFF]：

リピート再生およびランダム再生を解除します。

- 13 ▶OK ボタンを押して、手順
14 に進む

- 14 **STOP** (■) ボタンを押して
メニュー画面を終了する

- 停止中に **STOP** (■) ボタンを押して + または - ボタンで表示を切り替えると、再生モードのアイコンで設定が確認できます。



ご注意

- [再生範囲] を [ファイル] に設定するとフォルダ内の最終ファイルを再生後、ディスプレイに [ファイルエンド] が表示され、最終ファイルの開始位置で停止します。
- [再生範囲] を [フォルダ] に設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに [ファイルエンド] が表示され、フォルダ内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。
- [再生範囲] を [全ファイル] に設定すると、フォルダ内の最終ファイルを再生後、次のフォルダの先頭ファイルから再生を開始します。ミュージックフォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに [ファイルエンド] が表示され、ミュージックフォルダ内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。

音楽の音質を変える [イコライザー]

イコライザーの設定を変えると、お好みの音質で音楽を楽しめます。

ご注意

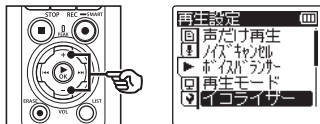
- [イコライザー] は [ミュージック] モードのときのみ機能します。

1 停止中または再生中に
MENU/SCENE ボタンを
押す

2 +または-ボタンを押して
[再生設定] タブを選ぶ

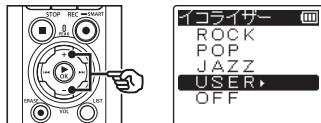
3 ▶**OK** ボタンを押してカーソル
を設定項目へ移動する

4 +または-ボタンを押して
[イコライザー] を選ぶ



5 ▶**OK** ボタンを押す

6 +または-ボタンを押して
イコライザー特性を選ぶ



- [USER] を選ぶと、独自にイコライザーの設定を登録できます。

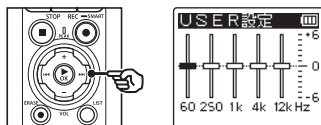
[USER] を選んだ場合：

☞ 手順 7 へ

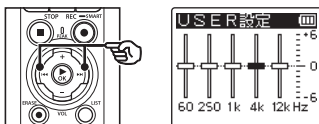
[USER] 以外を選んだ場合：

☞ 手順 10 へ

7 ▶▶ ボタンを押す

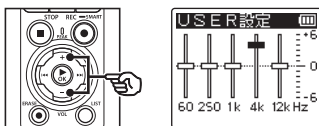


- 8 ▶▶ または ◀◀ ボタンを押して周波数帯域を選ぶ



- [60Hz] [250Hz] [1kHz] [4kHz] [12kHz] の周波数帯域ごとにレベルを設定できます。

- 9 + または - ボタンを押してレベルを設定する



- [-6] から [+6] までを 1 dB 単位で設定できます。
- レベル数を大きくすると、その周波数帯域が強調されます。
- 他の周波数帯域を変更する場合、手順 8 と手順 9 を繰り返してください。

- 10 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 11 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

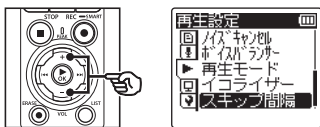
- 停止中に **STOP** (■) ボタンを押して + または - ボタンで表示を切り替えると、イコライザーのアイコンで設定が確認できます。



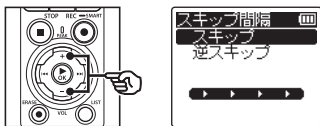
スキップ間隔を設定する [スキップ間隔]

再生中のファイルを設定した間隔だけスキップ（送る）または逆スキップ（戻る）して再生できる機能で、再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときなどに便利です。

- 1 停止中または再生中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [再生設定] タブを選ぶ
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [スキップ間隔] を選ぶ



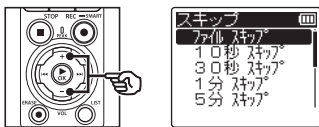
- 5 ▶OK ボタンを押す
- 6 +または-ボタンを押して [スキップ] または [逆スキップ] を選ぶ



[スキップ] :
設定した間隔分だけ送って再生を開始します。

[逆スキップ] :
設定した間隔分だけ戻って再生を開始します。

- 7 ▶OK ボタンを押す
- 8 +または-ボタンを押して設定を選ぶ



[スキップ] を選んだ場合 :
[ファイル スキップ] [10 秒 スキップ]
[30 秒 スキップ] [1 分 スキップ]
[5 分 スキップ] [10 分 スキップ]

[逆スキップ] を選んだ場合 :
[ファイル スキップ]
[1 秒 スキップ] ~ [3 秒 スキップ]
[5 秒 スキップ] [10 秒 スキップ]
[30 秒 スキップ] [1 分 スキップ]
[5 分 スキップ]

- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[スキップ間隔] 画面に戻ります。

9 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

10 STOP (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

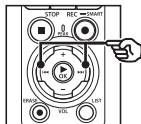
- スキップ間隔より近い位置にインデックスマーク・テンプマーク、頭出し位置がある場合、その位置にスキップ・逆スキップします。

スキップ・逆スキップ再生のしかた

1 ▶OK ボタンを押して再生を開始する



2 再生中に ▶▶ または ◀◀ ボタンを押す



- 設定した間隔でスキップまたは逆スキップして再生を開始します。

表示／音メニュー [表示／音設定]

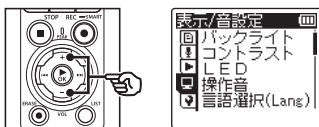
バックライトを設定する [バックライト]

ボタンの操作を行うとディスプレイのバックライトが設定した時間だけ点灯します。

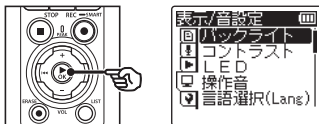
- 1 録音中、再生中または停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



- 2 +または-ボタンを押して [表示／音設定] タブを選ぶ

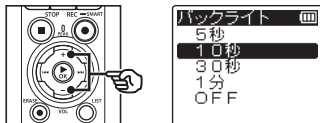


- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する



- 4 ▶OK ボタンを押す

- 5 +または-ボタンを押して設定を選ぶ



[5秒] [10秒] [30秒] [1分] :
バックライトの点灯時間を設定します。

[OFF] :
バックライトは点灯しません。

• ◀▶ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[表示／音設定] 画面に戻ります。

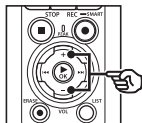
- 6 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 7 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

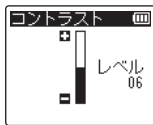
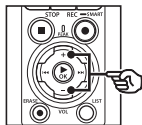
コントラストを調整する [コントラスト]

ディスプレイのコントラストを 12 段階に調整できます。

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [表示 / 音設定] タブを選ぶ
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [コントラスト] を選ぶ
- 7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する
- 8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



- 5 ▶OK ボタンを押す
- 6 +または-ボタンを押してレベルを調整する

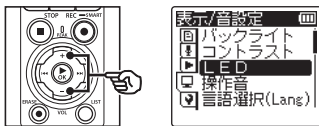


- [01] から [12] の間で調整を行います。
- ◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[表示 / 音設定] 画面に戻ります。

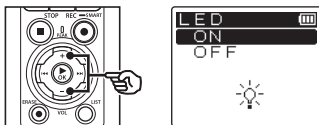
LED 表示を設定する [LED]

LED 表示ランプ（録音 / **PEAK** 表示ランプ）が点灯しないように設定できます。

- 1 録音中、再生中または停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [表示 / 音設定] タブを選ぶ
- 3 ▶**OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [LED] を選ぶ
- 5 ▶**OK** ボタンを押す
- 6 +または-ボタンを押して設定を変更する
- 7 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する
- 8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



- 5 ▶**OK** ボタンを押す
- 6 +または-ボタンを押して設定を変更する



- [ON] :
LED 表示ランプが点灯します。
- [OFF] :
LED 表示ランプは点灯しません。

操作音を設定する [操作音]

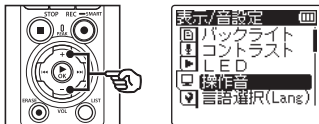
ボタン操作を知らせたり誤操作を警告したりするときに操作音が鳴ります。
操作音は鳴らす、鳴らさないを選べます。

1 停止中に **MENU/SCENE**
ボタンを押す

2 + または - ボタンを押して
[表示 / 音設定] タブを選ぶ

3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソル
を設定項目へ移動する

4 + または - ボタンを押して
[操作音] を選ぶ



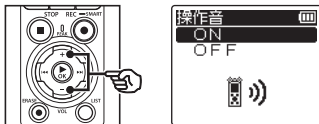
• ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[表示 / 音設定] 画面に戻ります。

7 ▶ **OK** ボタンを押して設定を完了する

8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

5 ▶ **OK** ボタンを押す

6 + または - ボタンを押して設定を変更する



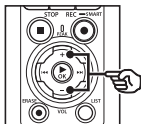
[ON] :
操作音が機能します。

[OFF] :
機能しません。

表示言語を切り替える [言語選択 (Lang)]

日本語表示と英語表示のどちらかを選べます。

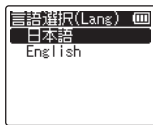
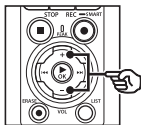
- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [表示 / 音設定] タブを選ぶ
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [言語選択 (Lang)] を選ぶ
- 7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する
- 8 **STOP (■)** ボタンを押してメニュー画面を終了する



ヒント

- 表示言語を切り替えても、すでに入力してあるフォルダ名やファイル名の言語は変わりません。

- 5 ▶OK ボタンを押す
- 6 +または-ボタンを押して設定を変更する



- ◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[表示 / 音設定] 画面に戻ります。

ファイルの先頭部分を数秒間再生する [イントロ再生]

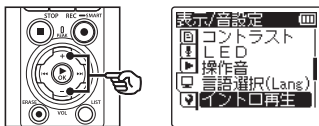
リスト表示画面でファイルを選択すると、ファイルの先頭部分を数秒間自動的に再生します。ファイルの内容を確認できるので、ファイルを検索するときに便利です。あらかじめ、先頭部分に録音する内容を記録しておく、あとで検索しやすくなります。

1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

2 +または-ボタンを押して [表示／音設定] タブを選ぶ

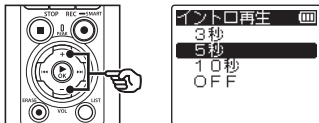
3 ▶**OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

4 +または-ボタンを押して [イントロ再生] を選ぶ



5 ▶**OK** ボタンを押す

6 +または-ボタンを押して [3秒]、[5秒]、[10秒] または [OFF] を選ぶ



[3秒] [5秒] [10秒] :

ファイルの先頭部分を再生する時間を設定します。

[OFF] :

イントロ再生は機能しません。

•◀▶ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、[表示／音設定] 画面に戻ります。

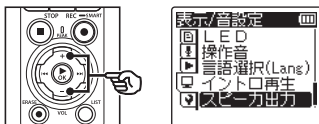
7 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する

8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

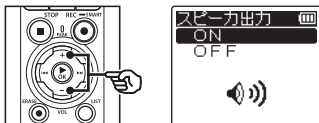
スピーカ出力を選択する [スピーカ出力]

イヤホンを接続していないときの内蔵スピーカのオン、オフを設定できます。
 [OFF] に設定すると誤ってイヤホンが本機から外れてもスピーカから音が出ません。
 バスや電車の中で安心です。

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [表示／音設定] タブを選ぶ
- 3 ▶**OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [スピーカ出力] を選ぶ



- 5 ▶**OK** ボタンを押す
- 6 +または-ボタンを押して [ON] または [OFF] を選ぶ



[ON] :
 イヤホン接続中はイヤホンから音が出され、イヤホンを取り外すと内蔵スピーカから音が出されます。

[OFF] :
 イヤホンを取り外しても内蔵スピーカからは音が出されません。

- 7 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する
- 8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する



スピーカ出力停止表示
 ([スピーカ出力] を [OFF] に設定すると表示されます)。

本体メニュー [本体設定]

Bluetooth® 対応機器を接続する [Bluetooth 設定]

本機は Bluetooth® に対応しており、同規格に対応した機器が接続できます。
詳しくは「Bluetooth® について」(P.182) をご覧ください。

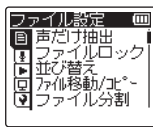
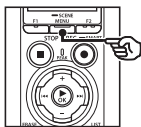
記録メディアを選択する [メモリ選択]

microSD カードを入れると、内蔵メモリに記録するか microSD カードに記録するか選べます (P.34)。

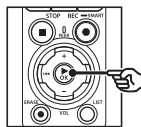
4

メニュー画面

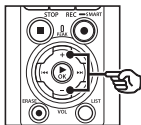
- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



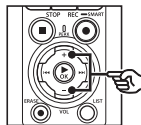
- 3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する



- 2 + または - ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ

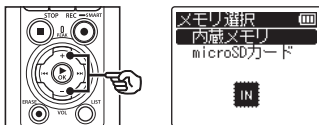


- 4 + または - ボタンを押して [メモリ選択] を選ぶ



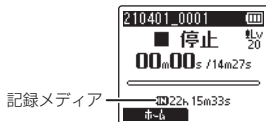
- 5 ▶ **OK** ボタンを押す

- 6 + または - ボタンを押して
記録メディアを選ぶ



- 7 ▶ **OK** ボタンを押して設定を
完了する

- 8 **STOP** (■) ボタンを押して
メニュー画面を終了する



省電力モードを設定する [スリープ]

電源を入れて停止状態のまま設定した時間を経過すると、自動的にスリープ(省電力)モードに切り替わります。

いずれかのボタンを押すとスリープモードは解除されます。

4

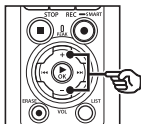
メニューのついでに

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

- 2 +または-ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ

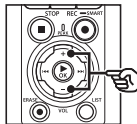
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- 4 +または-ボタンを押して [スリープ] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す

- 6 +または-ボタンを押して時間を設定する



- [5分] [10分] [30分] [1時間] : お好みの時間を設定してください。

- [OFF] :

省電力モードは動きません。そのまま放置しておくと電池が早く消耗します。

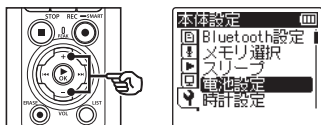
- 7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

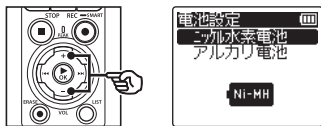
使用する電池を設定する [電池設定]

現在使用している電池に合わせて設定してください。

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ
- 3 ▶**OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [電池設定] を選ぶ



- 5 ▶**OK** ボタンを押す
- 6 +または-ボタンを押して設定する



[ニッケル水素電池]：
当社製ニッケル水素充電電池 (BR404) をご使用の場合にお選びください。

☞ 手順 7 へ

[アルカリ電池]：
アルカリ乾電池をご使用の場合にお選びください。

☞ 手順 9 へ

- 7 ▶**OK** ボタンを押す
- 8 +または-ボタンを押して [OK] を選ぶ
- 9 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する
- 10 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

・停止中に **STOP** (■) ボタンを押すと、使用中の電池の種類のアイコンで設定が確認できます。

使用中の電池の種類



日付・時刻を合わせる [時計設定]

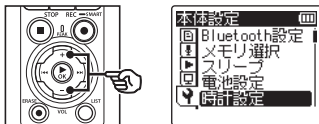
日付と時刻を設定しておく、「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。あらかじめ日付・時刻を合わせてください。現在日時が合っていない場合、以下の手順で設定してください。

1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

2 +または-ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ

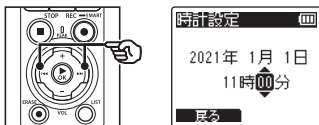
3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

4 +または-ボタンを押して [時計設定] を選ぶ

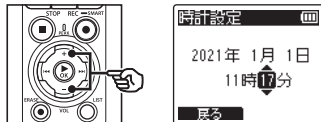


5 ▶OK ボタンを押す

6 ▶▶IまたはI◀◀ ボタンを押して設定項目を選ぶ



7 +または-ボタンを押して数字を変更する



- 他の項目を変更する場合は、▶▶IまたはI◀◀ ボタンでカーソルを移動し、+または-ボタンで数字を変更します。

ヒント

- 年、月、日の設定中、**F2** ボタンを押すたびに表示の順序が切り替わります。

例：2021年 1月 31日の場合

2021年 1月 31日
(初期値)

↓
1月 31日 2021年

↓
31日 1月 2021年

- 本機の時計表記は 24 時間制です。

- 8 ▶ **OK** ボタンを押して設定を完了する
- 9 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 電池を交換すると、自動的に **[時計設定]** 画面を表示します。
- 長時間未使用でも電池が消耗すると、再び時計設定が必要になります。

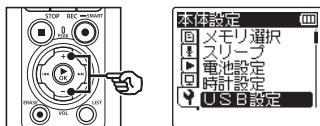
USB 接続を設定する [USB 設定]

ファイル転送や充電などの目的に応じて、USB 接続を設定してください。

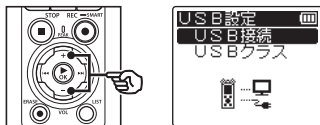
USB 接続の設定

USB 接続の目的をファイル転送や充電に固定するか、または USB 接続するたびに選択するかを設定します。

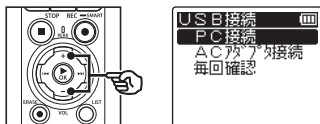
- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [USB 設定] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す
- 6 +または-ボタンを押して [USB 接続] を選ぶ



- 7 ▶OK ボタンを押す
- 8 +または-ボタンを押して設定を選ぶ



[PC 接続] :

USB 接続ケーブルで本機とパソコンを接続するときの設定です。ストレージまたはコンポジットとして接続されます。

[AC アダプタ接続] :

パソコンまたは AC アダプタ (別売 F-5AC) で充電するときの設定です。ファイルの転送はできません。

[毎回確認] :

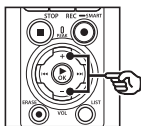
USB 接続をするたびに接続方法を確認します。

- 9 ▶OK ボタンを押す
- 10 **STOP (■)** ボタンを押してメニュー画面を終了する

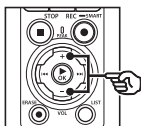
USB クラスの設定

本機をパソコンに接続するときの目的に応じて、USB クラスを設定します。

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [USB 設定] を選ぶ

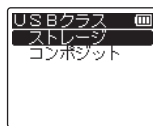
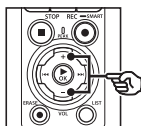


- 5 ▶OK ボタンを押す
- 6 +または-ボタンを押して [USB クラス] を選ぶ



- 7 ▶OK ボタンを押す

- 8 +または-ボタンを押して設定を選ぶ



- [ストレージ] :
パソコン側から外部記憶装置として認識されます。
- [コンボジット] :
パソコン側から外部記憶装置、USB スピーカおよびマイクとして認識されます。

ヒント

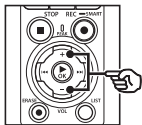
- パソコン側から本機が外部記憶装置として認識されない場合、[USB クラス] の設定を [ストレージ] に切り替えてください。
- [コンボジット] に設定した状態でパソコンから充電する場合は、[USB 接続] を [毎回確認] に設定し、USB 接続の際に [AC アダプタ接続] を選んでください (P.174)。

- 9 ▶OK ボタンを押す
- 10 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

設定をリセットする [設定リセット]

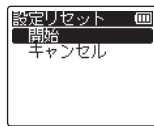
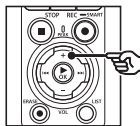
各種機能を初期設定（工場出荷時）に戻します。時計設定やファイル番号はそのまま保持します。

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ
- 3 ▶**OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [設定リセット] を選ぶ



- 5 ▶**OK** ボタンを押す

- 6 +ボタンを押して [開始] を選ぶ



- 7 ▶**OK** ボタンを押して設定を完了する
- 8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

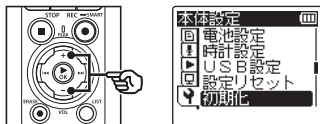
ヒント

- 設定リセット後の初期値は、「メニューの一覧」をご覧ください (P.89 ~ P.94)。

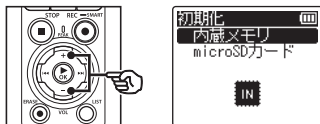
記録メディアを初期化する [初期化]

初期化すると記録されているファイルはすべて消去されます。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください (※ P.41)。

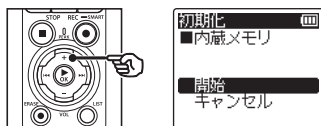
- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [初期化] を選ぶ



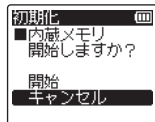
- 5 ▶OK ボタンを押す
- 6 +または-ボタンを押して初期化する記録メディアを選ぶ



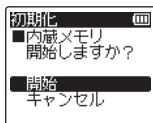
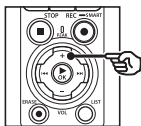
- 7 ▶OK ボタンを押す
- 8 +ボタンを押して [開始] を選ぶ



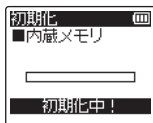
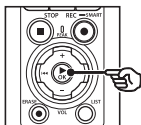
- 9 ▶OK ボタンを押す



10 + ボタンを押してもう一度
[開始] を選ぶ



11 ▶ OK ボタンを押す



- [初期化中!] が表示され、初期化が開始されます。
- [初期化完了] が表示されたら初期化終了です。

ヒント

- 各種機能の設定を初期設定に戻す場合、[設定リセット] を行ってください (P.176)。

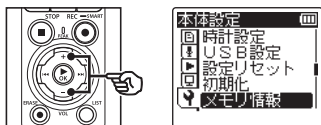
ご注意

- 本機をパソコンから初期化することは絶対にしないでください。
- 初期化をすると、ファイルロックをかけたファイルや読み取り専用ファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。
- 本機に microSD カードを入れた場合、初期化する記録メディアが [内蔵メモリ] または [microSD カード] のどちらなのかを間違えないよう、必ず確認してください (P.168)。
- 初期化中に電池が切れることのないように充電するか、または新しい電池に交換してください。また、初期化が完了するまで数十秒かかる場合があります。初期化中には次のような操作は絶対にしないでください。データが破損するおそれがあります。
 - 初期化中に USB 接続 AC アダプタを取り外す。
 - 初期化中に電池を取り外す。
 - 記録メディアが [microSD カード] の場合、初期化中に microSD カードを取り外す。
- 初期化や消去 (P.84) を行っても、ファイルの管理情報が更新されるだけで内蔵メモリや microSD カードに記録したデータは完全には消去されません。廃棄の際には、破壊するか、または初期化したあと、残り時間がなくなるまで無音録音するなどして、個人情報の流出を防いでください。

記録メディアの情報を確認する [メモリ情報]

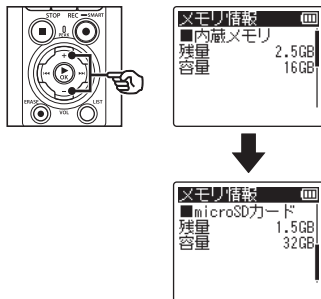
メニュー画面から記録メディアの記録可能残量や容量を表示できます。

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [メモリ情報] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す

- 6 +または-ボタンを押して画面を切り替える



- 7 情報を確認したら、▶OK ボタンを押して [メモリ情報] 画面から出る
- 8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

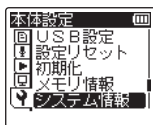
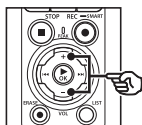
ご注意

- メモリ容量の一部を管理領域として使用しているため、実際に使用できる容量は少なくなります。

本機の情報を確認する [システム情報]

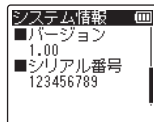
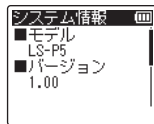
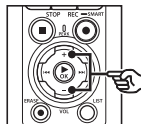
メニュー画面から本機の情報を確認できます。

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [システム情報] を選ぶ



- 5 ▶OK ボタンを押す

- 6 +または-ボタンを押して画面を切り替える

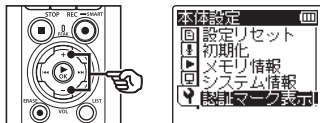


- 7 情報を確認したら、▶OK ボタンを押して [システム情報] 画面から出る
- 8 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

認証マークを表示する [認証マーク表示]

本機が取得している認証関係の内容を表示します。

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ
- 3 **▶OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 +または-ボタンを押して [認証マーク表示] を選ぶ



- 5 **▶OK** ボタンを押す
- 6 +または-ボタンを押して画面を切り替える

- 7 情報を確認したら、**▶OK** ボタンを押して [認証マーク表示] 画面から出る
- 8 **STOP (■)** ボタンを押してメニュー画面を終了する

Bluetooth® について

Bluetooth® 機能をご使用になる前に

本機は Bluetooth® に対応しており、同規格に対応した機器が接続できます。

Bluetooth® 対応イヤホンを使用すると、接続コードのわずらわしさがなく電波の届く範囲内で自由に使用できます。

電波はある範囲内であれば障害物（木材・ガラス等）を通過して届くので、本機が隣の部屋などに置いてある場合でも、接続が可能になります。

スマートフォンでは専用のアプリケーションを使用すると、電波の届く範囲であれば離れた場所からでも本機を操作することができます。詳しくは当社ホームページをご覧ください。

Bluetooth® 機能でできること

- Bluetooth® に対応したオーディオ機器との無線接続
- 専用スマートフォンアプリを使った本機の手操作（※ P.190）
- オーディオ機器とスマートフォンとの同時接続
- 最後に接続した機器との自動接続



レコーダー



スマートフォン

ご注意

- 本機は、日本の電波法に準拠し認証を受けた製品であり、日本以外ではご使用になれませんのでご注意ください。本機の無線機能を海外で使用するとご使用になる国の電波法に違反するおそれがあります。海外でのご使用については、当社は一切の責任を負いかねます。
- Bluetooth® 接続の間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信に影響を及ぼす場合があります。
- 病院や飛行機の中など使用を禁止される場所では、本機の Bluetooth® 機能を使用しないでください。

- 電子レンジやコードレス電話等、2.4GHz 帯の周波数を使用する機器の近くで、それらの機器と本機を同時にご使用された場合、通信が途切れたり、通信速度が低下するなど、通信性能に影響を及ぼす場合があります。そのような機器から十分離してご使用ください。
- 携帯電話、テレビ、ラジオなどを、本機の近くではできるだけ使用しないでください。
 - 携帯電話、PHS、テレビ、ラジオなどは、本機が使用する電波とは異なる周波数帯を使用していますが本機を含む Bluetooth® 製品が発する電磁波の影響で、音声や映像にノイズが発生する場合があります。
- Bluetooth® 機能の使用中は電池の消耗が早くなります。データ転送中に電池が切れるとデータが破損する場合があります。Bluetooth® 接続中は別売の AC アダプタのご使用をおすすめします。
- Bluetooth® 対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- Bluetooth® 機能を使用した場合のデータ損失に関しては、弊社は一切の責任を負いかねます。

Bluetooth® 製品のご使用時におけるセキュリティに関するご注意

- Bluetooth® 接続では、有線（ケーブル）を使わずに、スマートフォンと本機の間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に接続が可能になります。しかし、電波はある範囲内であれば障害物（木材・ガラス等）を通過して届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
 - 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し通信内容を盗み見られる。
 - 不正に侵入され個人情報などの情報が漏えいする。
 - 傍受した通信内容を書き換えて発信される。
 - コンピューターウイルスなどを流されてデータやシステムを破壊される。
- Bluetooth® 機能を使っていないときは、接続を切ってください。
- Bluetooth® 接続の仕様上やむを得ない事情により、問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

Bluetooth® 対応のオーディオ機器を接続する／切断する

Bluetooth® 対応のオーディオ機器を接続する

本機は Bluetooth® に対応しており、同規格に対応した機器が接続できます。ワイヤレス接続により、一定の範囲内でイヤホンなどの対応機器が自由に使用できます。

ご確認

- 電池残量が十分にあるか確認してください。必要に応じて充電するか、新しい電池に交換してください (P.5、P.28)。
- Bluetooth® 表示アイコンが消灯していることを確認してください (P.24)。
- 本機と接続する機器の電源を入れて、電池が十分にあるか確認してください。
- 本機と接続する機器を 1 m以内に置いてください。

ヒント

- Bluetooth® 対応機器を接続する方法は以下の 2 種類があります。

[ペアリング] :

初めて使用する機器を接続する場合や過去に接続したときの設定が消えてしまった場合に使用します。

[接続] : (P.186)

ペアリング完了後に Bluetooth® 接続が切断されて再接続する場合や、自動接続された機器と異なる機器に接続したい場合に使用します。

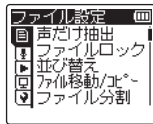
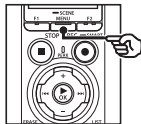
[ペアリング] を使って接続する

Bluetooth® 接続において、機器同士を登録することを「ペアリング」といいます。一度ペアリングすると、次回以降は [Bluetooth 設定] の [ON/OFF] 機能を [ON] にするだけで最後に接続した機器と自動で接続できます (P.186)。

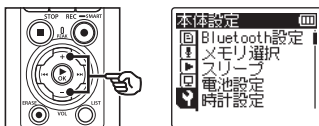
1 接続する機器側をペアリングモードにする

- ペアリングモードについては、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

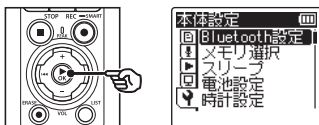
2 停止中に MENU/SCENE ボタンを押す



- 3 + または - ボタンを押して
[本体設定] タブを選ぶ

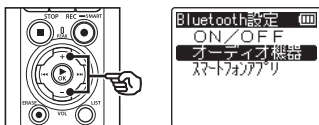


- 4 ▶ OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する



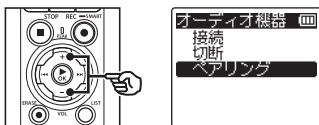
- 5 ▶ OK ボタンを押す

- 6 + または - ボタンを押して
[オーディオ機器] を選ぶ



- 7 ▶ OK ボタンを押す

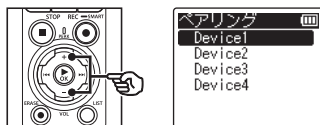
- 8 + または - ボタンを押して
[ペアリング] を選ぶ



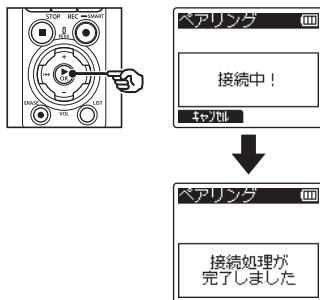
- 9 ▶ OK ボタンを押す

- 接続可能な Bluetooth® 対応機器の検索を行います。
- 接続する機器が表示されるまで時間がかかる場合があります。

- 10 + または - ボタンを押して
接続する機器を選ぶ



- 11 ▶ OK ボタンを押す



- [接続中!] と表示され、[接続処理が完了しました] と表示されたら接続完了です。

- 12 STOP (■) ボタンを押して
メニュー画面を終了する

■ ペ어링について

以下の場合には再度ペ어링が必要です。

- 接続する Bluetooth® 対応機器側で本機とのペ어링情報を削除したとき。
- 本機のメニュー [設定リセット] を行い、お買い上げ時の設定に戻したとき (※ P.176)。
- 上記以外で、ペ어링情報が削除されてしまったとき。

[接続] を使って接続する

Bluetooth® 対応機器とのペ어링完了後、電源を切るなどの操作を行うと Bluetooth® 接続が切断されます。再び接続するときは [接続] の操作をしてください。また、自動接続された機器と異なる機器に接続したい場合にも [接続] を使用します。

1 接続する機器側を Bluetooth® 接続できる状態にする

- 詳しくは、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。
- 現在接続している機器と異なる機器に接続する場合は、現在接続している機器との接続を切断してください (※ P.189)。

2 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

3 +または-ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ

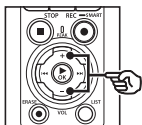
4 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

5 ▶OK ボタンを押す

6 +または-ボタンを押して [オーディオ機器] を選ぶ

7 ▶OK ボタンを押す

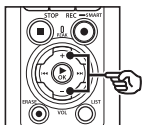
- 8 + または - ボタンを押して
[接続] を選ぶ



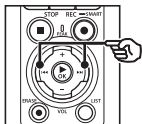
- 9 ▶ OK ボタンを押す

- 今までに本機とペアリングした Bluetooth® 対応機器の名前がリスト表示されます。

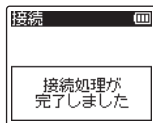
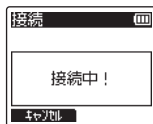
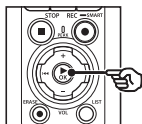
- 10 + または - ボタンを押して
接続する機器を選ぶ



- ▶▶ ボタンを押すと、選択した Bluetooth® 対応機器の名前とアドレスが確認できます。◀◀ ボタンで前の画面に戻ります。



- 11 ▶ OK ボタンを押す



- ・[接続中!] と表示され、[接続処理が完了しました] と表示されたら接続完了です。

- 12 STOP (■) ボタンを押して
メニュー画面を終了する

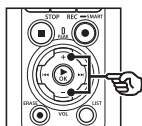
ご注意

- ペアリング処理中は、録音および再生などの操作はできません。
- 1回のペアリング設定で接続できるのは1つのBluetooth® 対応機器のみです。複数の機器とペアリングするには、機器ごとに接続の設定を行ってください。
- 同時に接続できるオーディオ機器は、1台のみです。スマートフォンとの同時接続は可能です (P.184)。
- 接続完了後、通信が不安定な状態になると、接続待機状態になる場合があります。
- 再生中に接続待機状態になると再生動作が中断されます。本機の状態を確認しながらご使用ください。
- 再生中にBluetooth® 対応機器から接続を切断すると再生動作が停止します。

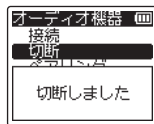
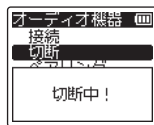
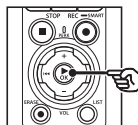
Bluetooth® 対応のオーディオ機器の接続を切断する

[切断] を使って切断する

- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 + または - ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ
- 3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 ▶ **OK** ボタンを押す
- 5 + または - ボタンを押して [オーディオ機器] を選ぶ
- 6 ▶ **OK** ボタンを押す
- 7 + または - ボタンを押して [切断] を選ぶ



- 8 ▶ **OK** ボタンを押す



- [切断中!] と表示され、[切断しました] と表示されたら完了です。

- 9 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

スマートフォンと Bluetooth® で接続する

DVR.Remote について



スマートフォン用アプリケーション「DVR.Remote」は、お使いのスマートフォンで離れた場所から本機を操作する際に必要なアプリケーションです。

アプリケーションでできること

お使いのスマートフォンにアプリケーションをインストールすると、離れたところから以下の操作を行えます。

- 録音開始 / 終了
- 再生 / 終了
- 録音設定
- インデックスマークの付加

詳しくは当社ホームページをご覧ください。

スマートフォンと [ペアリング] を使って接続する

Bluetooth® 接続において、機器同士を登録することを「ペアリング」といいます。一度ペアリングすると、次回以降は、[Bluetooth 設定] の [ON/OFF] 機能を [ON] にするだけで最後に接続したスマートフォンと自動で接続できます (※ P.186)。

本機の設定

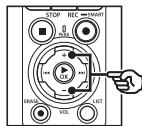
- 1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す
- 2 +または-ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ
- 3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する
- 4 ▶OK ボタンを押す
- 5 +または-ボタンを押して [スマートフォンアプリ] を選ぶ

ヒント

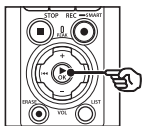
- 本機はスマートフォンとオーディオ機器に同時接続が可能です。スマートフォンで本機を操作して、録音した内容を Bluetooth® 接続したイヤホンで聞くことができます。

ご注意

- 携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。



6 ▶ OK ボタンを押す



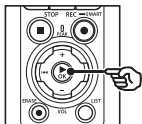
■ ペアリングについて

以下の場合には再度ペアリングが必要です。

- 接続するスマートフォン側で本機とのペアリング情報を削除したとき。
- 上記以外で、ペアリング情報が削除されてしまったとき。

7 ▶ OK ボタンを押す

- スマートフォンアプリで接続先を指定するために必要なネットワーク名とパスコードが表示されます。



スマートフォン側の設定

8 デバイスの検索を行い、手順

7 で本機に表示されたネットワーク名を選択する

9 パスコードを入力する

- ペアリングが完了します。

ヒント

- ネットワーク名の検索やパスコードの入力方法については、ご使用のスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth® 機能のオン/オフを切り替える

Bluetooth® 機能をオンにしてペアリング済みの機器と自動接続する

Bluetooth® をオンにする

[Bluetooth 設定] の [ON/OFF] 機能を [ON] にして本機の Bluetooth® 機能をオンにすると、最後に接続された機器またはスマートフォンと自動で接続できます。

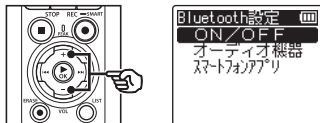
1 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

2 + または - ボタンを押して [本体設定] タブを選ぶ

3 ▶ **OK** ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

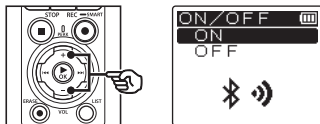
4 ▶ **OK** ボタンを押す

5 + または - ボタンを押して [ON/OFF] を選ぶ



6 ▶ **OK** ボタンを押す

7 + または - ボタンを押して [ON] を選ぶ



8 ▶ **OK** ボタンを押す

9 **STOP** (■) ボタンを押してメニュー画面を終了する

Bluetooth® をオフにする

[Bluetooth 設定] の [ON/OFF] 機能を [OFF] にすると、Bluetooth® 対応機器と自動で接続されなくなります。

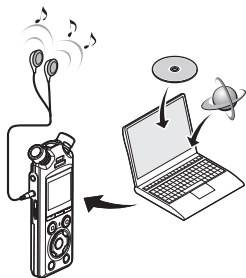
5

B
l
e
u
t
o
o
t
h
®
に
つ
い
て

パソコンでの活用について

本機はパソコンと接続することで次のようなことができます。

- パソコンに取り込んだ MP3 やリニア PCM (WAV) 形式のファイルや、ハイレゾ配信サイトからダウンロードした FLAC 形式の音楽ファイルを、本機でお楽しみいただけます。
- 本機はパソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご活用いただけます (☞ P.44)。
- パソコンにダウンロードしたアップデートを実行することで、本機のファームウェアのアップデートができます。



- イヤホンは別売です。

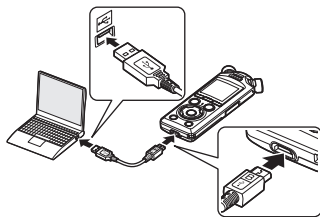
本機をパソコンに接続して扱う場合の注意事項

- 本機からファイルをダウンロードしたり本機にファイルをアップロードする場合、パソコンから通信中の画面が消えても、本機の LED 表示ランプが点滅中はデータを転送中です。決して USB 接続ケーブルを外さないでください。また、USB 接続ケーブルを外す場合、必ず ☞ P.195 に記載の方法で行ってください。ドライブを停止してから外しないと、正常にデータが転送されないことがあります。
- パソコンでは本機ドライブを初期化 (フォーマット) しないでください。パソコンで初期化した場合、正しく初期化されません。初期化は、本機の [初期化] メニューから行ってください (☞ P.177)。
- パソコンのファイル管理画面から、本機に保存されているフォルダやファイルに対して移動や名前の変更などの操作を行うと、ファイルの順番が変わったり、ファイルを認識できなくなることがあります。
- パソコン上の操作で本機ドライブの属性をリードオンリー (読み取り専用) に設定しても、本機ではデータの読み書きができますのでご注意ください。
- ノイズにより周辺電子機器に影響を及ぼすことがありますので、パソコンに接続する場合、外部マイクやイヤホンを取り外してください。

パソコンに接続する／取り外す

パソコンに接続する

- 1 パソコンを起動する
- 2 本機が停止または電源が切れている状態で、USB 接続ケーブルで本機とパソコンを接続する



- USB 接続ケーブルで本機とパソコンを接続している間は、本機のディスプレイに「PC と接続中です」と表示されます。
- 本機の「USB 設定」メニューの「USB 接続」で、「AC アダプタ接続」を設定していると、ファイルの転送ができません。「USB 接続」を「PC 接続」にしてください (P.174)。

ヒント

- パソコンの USB ポートについては、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- USB 接続ケーブルのコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
- USB ハブを経由して本機を接続すると、動作が不安定になることがあります。この場合、USB ハブを使用しないでください。
- 必ず付属の USB 接続ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用になると、故障の原因となりますので、絶対におやめください。また、この USB 接続ケーブルは、他社製品同士の接続に使用しないでください。

パソコンから取り外す

本機の LED 表示ランプが点滅していないことを確認し、USB 接続ケーブルを本機とパソコンから取り外します。

ヒント

- 充電が途中の状態でも本機を取り外して使用できます。

ご注意

- LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

活用のヒント

本機を上手にお使いいただくために、便利な使いかたをご紹介します。

失敗のない録音をするために試し録りをしてください。

試し録りについて

録音の対象となる人との距離および音量、空間の広さ、空調機の付近での使用など…。「音の品質」は録音環境によって変わります。事前に雑音（ノイズ）を減らして希望通りの音で録音できるかを確認するため、試し録りはとても有効です。

エアコン、プロジェクター、パソコンなどの動作音、机上のモノを動かしたときの音や振動、机の脚から伝わる足音などの雑音（ノイズ）は、聞こえる音よりも大きく録音されてしまうことがあります。



録音されるノイズを軽減するには

- 録音中に本機に触れると、タッチノイズとして録音されてしまう場合があります。録音が終わるまでは、なるべく本機に触れないようにしてください。
- 空調の通風口やパソコンなど、ノイズの原因となっている対象から遠ざけてください。また【ローカットフィルタ】機能を使用すると、ノイズを軽減して録音できます (P.127)。
- 状況に応じた【録音レベル】を選んでください。周囲の音がノイズとなって聞きづらい場合は、【中】または【低】でお試ください (P.118)。
- 状況に合わせた【録音シーン】を選ぶと、録音モードや録音レベルなど、録音に必要な項目を一括でおすすめの設定に切り替わります (P.57)。

■ 電池を長持ちさせたい

- ☞ 使用しないときはこまめに電源を切ってください (☞ P.38)。
- ☞ 再生時は内蔵スピーカではなく市販のイヤホンをお使いください (☞ P.73)。
- ☞ 以下の機能を使用すると電池の持続時間に影響を及ぼします。
 - [ノイズキャンセル] (☞ P.151)
 - 録音中の音声を聞く (☞ P.55)
 - 再生スピードの変更 (☞ P.76)
 - [ボイスバランサー] (☞ P.152)
 - [声だけ抽出] (録音と同時に抽出) (☞ P.96)

■ メモリを節約したい

- ☞ [VCVA] 機能をお使いください (☞ P.141)。
録音中に一定の音量以下になると録音一時停止します。音量が一定以上になると自動的に録音を再開します。

■ 録音した内容が早い口調で聞き取れない

録音した内容を全部聞きたいが、時間を節約したい

- ☞ 再生スピードを変更してお使いください (☞ P.76)。
再生速度を通常の半分のスピードまで遅くしたり、3.5 倍のスピードまで早くして聞けます。

■ 大事なところ (位置) をあとでもう一度聞きたい

- ☞ インデックス (テンプ) マーク機能をお使いください (☞ P.80)。
録音中、再生中、停止中にインデックス (テンプ) マークを付けておくと、あらためて再生したときに早送りや早戻し、頭出し機能を使ってインデックス (テンプ) マークを付けた場所をすぐに探し出せます。

■ この部分より前または後ろは必要ないから消したい

- ☞ [部分消去] 機能をお使いください (☞ P.108)。

■ 録音したファイルに雑音があり聞きにくい

- ☞ [ノイズキャンセル] 機能をお使いください (☞ P.151)。
雑音を抑え聞きやすくなる場合があります。

■ 遠くの音声をはっきり録音したい

- ☞ [ズームマイク] 機能をお使いください (☞ P.125)。
講義など特定方向からの音声に絞り込んで集音します。

■ 動作がいつもと違っている

- ☞ [設定リセット] 機能をお試しください (☞ P.176)。
各設定を初期 (工場出荷時) に戻します。時計設定や録音したファイルはそのまま保持します。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
電池残量がありません (Battery low)	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください (☞ P.5、P.28)。
ファイルロック中 消去できません (File locked)	ファイルロックがかかっている ファイルを消去しようとした。	ファイルロックを解除してください (☞ P.99)。
これ以上記録できません (Further marking not possible)	ファイル内でインデックスマークを最大数 (99) まで使用している。	必要のないインデックスマークを消去してください (☞ P.81)。
	ファイル内でテンプレートを最大数 (99) まで使用している。	必要のないテンプレートを消去してください (☞ P.81)。
ファイル件数がいっぱいです (Folder full)	フォルダ内のファイル件数が最大数 (200) になっている。	必要のないファイルを消去してください (☞ P.84)。
メモリに異常があります (Memory error)	内蔵メモリに異常がある。	当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください (☞ 裏表紙)。
microSD カードに 異常があります (Card error)	microSD カードが正しく認識 されていない。	もう一度 microSD カードの抜き差しを行ってください (☞ P.34、P.36)。
メモリがいっぱいです (Memory full)	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください (☞ P.84)。
ファイルがありません (No file)	フォルダ内にファイルがない。	他のフォルダを選び直してください (☞ P.45)。
初期化に失敗しました (Format error)	初期化に問題があった。	メモリをもう一度初期化してください (☞ P.177)。
管理ファイルが作成できません PC に接続して不要なファイル を消去してください (Can't create the system file. Connect to PC and erase unnecessary file)	メモリ残量がないため、管理用の ファイルが作成できない。	パソコンに接続し、不要なファイルを消去してください。
このファイルは再生できません (Cannot play this file)	未対応フォーマットです。	本機で再生可能なファイルを選び直してください (☞ P.75)。
ファイルを選んでください (Select a file)	ファイルが選択されていない。	ファイルを選んでから操作してください (☞ P.45)。

表示	詳細	解決方法
同一フォルダには 移動（コピー）できません (Same folder Can't move (copy))	同じフォルダに移動（コピー）しようとしている。	別のフォルダを選んでください。
移動（コピー）できない ファイルがあります (Some files can't be moved (copied))	移動（コピー）先に同一ファイル名があった。	ファイルを選び直してください。
分割できないファイルです (This file can't be divided)	本機で録音した MP3 形式、WAV 形式以外のファイルを分割しようとしている。	ファイルを選び直してください。
部分消去できないファイルです (Partial erase not possible)	本機で録音した WAV 形式以外のファイルを部分消去しようとしている。	ファイルを選び直してください。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
ディスプレイに何も表示されない	電池が正しく入っていない。	電池の ⊕ と ⊖ を確かめてください (※ P.5)。
	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください (※ P.5、P.28)。
	電源が切れている。	電源を入れてください (※ P.38)。
操作できない	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください (※ P.5、P.28)。
	電源が切れている。	電源を入れてください (※ P.38)。
	ホールドがかかっている。	ホールドを解除してください (※ P.39)。
録音できない	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください (※ P.84)。
	ファイル件数が最大記録件数になっている。	他のフォルダを選び直してください (※ P.45)。
再生音が聞こえない	イヤホンジャックにイヤホンを接続している。	内蔵スピーカから出力する場合、イヤホンを取り外してください。
	オーディオ機器に Bluetooth® 接続している。	内蔵スピーカから出力する場合、Bluetooth® 接続を切断してください (※ P.189)。
	[スピーカ出力] の設定が [OFF] になっている。	内蔵スピーカから出力する場合、[スピーカ出力] の設定を [ON] にしてください (※ P.167)。
	音量が [00] になっている。	ボリュームを調節してください (※ P.68)。
録音のレベルが小さい	録音レベルが低い。	録音レベルの設定を [高] または [中] にしてもう一度録音してください (※ P.118)。
	接続した外部機器の出力レベルが低い。	外部機器の出力レベルを調整してください。
	録音レベルを調整していない。	録音レベルを調整してもう一度録音してください (※ P.118)。

症状	考えられる原因	対処方法
音声ファイルの音が歪む	録音レベルを調整していない。	録音レベルを調整してもう一度録音してください (※ P.118)。
	録音レベルや接続した外部機器の出力レベルが大きい。	録音レベルを調整 (※ P.118) をしてもきれいに録音できない場合、外部機器の出力レベルを調整してください。
音声ファイルがステレオ録音されていない	接続した外部マイクがモノラルである。	外部モノラルマイクを接続して録音すると、Lチャンネルのみに音声録音されます。
	【録音モード】の設定がモノラル録音形式である。	【録音モード】の設定をステレオ形式から選んでください (※ P.123)。
	【ズームマイク】の設定が+側になっている。	【ズームマイク】の設定を-側にしてください (※ P.125)。
音声ファイルが見つからない	録音したフォルダではない。	他のフォルダを選び直してください (※ P.45)。
フォルダに入れた音楽ファイルが見つからない	第2階層のフォルダに音楽ファイルの入ったフォルダを転送した。	第1階層のフォルダに音楽ファイルが入ったフォルダを入れてください (※ P.44)。
再生時に雑音が入る	録音時に本機をこすったりした。	録音中はできるだけ本機に触れないようにしてください。
	録音時、再生時に本機を携帯電話や蛍光灯近くに置いている。	操作時に本機の位置を変えてください。
再生時、非音声部分がスキップされない	【声だけ抽出】の処理をしていない。	【声だけ抽出】を使って音声を抽出してください (※ P.96)。
	【声だけ再生】の設定が【OFF】になっている。	【声だけ再生】の設定を【ON】にしてください (※ P.149)。
ファイルが消去できない	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください (※ P.99)。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
録音中にイヤホンから音が聞こえない	【録音モニター】が【OFF】になっている。	【録音モニター】を【ON】にしてください (※ P.129)。
フォルダが消去できない	フォルダ内に本機で認識できないファイルがある。	パソコンに接続してフォルダを消去してください (※ P.194)。

症状	考えられる原因	対処方法
録音モニターでノイズが聞こえる	ハウリングを起こしている。	アンプ内蔵スピーカなどを接続している場合、録音中にハウリングを起こすおそれがあります。録音モニターはイヤホンをご使用になることをおすすめします。 イヤホンとマイクの距離を離す、マイクをイヤホンの方へ向けられないなど調整をしてください。
オーバーダビング（多重録音）ができない	再生するファイルのフォーマットが【PCM 44.1kHz/16bit】【PCM 44.1kHz mono】になっていない。	ファイルフォーマットが【PCM 44.1kHz/16bit】【PCM 44.1kHz mono】のファイルを選んでください（※ P.45、P.68）。
	【録音モード】の設定が【PCM 44.1kHz/16bit】【PCM 44.1kHz mono】になっていない。	【録音モード】の設定を、【PCM 44.1kHz/16bit】【PCM 44.1kHz mono】に設定してください（※ P.123）。
インデックスマーク・テンプレマークが付けられない	マーク件数が最大(99件)になっている。	必要のないマークは消去してください（※ P.81）。
	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください（※ P.99）。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
充電ができない	【電池設定】の設定が【アルカリ電池】になっている。	付属の充電電池をご使用のうえ、電池設定を【ニッケル水素電池】にしてください。また、充電電池の推奨温度範囲外でのご使用はおやめください（※ P.32、P.171）。
	【USB クラス】の設定が【コンボジット】になっている。	【USB クラス】の設定を【ストレージ】にしてください（※ P.175）。
パソコン側から本機を認識できない	【USB 接続】の設定が【ACアダプタ接続】になっている。	【USB 接続】の設定を【PC 接続】にしてください（※ P.174）。
再生スピードが速い（遅い）ように感じる	再生スピードが変更されている。	再生スピードの設定を【x1.0 倍速】にしてください（※ P.76）。
動作がいつもと違って いる	機能の設定が変更されている。	【設定リセット】をお試しください。各種機能を初期設定（工場出荷時）に戻します。時計設定や録音したファイルはそのまま保持します（※ P.176）。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
Bluetooth® 対応機器と接続できない	接続する Bluetooth® 対応機器が接続可能な状態になっていない。	Bluetooth® 対応機器を接続可能な状態にして、もう一度設定してください (☞ P.184)。
	本機との距離が離れているか、通信間に障害物がある。	本機の 1 m以内に Bluetooth® 対応機器を置いてもう一度設定してください (☞ P.184)。
	ペアリング情報が削除されている。	もう一度ペアリングの設定を行ってください (☞ P.184)。
Bluetooth® 対応機器から録音モニターができない	[録音モード] で設定したフォーマットのビット数が 24bit に設定されている。	ビット数を 24bit 以外に設定してください (☞ P.123)。

アクセサリー（別売）

本機専用のアクセサリーについて詳しくは当社ホームページをご覧ください。

電池

単4形ニッケル水素充電電池（4本）：**BR404/BR404J**

持続性に優れた高性能充電電池です。

マイク

ステレオマイクロホン：**ME51SW**

タイピンクリップがセットになった高音質小型ステレオマイクです。



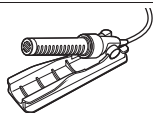
コンパクトガンマイクロホン（単一指向性）：**ME31**

野鳥の声の野外録音などに役立つ指向性のガンマイクです。



卓上ズームマイクロホン（単一指向性）：**ME34**

マイクスタンドと一体化しているので、テーブルに設置して会議や講義など離れた場所の音を録音したい場合に適しています。



バウンダリーマイクロホン：**ME33**

左右それぞれに最大3台ずつ接続可能な会議録音用マイクです。カスケード接続すれば左右合わせて最大約12mまで延長できますので、広い範囲の音を録音できます。



アクセサリー（別売）

AC アダプタ

USB 接続 AC アダプタ：F-5AC

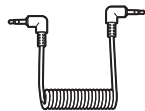
USB 接続型 DC5V の AC アダプタです。（AC100-240V
50/60Hz）



その他のアクセサリー

オーディオケーブル：KA335

カメラとレコーダーを接続する際に使う高品位のケーブルです。



ショックマウント：SM2

装着したレコーダーにカメラからのノイズを伝わりにくくするアダプタです。カメラの操作音などを効果的に低減し、より高品位な録音が行えます。



ウィンドシールド：WJ2

風切音などの低い周波数成分を低減します。



キャリングケース：CS131

ノイズを抑えるクッションとしても使用できます。



ご注意

- AC アダプタの電源プラグは AC アダプタを主電源から切り離すために使用されるため、簡単に取り外しできるコンセントに接続してください。

お手入れ

- **本機のお手入れ**

本機が汚れたときは、柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、固く絞ってから、汚れを拭き取り、そのあと、乾いた布でよく拭いてください。

- **ディスプレイ**

柔らかい布でやさしく拭きます。

ご注意

- ベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾は使わないでください。

著作権および商標などのご注意

- 本書の内容は将来予告なしに変更する場合があります。商品名、型番など、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 取扱説明書で使用しているディスプレイや本機のイラストは実際の製品とは異なる場合があります。また、本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の著作権は **OM デジタルソリューションズ株式会社** が所有しております。本書を無断で複製したり、複製物を無断で配布したりすることは著作権法により禁じられています。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

商標および登録商標について

- IBM、PC/AT は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- microSD、microSDHC、microSDXC は、SD Card Association の商標です。
- NTT エレクトロニクス株式会社からのライセンスに基づく音声区間検出技術を利用して製品化されています。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、OM デジタルソリューションズ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。



電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

本装置は、VCCI 協会の運用規程に基づく技術基準に適合したマークを画面に電子的に表示しています。表示の操作方法は、取扱説明書の「**認証マークを表示する【認証マーク表示】**」(※ P.181)に記載しております。

VCCI-B

接続ケーブル、AC アダプタは、必ず当製品指定のものをお使いください。指定品以外では、VCCI 協会の技術基準を超えることが考えられます。

Bluetooth® 機能

本機は、2.4GHz 周波数帯を使用する FH-SS/ その他変調方式を採用しており、与干渉距離は、10m 以下です。

2.4FH/XX1

7

資料

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業、科学、医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定省電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くでこれらの無線局が運営されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定省電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことがおきたときは、カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

電波に関するご注意



警告

- 病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
- 心臓ペースメーカーを装着している方から 15cm 以上離す
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 航空機内では電源を切る
運行の安全に支障をきたすおそれがあります。

機器認定について：

本製品は、電波法に基づく工事設計認証を受けた特定無線設備を内蔵しています。

次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解、または改造すること
- 本製品の証明ラベルをはがすこと

第三者作成のソフトウェアについて

本機の内部ソフトウェアは第三者作成のソフトウェアを含んでいます。第三者作成のソフトウェアは、その所有者または著作権者により所定の条件が課せられており、その条件に基づいてあなたに配布されています。この条件の中であなたに告知するものがある場合には、以下の URL のウェブサイトに必要な応じて準備された software notice PDF ファイル内に見出すことができます。

<https://cs.olympus-imaging.jp/en/support/imshow/digicamera/download/notice/notice.cfm>

このレコーダーを購入した国・地域以外での使用については、その国・地域の規則に違反する恐れがありますので、当社では一切の責任は負えません。

主な仕様

一般事項

■ 記録形式：

リニア PCM 形式
FLAC 形式
MP3 形式

■ 規定入力レベル：

-63 dBv

■ サンプリング周波数：

リニア PCM 形式 / FLAC 形式

96.0 kHz/24 bit	96.0 kHz
88.2 kHz/24 bit	88.2 kHz
48.0 kHz/24 bit	48.0 kHz
48.0 kHz/16 bit	48.0 kHz
44.1 kHz/24 bit	44.1 kHz
44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz
44.1 kHz mono	44.1 kHz

MP3 形式

320 kbps	44.1 kHz
128 kbps	44.1 kHz
64 kbps mono	44.1 kHz

■ イヤホン最大出力：

3 mW+3 mW (16 Ω 負荷時)

■ 記録メディア*：

内蔵型 NAND FLASH メモリ：16 GB
microSD / microSDHC /
microSDXC に対応

* メモリ容量の一部を管理領域として
使用しているため、実際に使用でき
る容量は少なくなります。

■ Bluetooth® 仕様：

通信方式：Bluetooth® Ver.5.0

出力：Class 1

最大通信距離：見通し距離 約 10 m*

使用周波数帯域：2.4 ~ 2.4835 GHz

変調方式：FHSS/GFSK

対応プロファイル：A2DP (Advanced
Audio Distribution Profile) /
AVRCP (Audio/Video Remote
Control Profile)

対応コーデック：SBC (Subband
Codec)

* 通信距離は目安です。通信距離は周
囲の環境によって変化する場合があ
ります。

■ スピーカー：

φ 18 mm 丸型ダイナミックスピーカ
内蔵

■ マイク / ラインジャック：

φ 3.5 mm

マイク選択時：インピーダンス 2.2 k Ω

ライン入力選択時：インピーダンス
10 k Ω

■ イヤホンジャック：

φ 3.5 mm インピーダンス 8 Ω以上

■ スピーカー実用最大出力：

230 mW (スピーカ 8 Ω)

■ 電源：

電池：単 4 形乾電池 2 本 (LR03) また
は当社製ニッケル水素充電電池 2 本 (本
体内充電は当社製 BR404 を使用のこと)

外部電源：USB 接続 AC アダプタ
(F-5AC) (DC5V)

■ 外形寸法：

112.2 mm × 39.6 mm × 16.1 mm
(最大突起部含まず)

■ 質量：

78 g (電池含む)

■ 使用温度：

0 ~ 42°C

■ 同梱品：

本体 / 単 4 形ニッケル水素充電池 × 2 /
USB 接続ケーブル /
取扱説明書 (保証書付)

周波数特性

■ マイク / ラインジャック録音時：

リニア PCM 形式 / FLAC 形式

96.0 kHz/24 bit	20 Hz ~ 44 kHz
88.2 kHz/24 bit	20 Hz ~ 42 kHz
48.0 kHz/24 bit	20 Hz ~ 23 kHz
48.0 kHz/16 bit	20 Hz ~ 23 kHz
44.1 kHz/24 bit	20 Hz ~ 21 kHz
44.1 kHz/16 bit	20 Hz ~ 21 kHz
44.1 kHz mono	20 Hz ~ 21 kHz

MP3 形式

320 kbps	20 Hz ~ 21 kHz
128 kbps	20 Hz ~ 17 kHz
64 kbps mono	20 Hz ~ 15 kHz

■ 再生時：

20 Hz ~ 44 kHz

(但し、周波数特性の上限値・下限値は
各録音フォーマットによる)

電池持続時間

以下の値はあくまで目安です。

■ 内蔵ステレオマイク録音時（内蔵メモリ使用時）：

録音モード		アルカリ乾電池	ニッケル水素充電電池
リニア PCM 形式	96.0 kHz/24 bit	約 29 時間	約 20 時間
	88.2 kHz/24 bit	約 31 時間	約 21 時間
	48.0 kHz/24 bit	約 47 時間	約 31 時間
	48.0 kHz/16 bit	約 54 時間	約 36 時間
	44.1 kHz/24 bit	約 50 時間	約 33 時間
	44.1 kHz/16 bit	約 56 時間	約 37 時間
	44.1 kHz mono	約 59 時間	約 39 時間
FLAC 形式	96.0 kHz/24 bit	約 23 時間	約 16 時間
	88.2 kHz/24 bit	約 24 時間	約 17 時間
	48.0 kHz/24 bit	約 40 時間	約 27 時間
	48.0 kHz/16 bit	約 43 時間	約 29 時間
	44.1 kHz/24 bit	約 41 時間	約 28 時間
	44.1 kHz/16 bit	約 46 時間	約 31 時間
MP3 形式	320 kbps	約 62 時間	約 40 時間
	128 kbps	約 63 時間	約 42 時間
	64 kbps mono	約 64 時間	約 42 時間

■ 音声ファイル再生時：

スピーカ再生時

録音モード		アルカリ乾電池	ニッケル水素充電電池
MP3 形式	320 kbps	約 24 時間	約 16 時間
	128 kbps	約 24 時間	約 16 時間
	64 kbps mono	約 24 時間	約 17 時間

イヤホン再生時

録音モード		アルカリ乾電池	ニッケル水素充電電池
MP3 形式	320 kbps	約 63 時間	約 42 時間
	128 kbps	約 64 時間	約 43 時間
	64 kbps mono	約 72 時間	約 48 時間

ご注意

- 電池持続時間は当社試験法によるものです（[LED] 設定: [OFF]、[バックライト]: [OFF]）。使用電池、使用条件により大きく変わります（特にプリレコーディング、ノイズキャンセル、ボイスバランサー、Bluetooth® 設定、再生スピード変更などの機能を使用した場合は電池持続時間に大きく影響します）。
- 繰り返し使用したニッケル水素充電電池では電池持続時間は短くなります。
- microSD カードご使用時は電池持続時間は短くなります。

録音可能時間

以下の値はあくまで目安です。

■ リニア PCM 形式：

録音モード	内蔵メモリ	microSD カード	
		64 GB	32 GB
96.0 kHz/24 bit	約 7 時間	約 29 時間 30 分	約 14 時間 30 分
88.2 kHz/24 bit	約 7 時間 45 分	約 32 時間	約 16 時間
48.0 kHz/24 bit	約 14 時間	約 59 時間	約 29 時間
48.0 kHz/16 bit	約 21 時間 30 分	約 89 時間	約 44 時間
44.1 kHz/24 bit	約 15 時間 30 分	約 64 時間	約 32 時間
44.1 kHz/16 bit	約 23 時間 30 分	約 97 時間	約 48 時間
44.1 kHz mono	約 47 時間	約 194 時間	約 96 時間

■ FLAC 形式：

録音モード	内蔵メモリ	microSD カード	
		64 GB	32 GB
96.0 kHz/24 bit	約 10 時間	約 42 時間 30 分	約 21 時間
88.2 kHz/24 bit	約 11 時間	約 46 時間	約 22 時間 30 分
48.0 kHz/24 bit	約 20 時間 30 分	約 85 時間	約 42 時間
48.0 kHz/16 bit	約 31 時間	約 127 時間	約 63 時間
44.1 kHz/24 bit	約 22 時間	約 92 時間	約 45 時間 30 分
44.1 kHz/16 bit	約 33 時間 30 分	約 139 時間	約 68 時間
44.1 kHz mono	約 67 時間	約 278 時間	約 137 時間

■ MP3 形式：

録音モード	内蔵メモリ	microSD カード	
		64 GB	32 GB
320 kbps	約 104 時間	約 429 時間	約 212 時間
128 kbps	約 260 時間	約 1070 時間	約 530 時間
64 kbps mono	約 520 時間	約 2140 時間	約 1060 時間

ご注意

- 小刻みに録音を繰り返したときは、録音可能時間がこれより短くなる場合があります（録音可能時間および録音時間表示は目安としてご使用ください）。
- ご使用の microSD カードにより空き容量に差が出ることがあるため、録音可能時間にも差が発生します。

1 ファイルあたりの最長録音時間

- 1 ファイルあたりの最大容量は、リニア PCM 形式 (WAV) は約 2GB、FLAC・MP3 形式は約 4GB に制限されています。
- メモリ残量にかかわらず、1 ファイルあたりの最長録音時間は以下の値に制限されています。

■ リニア PCM 形式：

録音モード	録音時間
96.0 kHz/24 bit	約 1 時間
88.2 kHz/24 bit	約 1 時間
48.0 kHz/24 bit	約 2 時間
48.0 kHz/16 bit	約 3 時間
44.1 kHz/24 bit	約 2 時間
44.1 kHz/16 bit	約 3 時間 20 分
44.1 kHz mono	約 6 時間 40 分

■ FLAC 形式：

録音モード	録音時間
96.0 kHz/24 bit	約 2 時間 50 分
88.2 kHz/24 bit	約 3 時間 10 分
48.0 kHz/24 bit	約 5 時間 50 分
48.0 kHz/16 bit	約 8 時間 50 分
44.1 kHz/24 bit	約 6 時間 20 分
44.1 kHz/16 bit	約 9 時間 30 分
44.1 kHz mono	約 19 時間 10 分

■ MP3 形式：

録音モード	録音時間
320 kbps	約 29 時間 40 分
128 kbps	約 74 時間 30 分
64 kbps mono	約 149 時間

2GB を超えるリニア PCM 形式の録音について

リニア PCM 形式の録音で、1 ファイルの容量が 2GB を超えた場合でも録音を続けます。

- ファイルは 2GB ごとに分割して保存されます。再生時には複数のファイルとして扱われます。
- 200 件目のファイルが 2GB を越えると、新しいフォルダが作成され、そのフォルダ内に分割されたファイルが保存されます。フォルダが 99 個ある場合は、新しいフォルダは作成されず、録音を停止します。

4GB を超える FLAC 形式、MP3 形式の録音について

FLAC 形式、MP3 形式の録音で、1 ファイルの容量がファイルサイズ上限 (約 4GB) に到達した場合は録音を停止します。

記録可能な曲数

以下の値はあくまで目安です。

内蔵メモリ (16GB)	約 3600 曲
-----------------	----------

128 kbps、1 曲 4 分換算

本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの取扱説明書をお読みのうえ、正しく安全にお使いください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。

安全に関する重要事項

- 安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
- 表示の意味は、次のようになっています。

危険

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される」内容を示します。

警告

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

注意

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容を示します。

本機について

警告

- 可燃性ガス、爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。引火、爆発の原因となります。
- 分解、修理、改造をしないでください。感電、けがををするおそれがあります。
- 車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。交通事故などの原因となります。
- 本機を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。幼児、子供の近くで使用するときは細心の注意を払い、不用意に本機から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができず、加えて以下のような事故のおそれがあります。例えば
 - － 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
 - － 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。
- 異臭、異常音、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、
 - ① けが、やけどをしないように注意しながら電池および USB 電源を抜いてください。放置すると火災ややけどの原因となります。
 - ② お買い上げ店または当社サービスステーションにご連絡ください。

- USB 電源は改造したものや自動車のシガレットライターの差し込み口は絶対に使用しないでください。発熱、発火、感電、故障の原因となります。
- microSD / microSDHC / microSDXC カード以外は、絶対に本機に入れないでください。その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。
- 水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、
 - ① 速やかに電池を抜いてください。
 - ② お買い上げ店または当社サービスステーションへ修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。
- 航空機内や病院など使用に制限のある場所では使用をおやめになるか、その場所の指示に従ってください。
- 異臭、異常音、煙が出ていたりするなどの異常を感じたときはご使用を中止してください。火災ややけどの原因となることがあります。やけどに注意しながらすぐに電池を取り出し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください（電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください）。
- 本機をストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかかるないように注意してください。

⚠ 注意

- 操作前から、音量を上げないでください。聴覚障害や聴力低下を引き起こすおそれがあります。

電池について

⚠ 危険

- 火気のある場所に電池を置かないでください。
- 火の中への投入、加熱、⊕ と ⊖ 極間のショート、分解をしないでください。火災、破裂、発火、発熱の原因となります。
- 直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。
- ⊕ と ⊖ 端子を接続しないでください。発熱、感電、火災の原因となります。
- 電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護してください。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯・保管しないでください。発熱、感電、火災の原因となります。
- 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。
- 直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置をしないでください。液漏れ、発熱、破裂などにより、火災、やけど、けがの原因となります。

⚠ 警告

- 濡れた手で触ったり持ったりしないでください。
感電や故障の原因となります。
- 外装にキズや破損がある電池は使用しないでください。
破裂や発熱の原因となります。
- 電池の極性（⊕ と ⊖）を逆に入れないでください。
液漏れ、発熱、発火、破裂するおそれがあります。
 - 外装シール（絶縁被覆）の破れた電池を使わないでください。
 - 長期間使用しないときは、必ず電池を取り出してください。
 - 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自自治体の指示に従って廃棄してください。
 - 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れのおそれがあります。
- 電池の液が目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。
- 充電できないアルカリ乾電池、リチウム乾電池などを充電しないでください。

- 電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。
幼児・子供が電池を飲み込むおそれがあります。飲み込むと、火傷、軟組織の貫通、及び死に至る場合があります。重度の火傷は、摂取から2時間以内に発生するおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- 水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。
- 液漏れ、変色、変形、その他の異常が発生した場合は、使用を中止してください。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- 電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

⚠ 注意

- 充電した電池と放電した電池を一緒に混ぜて使用しないでください。
- 容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。
- 2本の電池を同時に充電してご使用ください。
- 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。
- 充電機をはじめて使用する場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用前に必ず充電してください。
- 指定以外の電池を使用した場合、爆発（または破裂）の危険があります。使用済み電池は取扱説明書の「電池について」(P.32)に従って廃棄してください。
- 充電機には寿命があります。指定する条件で充電しても使用時間が短くなったときは寿命と判断し、新しい充電機と取り替えてください。

充電式電池の廃棄について

- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、⊕ と ⊖ 端子をテープなどで絶縁してから最寄りの充電式電池の排出協力店・排出協力自治体にお持ちください。詳しくは一般社団法人 JBRC ホームページ (<https://www.jbrc.com>) をご覧ください。



Ni-MH

使用上のご注意

- 直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- 水気がついたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取ってください。特に塩分は禁物です。
- テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- 砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障になることがあります。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- 水気の多い場所で使用しないでください。
- 磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じることがあります。
- 録音中や再生中にレコーダーを電灯線・蛍光灯・携帯電話などに近づけると、ノイズが入ることがあります。

＜データ消失に関する注意事項＞

- 内蔵メモリや microSD カードへの記録内容は、誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消えることがあります。
- また、内蔵メモリや microSD カードは長時間の保存や繰り返し使用するうちに書き込みや読み出し、消去等ができなくなることがあります。
- 大切な記録内容はパソコンのハードディスクや他の記録メディアにバックアップし、保存されることをおすすめします。
- 記録されたデータの破壊・消失による損害および逸失利益などに関しては、その内容や原因に関わらず、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

＜録音したファイルに関する注意事項＞

- 本機やパソコンの故障により、録音したファイルが消去されたり再生不能となった場合でも、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

＜本機や microSD カードの廃棄に関する注意事項＞

- 初期化 (P.177) や消去 (P.84) を行っても、ファイルの管理情報が更新されるだけで内蔵メモリや microSD カードに記録したデータは完全には消去されません。廃棄の際には、破壊するか、または初期化したあと、残り時間がなくなるまで無音録音するなどして、個人情報流出を防いでください。
- 廃棄する際は、お住まいの地方自治体の廃棄処分方法に従ってください。

索引

アルファベット

A

ABC リピート.....	77
ABC リピート再生解除.....	79
AC アダプタ.....	30

B

Bluetooth®.....	182
Bluetooth 設定.....	184, 192

D

DVR.Remote.....	190
-----------------	-----

F

FLAC.....	75, 123
Fn 録音.....	134

L

LED 表示ランプ設定.....	163
------------------	-----

M

microSD カード.....	34
MP3.....	75, 123

O

OM Workspace.....	146
-------------------	-----

P

PCM.....	123
PEAK 表示ランプ設定.....	163

S

SMART.....	49
------------	----

U

USB 設定.....	174
-------------	-----

V

VCVA.....	141
-----------	-----

W

WAV.....	75, 123
----------	---------

かな

い

イコライザー.....	157
インデックスマーク.....	80
インデックスマーク消去.....	81
イントロ再生.....	166

お

オーバーダビング.....	140
音楽ファイル.....	44, 75
音声同期時間.....	143
音声同期録音.....	138

か

外部入力.....	63
外部マイク.....	65
[カレンダー検索] モード.....	40, 83

け

言語選択.....	165
-----------	-----

こ

声だけ再生.....	149
声だけ抽出.....	96
コネクティングコード.....	66
コントラスト.....	162

さ

再生スピード.....	76
再生設定.....	149
再生モード.....	154

し		な	
システム情報.....	180	並び替え.....	101
充電.....	7, 28	の	
充電池.....	32	ノーマライズ.....	112
初期化.....	177	ノイズキャンセル.....	151
シリアルナンバー.....	5, 180	は	
す		バックライト.....	161
ズームマイク.....	125	ひ	
スキップ間隔.....	159	表示/音設定.....	161
スピーカ出力.....	167	ふ	
スマートモード.....	49	ファイル.....	45
スリープ.....	170	ファイル移動/コピー.....	103
スレートトーン.....	144	ファイル消去.....	15, 84
せ		ファイル設定.....	96
設定リセット.....	176	ファイル表示.....	25, 26
そ		ファイル分割.....	106
操作音.....	164	ファイル名変更.....	115
た		ファイルリスト表示.....	25
タイマー録音.....	130	ファイルロック.....	99
て		フェードイン・アウト.....	114
テストトーン.....	147	フォルダ.....	41, 45
電池設定.....	171	フォルダ作成.....	42
電池表示.....	24, 32	フォルダ消去.....	85
テンプマーク.....	80	フォルダリスト表示.....	25
テンプマーク消去.....	81	部分消去.....	108
と		ブライトサウンド.....	128
時計設定.....	10, 172	プリレコーディング.....	136
トリミング.....	110	プロパティ.....	116

へ

ペアリング 184, 190

ほ

[ホーム] 画面 40

ボイスバランサー 152

ホールド 39

本体設定 168

み

[ミュージック] モード 26, 40

め

メニュー設定 87

メモリ情報 179

メモリ選択 168

ら

ライン入力 66

り

リスト表示 26, 45

リミッター 121

れ

[レコーダー] モード 25, 40

ろ

ローカットフィルタ 127

録音シーン 57

録音設定 118

録音待機 133

録音表示ランプ 163

録音モード 123

録音モニター 129

録音レベル 118

録音レベル調整 49, 51

MEMO

<保証規定>

1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書に従った正常なお取り扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
2. 本製品の製造打ち切り後、6年間は本製品のアフターサービスについて対応いたします。但し、当該アフターサービス対応については、故障の状況、本製品に対応する補修用性能部品の有無、及び保有している場合はその期間（製造打ち切り後6年間を目安に保有いたします）等に応じ、当社の判断で、本製品の修理又は同等品への交換（製品交換）のいずれかにて対応させていただきます。
3. 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって（問屋使以外を使用した場合）一部ご負担いただく場合があります。
4. 交換が行われた部品（もしくは製品）の所有権は当社に帰属し、返却はいたしません。
5. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、最寄りの当社サービスステーションにお問い合わせください。
6. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。従って、この保証書は、OMデジタルソリューションズ株式会社、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

7. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
8. 保証期間内ででも次のような場合には有料修理になります。
 - イ. ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
 - ロ. お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
 - ハ. 火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
 - ニ. 本書のご提示がない場合。
 - ホ. 本書にお買い上げ年月日、シリアル No.、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - ヘ. 電池等の消耗品による故障。
9. 保証の対象は本体のみです。

<保証書取扱い上の注意>

本書は日本国内においてのみ有効です。(THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN)

販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

<保証責任者・保証履行者>

OM デジタルソリューションズ株式会社
〒192-0033 東京都八王子市高倉町 49-3

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から1年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部 品 代	修 理 工 料
本 体	1年		無 料
品 名	PCM レコーダー	型 名	LS-P5
シリアル No.		お買い上げ日	年 月 日
販 売 店 名			



OMデジタルソリューションズ株式会社

インターネットでの情報入手

<https://om-digitalsolutions.com/>

「OM デジタル」でインターネット検索するか、
上記 URL または QR コードよりご確認ください。



最新サポート情報

アクセサリ対応情報やよくあるご質問（Q&A）、
各種最新情報は QR コードよりご確認ください。



※記載内容は変更されることがあります。